

令和7年度 事業実施報告書

【期間 : 令和7年4月1日～令和8年3月31日】

社会福祉法人 志摩市社会福祉協議会

【目次】

経過報告・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
----------------------	-----

各課の取り組み

I. 法人運営事業

○総務課

1. 法人運営事業・・・・・・・・ P 3
2. 放課後児童クラブ事業（志摩市受託事業）・・ P 16
3. 浜島・磯部地域包括支援センター事業（志摩市受託事業）・・ P 18

II. 地域福祉活動推進事業

○地域支援課

1. 地域福祉活動推進事業・・・・・・・・ P 21
2. 共同募金配分金事業・・・・・・・・ P 37
3. 会費充当事業・・・・・・・・ P 43
4. 共同募金運動・・・・・・・・ P 45
5. 生活福祉資金貸付事業（三重県社会福祉協議会受託事業）・・ P 47
6. 日常生活自立支援事業（三重県社会福祉協議会受託事業）・・ P 50
7. 生活困窮者自立支援事業（志摩市受託事業）・・ P 52

III. 在宅福祉サービス事業

○居宅介護支援課

1. 居宅介護支援事業・・・・・・・・ P 56

○在宅サービス課

1. 訪問介護事業・障がい者ヘルパーセンター事業・・ P 60
2. 訪問入浴介護事業・・・・・・・・ P 62
3. 通所介護事業・・・・・・・・ P 64

○障がい福祉課

1. 障がい者生活介護センター事業・・・・・・・・ P 67
2. 放課後等デイサービスセンター事業・・ P 69
3. 就労支援事業・・・・・・・・ P 70

経過報告

令和7年度における事業実績について、ご報告申し上げます。本会のサービス活動収益は、93,461万円（前年度比94.99%、▲4,927万円）となり、日本国内で新型コロナウイルス感染症流行が確認された令和2年以降で最も低い水準となりました。本会の主要財源の一つである介護保険事業収益は、前年度比96.67%（▲1,602万円）にとどまりました。主な要因は、磯部健康福祉センターかがやきの大規模改修に伴い、磯部通所介護事業所を他法人の施設を借用し移設したことです。これに伴い受入定員の縮小を余儀なくされ、利用調整を行うこととなりました。また、もう一つの柱である障がい福祉サービス等事業収益は、前年度比92.44%（▲2,117万円）となりました。要因として、障がい者生活介護センター事業の一日平均利用者数が減少したことが挙げられます。さらに事業所では高齢者施設への入所や体調不良による利用調整が、かがやき事業所では大規模改修に伴う浜島地域福祉センターさくら苑への移設による利用調整が影響しています。さらに、経営改善が見込めないと判断し令和6年度末で廃止した障がい者就労支援事業所「ひまわり」の収益がゼロとなったことも減収要因となりました。一方、費用面では、正職員・嘱託職員・契約職員の退職に伴う補充調整により人件費を抑制した結果、サービス活動費用は94,772万円（前年度比95.99%、▲3,956万円）に減少しました。以上の収益及び費用の状況により、令和7年度決算は635万円の赤字（前年度比80.78%、▲1,421万円）となりました。

法人運営事業においては、令和7年度を通じて職員体制の確保が大きく影響を受けました。4月には正職員が急逝したことに伴う補充対応が必要となり、さらに年度途中には依願退職が発生したことや令和8年度に向けた人材確保を含め採用業務に多くの時間と労力を要する状況となりました。また、新たな人材確保策として、本会を過去に退職した正職員を再度正職員として採用できる仕組みを導入し、採用手法の多様化を図りました。加えて三重県最低賃金が1,023円から1,087円に改正されたことを受け、本会職員の基本給を改定するとともに、関連する就業規程の整備を行いました。さらに、職員処遇の適正化を目的として、管理職手当の増額及び役職手当の新設を実施し、組織運営に必要な人材の確保と定着を図る体制整備を進めました。

地域福祉活動推進事業においては、第4次地域福祉（活動）計画の重点施策のひとつである「地域づくり」の推進に取り組みました。各地区で開催したふくし座談会を契機として、住民主体による地域づくり活動が新たに生まれるなど、地域住民の主体的な参加による取り組みが広がりつつあります。こうした住民主体の実践の具体的な例として、菜の花館を拠点とした障がい児の居場所づくりに向けた準備が始まったことや志摩町においても新たな居場所づくりが進められたことなど、地域における交流と支え合いの場の充実が図られました。さらに、様々な生きづらさを抱え、地域から孤立している方々を支援につなぐため、重層的体制整備事業におけるアウトリーチ支援や生活困窮者自立支援事業を通じて、個々の課題に寄り添った支援を継続して実施しました。これらの取り組みにより、地域における支援の網の目を細やかにし、誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進に努めました。

在宅福祉サービス事業においては、利用者及びご家族からの信頼と満足を得られるよう、質の高いサービスの提供に努め、自立した生活の継続を支援してまいりました。令和7年度のサービス活動収益については、本会が運営する14事業のうち、磯部居宅介護支援事業、浜島通所介護事業、障がい児童デイサービスセンター事業の3事業のみが前年度を上回る結果となりました。これらの状況を踏まえ、令和7年度の経営状況を分析し、各事業の課題を明確化したうえで、引き続き、経営改善に向けた取り組みを着実に進めていくことが重要であると認識しています。

中区分において掲げた「目標」に対して、右記の5段階の評価基準で事業評価を記載しました。

◆中区分の例：P3 総務課（評価はP7に記載）

(1) 経営基盤の見直し及び強化

評価 B

記号	評価基準	結果	割合
A	計画を大きく上回った	3	8.6%
B	概ね計画どおり	28	80.0%
C	十分ではなく、努力を要する	4	11.4%
D	計画を大きく下回った	0	0.0%
E	未着手、準備中、評価不能	0	0.0%
合計		35	100.0%

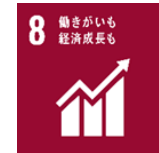


各課の取り組み

I. 法人運営事業

○ 総務課（事業方針）

本会の財政の健全化、事業の効率化と強化、防災・減災対策を3本柱として策定した中期経営計画（計画期間：令和7年度～令和9年度）に基づき、健全運営を目指した経営改善を重点として、次の事業に取り組みます。



1. 法人運営事業・・・・・・・・補正後支出予算額 86,940,000円 / 支出決算額 80,271,349円

（1）経営基盤の見直し及び強化

■目標

- ①経営組織の管理体制及び財務規律を強化し、事業運営の透明性を向上させるとともに、効率的かつ適切な業務執行を行います。
- ②組織機構の再編や事業内容及び実施体制などを見直し、収支の均衡が図れるように身の丈にあった経営改善に取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況		
①-1 定例理事会を開催します。（年3回） ①-3 理事会、評議員会を必要に応じて柔軟に随時開催します。 ・参考：令和6年度 理事会 6回開催 評議員会 3回開催	100%	①-1、①-3 下表のとおり理事会を開催しました。（定例理事会：2回、臨時理事会：3回、書面理事会：2回）		
		開催日	決議及び協議事項（○印は協議事項）	出席者
		[第1回] 6月13日	1. 評議員選任・解任委員（補欠）の選任について 2. 令和6年度事業実施報告について 3. 令和6年度社会福祉事業会計決算について 4. 「志摩市社会福祉協議会 放課後児童クラブ事業」運営規程の一部変更について 5. 職員退職手当規程の一部変更について 6. 不動産（その他の固定資産）の処分（売却）について 7. 評議員候補者の推薦について 8. 評議員選任・解任委員の選任について 9. 令和7年度第1回評議員会の招集について 10. 理事候補者及び監事候補者の推薦について	理事7人 監事2人
		[第2回] 6月27日	1. 会長の選定について 2. 副会長の選定について 3. 顧問の委嘱について	理事9人 監事2人

①-2 定例評議員会を開催します。（年3回）	100%	[第3回] 10月24日	1. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について 2. 嘱託職員就業規程の一部変更について 3. 職員給与規程の一部変更について 4. 育児・介護休業等に関する規程の一部変更について 5. 浜島・磯部地域包括支援センター（志摩市介護予防支援事業所あかり）運営規程の一部変更について ① 社会福祉大会における被表彰者及び被感謝者の審査選考について	理事8人 監事1人
		[第4回書面] 11月28日	1. 令和7年度第2回評議員会の招集について	理事9人 書面協議
		[第5回] 12月19日	1. 主たる事務所の移転について 2. 定款の一部変更について 3. 共同募金配分金交付要綱の一部変更について	理事9人 監事1人
		[第6回書面] 3月3日	1. 評議員候補者（補欠）の推薦について 2. 理事候補者（補欠）の推薦について 3. 令和7年度第3回評議員会の招集について	理事8人 （欠員1人） 書面協議
		[第7回] 3月26日	1. 令和7年度資金収支第1次補正予算について 2. 事務局規程の一部変更について 3. 経理規程の一部変更について 4. 職員給与規程の一部変更について 5. 嘱託職員就業規程の一部変更について 6. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について 7. 志摩市障害者相談支援事業受託に伴う事業運営規程の制定について 8. 役員等賠償責任保険の契約について 9. 令和8年度事業計画について 10. 令和8年度資金収支予算について	理事7人 （欠員1人） 監事1人
		①-2 下表のとおり評議員会を開催しました。（定例評議員会：2回、臨時評議員会：1回）		
		開催日	決議及び協議事項	出席者
		[第1回] 6月27日	1. 令和6年度事業実施報告について 2. 令和6年度社会福祉事業会計決算について 3. 理事及び監事の選任について	評議員12人 会長1人 副会長1人 監事2人

①-4 監事監査を実施します。（年2回）	100%	[第2回] 12月19日	1. 定款の一部変更について	評議員9人 会長1人 副会長2人 監事1人
		[第3回] 3月26日	1. 令和7年度資金収支第1次補正予算について 2. 理事（補欠）の選任について 3. 令和8年度事業計画について 4. 令和8年度資金収支予算について	評議員9人 （欠員1人） 会長1人 副会長1人
		①-4 下表のとおり監事監査を実施しました。		
		開催日	内容	出席者
		[第1回] 5月23日	令和6年度事業に関する決算監査（下記書類を中心に監査） 1. 令和6年度事業実施報告書 2. 令和6年度決算報告書（貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書など）	監事2人
①-5 内部監査を実施します。（年2回）	0%	[第2回] 11月27日	令和7年度上半期事業に関する決算監査（下記書類を中心に監査） 1. 令和7年度上半期事業実施報告書 2. 令和7年度上半期決算報告書（貸借対照表、資金収支計算書、事業活動計算書など）	監事2人
		①-5 内部監査を実施することができませんでした。		
①-6 国等の施策・制度に即し、各種規程・要綱を改正し、適正に管理します。	100%	①-6 三重県内の最低賃金が11月21日から時間額にて1,087円に改定されることに伴って、職員の時間給・基本給の改正について検討しました。また、「育児・介護休業法」改正に伴い、10月1日から、男女とも仕事と育児・介護を両立できるように、育児期の柔軟な働き方を実現するための措置の拡充や介護離職防止のための雇用環境整備、個別周知・意向確認の義務化などの対応が求められたため、関連規程に反映しました。		
①-7 その他（計画外）	100%	①-7 評議員の任期満了に伴い、下表のとおり次期評議員を選任する評議員選任・解任委員会を開催しました。		
		開催日	決議事項	出席者
		[第1回] 6月13日	1. 評議員の選任について	委員5人 会長1人
		[第2回] 3月11日	1. 評議員（補欠）の選任について	委員5人 会長1人

②-1 管理職会議を原則毎月1回開催し、経営状況及び方向性の確認と協議を行います。 ・参考：令和6年度 定例会議：12回 臨時会議：8回	109%	②-1 原則、毎月第3水曜日を開催日とし、管理職会議を24回開催しました。主な協議内容は以下のとおりです。 「欠員に伴う職員体制について」「令和8年度職員採用試験の設計について」「身分証の内容について」「阿児町横山の土地・建物の処分について」「中期経営計画の職員への周知について」「正職員定年制度の見直しについて」「障がい児童デイサービスセンターくれよんの事業継続について」「出張時の高速料金の負担について」「磯部健康福祉センターかがやきの大規模改修工事について」「介護人材確保・職場環境改善事業補助金の基本設計について」「職員採用試験内定辞退に伴う対応について」「令和7年7月1日付けの組織図の確認について」「令和6年度人事評価結果について」「かがやき大規模改修工事に伴う事業所移転先について」「令和8年度職員採用計画について」「令和7年度第1四半期経営状況について」「マイクロバスの廃車について」「最低賃金改定による時給単価等の改正について」「最低賃金改定に伴う給与表の見直しについて」「団体交渉申入に対する回答について」「上半期決算の経営分析について」「各事業所における引越状況の共有について」「正職員基本給の基本設計について」「かがやき改修工事に伴う事業所移転後の状況について」「退職職員の再雇用制度の導入について」「令和8年度の職員体制について」「令和8年度障害者相談支援事業の受託について」「人事評価について」「定年延長後の給与基本設計について」
②-2 文書事務の電子化、ペーパーレス化を推進します。	80%	②-2 文書事務の電子化、ペーパーレス化、事務の効率化に向けて、複数のシステム業者からの提案（デモンストレーション）を確認し検討しました。
②-3 既存システムの有効性と業務軽減状況について検証します。	80%	②-3 ②-2 と併せて、勤怠システムと給料システムの導入に向け複数のシステム業者へ相談し、業者からの提案を受けました。
②-4 車両やパソコン等の備品の使用状況の把握と保守管理を徹底します。	100%	②-4 車両については、現在の使用場所等の変更等、把握に努めました。パソコン等については、Windows10のサポート終了（令和7年10月14日）に伴い、期限切れとなるパソコンの入替を行いました。
②-5 各種リース物件等の契約と有効性について検証します。	80%	②-5 会計、給料システムのリースについては、4月にリプレイスしました。また車両物件のリース状況については劣化した車両を廃車し、新たにリース車両を導入しました。
②-6 職員の基本給、諸手当等について検証し、職員給与規程の改正に着手します。	100%	②-6 令和7年11月21日からの三重県の最低賃金改定に伴い、パート職員、契約職員、嘱託職員、正職員について給与及び諸手当を検討し、関係就業規程を改定しました。
②-7 中期経営計画を実施し、進捗を管理します。	40%	②-7 令和7年4月から開始しました中期経営計画の進捗状況を確認するために、令和7年度末に進捗状況調査を実施しました。

また、財政計画を検討・立案します。		
②-8 電気料金等の経費削減を進めるため、施設の照明機器をLEDに移行することについて検証します。	50%	②-8 蛍光灯の製造と輸出入が2027年末までに禁止されることに伴い、現状故障した照明器具については、順次LEDへ移行しました。
②-9 部署において作成したデータ（エクセル、ワード）の管理方法を検証し、データ管理についてルール化を図ります。	60%	②-9 データの管理について、セキュリティ対策も含めて複数のデバイスでデータを共有できる記憶装置（NAS/ネットワーク接続型ストレージ）を4月に導入しました。

■評価

目標の達成度	・定例開催を予定していた理事会、評議員会は計画どおり開催し、令和7年度の事業報告及び決算などを提案し、全議案が承認されました。 ・三重県の最低賃金改定に伴い、関係就業規程、職員給与規程の変更について検討し、改定しました。今後も、毎年最低賃金が増額されることが予測されるため、人件費の財源を確保し収支状況を安定化させることが、令和8年度以降の重要課題となってきました。 ・管理職会議の開催回数が、令和6年度と比較すると増加しました。職員の欠員に伴う採用試験の設計や、令和7年度途中における人事異動の検討等により、臨時の会議を開催したことが主な要因となっています。	
評価	B	

（2）広報活動

■目標

- ①本会の取り組みや地域の福祉活動、先駆的な取り組み事例について、各種広報媒体を最大限に活用し、より多くの地域住民に地域福祉への関心をもってもらい、参加や協力の輪が広がっていくことを目指します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 社協だよりを発行します。（年6回）	100%	①-1 広報紙「志摩市社協だより」を、次のとおり発行しました。 発行回数 / 計6回発行（5、7、9、11、1、3月の1日発行） A4版2色刷り（4ページ） / 約15,100部発行（1回あたり）
①-2 ホームページにより、情報を発信します。	100%	①-2 ホームページの発信により、定期的に必要な情報を提供しました。
①-3 SNSにより、情報を発信します。	100%	①-3 地域支援課が実施する事業の予定や実施状況、職員採用情報などを中心に、SNSによりタイムリーな情報発信に努めました。

①-4 志摩市社会福祉大会を開催します。	100%	①-4 多年にわたり地域福祉の向上に率先して、ご尽力、ご協力をいただいた方々の功績に敬意と感謝の意を表すことを目的とした志摩市社会福祉大会を開催しました。 開催日時 / 令和7年12月14日（日） 10：00～11：30 場所 / 磯部健康福祉センターかがやき 多目的ホール 内容 / 顕彰（表彰、感謝）、活動発表（共同募金配分団体：NEOシニア倶楽部）
----------------------	------	---

■評価

目標の達成度	・「志摩市社協だより」は事業計画や予算、事業報告や決算、社協情報や地域交流を発信する媒体として計画どおり奇数月に発行しました。 ・ホームページやSNSは、行事予定や実施状況などタイムリーな情報を発信する媒体として、随時更新した情報を発信しました。
評価	B

（3）職員定着に向けた取り組み

■目標

- ①次世代職員の育成と組織の活性化を目指し、人事評価制度の効果的な運用を目指します。
- ②業務に必要な基本姿勢や知識、技術を取得させるなど人材の育成に取り組みます。
- ③正職員・嘱託職員・契約職員・パート職員のバランスに注視し、法人の事業規模に応じた職員体制を整備します。
- ④職員の働き方を検証し、選ばれる職場づくりに努めることで、優秀な人材確保につなげます。
- ⑤障がいのある人が働く職場環境づくりに取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 人事評価制度の運用について、目標設定、評価基準などこれまでの運用の課題を検証し、制度が成熟するよう改善に取り組みます。	70%	①-1 現行制度における課題を抽出し、マニュアルを一部修正しました。令和6年度の評価結果に基づき、令和7年度の給与に反映しました。令和7年度下半期に他市町の社会福祉協議会へのリサーチ等を行いました。
①-2 人事評価の精度を高めるための研修を実施し職員の納得感が高くなる人事評価の効果的運用につなげます。	60%	①-2 管理職会議において現行制度の課題などについて意見を交換しました。職員を対象とした研修会の開催については引き続き検討します。また、評価者を対象として人事評価の目的や人事評価シートへの記入方法などについて理解を深めましたが、効果的な運用方法は見いだせていません。上記同様に令和7年度中に効果的な運用を行うためのリサーチを行いましたがいリサーチ不足もあり効果的な運用方法は見いだせていません。
②-1 新規採用職員、既存職員とも、三重県社協のキャリアパス対応生涯研修課程などを活用し、階層に応じた研修を順次、受講させてい	100%	②-1 キャリアパス対応生涯研修課程は、階層に応じた職員4人が11月にチームリーダー研修へ参加しました。

きます。 ②-2 持続可能な法人運営を目指し、事業に必要なとされる資格取得を支援します。 ②-3 階層毎に体系化された研修計画の作成に着手します。 ③-1 中期的な職員採用計画の作成に着手します。 ③-2 相互理解が進む人事異動により、職員の士気高揚に務めます。 ④-1 労働災害の低減や職場の安全衛生を推進します。 ④-2 セクシャルハラスメント、パワーハラスメント、カスタマーハラスメントなどのハラスメントを防止する対策に取り組み、職員が生き生きと働ける職場づくりを推進します。 ④-3 仕事と子育て、介護の両立を支援し、女性が働きやすい環境づくりを推進します。 ④-4 多様な働き方に対応できる環境づくりを推進します。 ⑤-1 障がい特性に応じた職場配置や業務を検討し、職場定着を推進します。	60% 60% 70% 70% 100% 60% 100% 70% 70%	②-2 社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員などの資格取得を奨励し、受験に必要な証明書を発行しました。また、多くの職員が資格取得を目指せるよう、資格手当、資格奨励制度の導入について引き続き検討していきます。 ②-3 研修計画及び人材育成指針を作成し、内容を協議していますが、運用にはつながっていません。 ③-1 令和7年度においては、正職員の採用試験を4回実施して正職員3人の採用を内定しました。また、本会を離職した元正職員を対象とする中途退職者再採用制度の試験を実施（職種を限定）し、2人採用しました。また、契約職員の採用試験は4回実施して4人を採用しました。 ③-2 令和8年度の職員体制を検討するにあたり、異動希望調書により職員の意向を把握し、組織編成しました。 ④-1 法令で求められている事業所にて安全衛生委員会を開催し、職場環境の点検、労働災害防止策、腰痛予防研修への参加やヒヤリハットについての対策を検討し、安全衛生管理を行いました。 ④-2 各種ハラスメントについて、その対応に向けた防止対策について検討しています。 ④-3 令和7年10月に施行された育児・介護休業法の改正に基づき、本会規程の整備（改正）を行いました。この改正の目的は育児期の柔軟な働き方を実現するための措置の拡充や介護離職を防止するための雇用環境整備等です。 ④-4 地域包括支援センターなどの事業所においては、在宅勤務を適宜継続しています。在宅勤務による業務の効率化やオンライン会議による移動時間の短縮などの効果も見られました。 ⑤-1 障がい者から職務内容や作業環境などの相談があった場合、適宜助言等ができるように体制整備に努めました。
---	--	---

⑤-2 法定雇用率が次年度も充足するよう障がい者の採用を検討し、適宜募集します。	60%	⑤-2 本会の障がい者雇用実績数は令和8年4月1日現在3人（常勤換算後）で、年間平均では法定雇用率を下回っています。一方で、月によっては法定雇用率を満たしている期間もあり、雇用状況は改善傾向にあります。今後も継続的に障がい者の雇用促進と職場環境の整備を進め、安定的な法定雇用率の達成を目指します。
--	-----	--

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	- 人事評価制度については、総務課担当者と各課評価者が制度の共通理解を深めました。また、管理職会議の中でも制度の課題を共有しており、令和7年度の人事評価の取り組みへ反映しています。 - 体系化された研修会の開催、中期的な職員採用計画の作成については着手できませんでした。 - 福祉業界は全国的に人材不足が顕著ですが、職場定着と新規雇用を熟考し人材の獲得に向けた取り組みを継続していきます。
評価	B		

（4）防災対策・感染症対策の強化

■目標

- ①自然災害などの非常時における対策に取り組みます。
- ②新型コロナウイルス感染症等の感染症防止対策に取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況												
①-1 BCP（事業継続計画）を検証し、実情に応じ修正を行います。	100%	①-1 BCP（事業継続計画）の検証等のため、以下の取り組みを進めました。 ◇SSDP（志摩市社協防災チーム）を立上げ、BCP(事業継続計画)の検証や職員参集訓練の実施に向けて準備を進めました。視察研修を6月、参集訓練を9月、福祉避難所図上訓練を2月に実施しました。SSDPは、総務課、地域支援課、居宅介護支援課、在宅サービス課、障がい福祉課から職員を参加させています。 また、三重県 DWAT（三重県災害派遣福祉チーム）登録員研修に総務課、在宅サービス課職員3人が参加しました。 併せて、志摩市福祉避難所設置・運営訓練へ、総務課、地域支援課、在宅サービス課、障がい福祉課職員21人が参加しました。 ◇コア会議を4回開催しました。 ◇実施状況 ・SSDP（志摩市社協防災チーム）第1回コア会議 <table><tr><td>日時</td><td>令和7年4月16日（水）13:30～15:00</td><td>参加方法</td><td>集合会議</td></tr><tr><td>場所</td><td>阿児地域福祉センター</td><td>出席者</td><td>SSDP コアメンバー6人</td></tr><tr><td>内容</td><td colspan="3">リーダーの選任・年間スケジュールの確認、視察研修、災害BCP計画、DWAT 三重について</td></tr></table>	日時	令和7年4月16日（水）13:30～15:00	参加方法	集合会議	場所	阿児地域福祉センター	出席者	SSDP コアメンバー6人	内容	リーダーの選任・年間スケジュールの確認、視察研修、災害BCP計画、DWAT 三重について		
日時	令和7年4月16日（水）13:30～15:00	参加方法	集合会議											
場所	阿児地域福祉センター	出席者	SSDP コアメンバー6人											
内容	リーダーの選任・年間スケジュールの確認、視察研修、災害BCP計画、DWAT 三重について													

・視察研修

日時	令和7年6月25日（水）	参加方法	視察研修
場所	紀宝町	出席者	SSDP コアメンバー5人
内容	紀宝町役場及び紀宝町社会福祉協議会の連携や取り組みについて		

・三重県 DWAT 登録員研修

日時	令和7年7月7日（月）	参加方法	集合研修
場所	三重県社会福祉協議会	出席者	総務課1人、在宅サービス課2人
内容	三重県災害派遣福祉チーム登録員養成研修		

・SSDP（志摩市社協防災チーム）第2回コア会議

日時	令和7年7月16日（水）13:30～15:00	参加方法	集合会議
場所	阿児地域福祉センター	出席者	SSDP コアメンバー5人
内容	参集訓練・視察研修報告について		

・SSDP（志摩市社協防災チーム）第3回コア会議

日時	令和7年10月15日（水）13:30～15:00	参加方法	集合会議
場所	阿児地域福祉センター	出席者	SSDP コアメンバー6人
内容	参集訓練報告・福祉避難所研修について		

・三重県 DWAT 資質向上研修

日時	令和7年11月21日（金）	参加方法	集合研修
場所	三重県社会福祉協議会	出席者	総務課1人、在宅サービス課2人
内容	三重県災害派遣福祉チーム資質向上研修		

・松阪市社協との意見交換

日時	令和7年12月17日（水）	参加方法	集合
場所	松阪市	出席者	SSDP コアメンバー2人
内容	松阪市社協及び志摩市社協の防災について意見交換		

・SSDP（志摩市社協防災チーム）第4回コア会議

日時	令和8年2月18日（水）13:30～15:00	参加方法	集合会議
場所	阿児地域福祉センター	出席者	SSDP コアメンバー4人
内容	参集訓練・視察研修報告について		

・福祉避難所図上訓練

日時	令和8年2月27日（金）	参加方法	集合研修
場所	阿児アリーナ	出席者	SSDP コアメンバー5人

		内容	福祉避難所の運営に関わる職員を対象とした図上訓練
①-2 自然災害などの非常時に必要とされる防災備蓄品の管理ルールを整備し、定期的なサイクルで備蓄品の補充を行います。	80%	①-2 令和5年度に各拠点へ配備した防災備蓄品について、ローリングストックなどの管理ルールをSSDP（志摩市社協防災チーム）で引き続き検討しています。かがやき大規模改修工事に伴う防災備蓄品の管理方法について、えりはら事業所、サンライフあごに加え、浜島地域福祉センターさくら苑は津波の浸水区域であることから、浜島小学校へ依頼し防災備蓄品の保管を行いました。	
①-3 消防訓練・避難訓練・参集訓練を実施します。また、福祉避難所の運営について、研修等を通じて理解を深めます	100%	①-3 指定管理施設及び事業所において消防計画（年2回：9月、2月）に基づき、志摩消防署の協力のもと消防訓練を実施しています。 また、9月に参集訓練を、12月に志摩市福祉避難所設置・運営訓練への職員派遣を、2月に職員を対象とした福祉避難所図上訓練を、それぞれ実施しました。	
①-4 災害時の職員の安否確認をスムーズに行うため、連絡システムを強化します。	100%	①-4 大規模災害時の職員参集訓練（9月）を実施しました。また、それに向けて、連絡システムの理解を深め、実際に活用し訓練を実施しました。	
①-5 関係部署と調整の上、事業者等と福祉版DCPの協議を行います。	50%	①-5 下半期に、志摩の里と事務担当者レベルで意見交換を予定していましたが、未協議となっています。	
②-1 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルス等が蔓延した場合は、対策会議を開催して感染症への対策方針について協議します。	0%	②-1 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルス等について、感染状況に応じて対策会議を開催していきますが、令和7年度は感染症が蔓延することがなかったため、クラスター対策会議を実施しませんでした。	
②-2 感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための対策要綱により、感染症予防に努めます。また、各種マニュアルの整備も行います。	80%	②-2 感染対策委員会において、各部署での感染症の発生状況の確認及び感染症全般の予防対策、その他の取り組み等について検討しました。 ・令和7年度第1回感染対策委員会 令和7年6月26日開催 出席者8人 ・令和7年度第2回感染対策委員会 令和7年11月13日開催 出席者8人	

■評価

目標の達成度		・災害BCP（事業継続計画）や防災計画についてSSDP（志摩市社協防災チーム）を中心として検証や修正を行っています。いつ発生するか分からない有事に備え、令和6年度から実施している職員の参集訓練を9月に実施しました。また、12月には志摩市福祉避難所設置・運営訓練へ職員を派遣、2月には法人内で福祉避難所図上訓練を実施しました。 ・新型コロナウイルス感染症の感染が事業所内で蔓延した場合は、クラスター対策を協議した上で営業判断などについて対処しています。 ・感染対策委員会では、新型コロナウイルス感染症に限らずインフルエンザ等各種感染症への対応について協議しました。
評価	B	

（5）地域福祉活動財源の確保

■目標

①地域福祉活動の貴重な財源である会費の増額に努めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																								
①-1 自治会及び関係機関、法人に協力を求め、実績額の増加に努めます。	98%	①-1 自治会の会議や自治会事務所等に出向き会費への協力を求めるとともに、書面において協力を呼びかけましたが、実績は減少しました。																								
①-2 広報紙やホームページを通じて社協を理解してもらえよう、活動や事業の積極的な情報発信を行います。	100%	①-2 広報誌やホームページにおいて本会の事業を啓発するとともに会費への協力を求めました。																								
①-3 会費の使途を明確にし、資料等へ使途を記載するなど地域住民への理解を深めます。	100%	①-3 会費への協力を求める書類に、会費を財源として実施する事業や実績を記載するなど市民への理解を深める工夫を行いました。																								
①-4 特別会費については、依頼する企業について見直し、幅広い企業への募集を実施します。 (前年比+3 件以上)	103%	①-4 本会と何らかの取引や関係のある企業 380 社に案内を行いました。特別会費の実績は、令和 6 年度を上回る結果となりました。 ・一般会費の状況 <table><tr><th></th><th>浜島町</th><th>大王町</th><th>志摩町</th><th>阿児町</th><th>磯部町</th></tr><tr><th>納入件数</th><td>1,056 件</td><td>1,018 件</td><td>1,606 件</td><td>2,665 件</td><td>2,062 件</td></tr><tr><th>納入金額</th><td>528,000 円</td><td>502,180 円</td><td>808,400 円</td><td>1,288,430 円</td><td>1,030,500 円</td></tr><tr><th>納入件数合計</th><td colspan="2">8,407 件〔前年比：-453 件〕</td><th>納入金額合計</th><td colspan="2">4,157,510 円〔前年比：-272,531 円〕</td></tr></table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	納入件数	1,056 件	1,018 件	1,606 件	2,665 件	2,062 件	納入金額	528,000 円	502,180 円	808,400 円	1,288,430 円	1,030,500 円	納入件数合計	8,407 件〔前年比：-453 件〕		納入金額合計	4,157,510 円〔前年比：-272,531 円〕	
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町																					
納入件数	1,056 件	1,018 件	1,606 件	2,665 件	2,062 件																					
納入金額	528,000 円	502,180 円	808,400 円	1,288,430 円	1,030,500 円																					
納入件数合計	8,407 件〔前年比：-453 件〕		納入金額合計	4,157,510 円〔前年比：-272,531 円〕																						

・賛助会費の状況

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外
納入件数	16 件	3 件	24 件	38 件	1 件	0 件
納入金額	51,000 円	9,000 円	72,000 円	117,000 円	3,000 円	0 円
納入件数合計	82 件〔前年比：-15 件〕		納入金額合計		252,000 円〔前年比：-51,000 円〕	

・特別会費の状況

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外
納入件数	8 件	18 件	11 件	85 件	33 件	19 件
納入金額	55,000 円	96,680 円	108,350 円	491,610 円	234,560 円	124,340 円
納入件数合計	174 件〔前年比：+7 件〕		納入金額合計		1,110,540 円〔前年比：+39,080 円〕	

・会費の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般会費	4,776,006 円	4,621,333 円	4,550,747 円	4,430,041 円	4,157,510 円
賛助会費	459,000 円	367,000 円	318,000 円	303,000 円	252,000 円
特別会費	1,340,000 円	1,253,000 円	1,162,560 円	1,071,460 円	1,110,540 円
合計	6,575,006 円	6,241,333 円	6,031,307 円	5,804,501 円	5,520,050 円

・寄附金の状況

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外
寄附件数	2 件	0 件	14 件	14 件	9 件	21 件
寄附金額	61,230 円	0 円	182,753 円	639,500 円	775,117 円	319,845 円
寄附件数合計	60 件〔前年比：+14 件〕		合計〔寄附金額〕		1,978,445 円〔前年比：+762,720 円〕	

※物品のうち1万円以上の価値のあるものについては、金額に換算しています。

※上記の他に、阿児町で2件380,000円の固定資産物品を寄附いただきました。

・寄附金額の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
寄附金	2,110,312 円	1,605,333 円	1,167,015 円	1,215,725 円	1,978,445 円

■評価

目標の達成度	B	・会員募集については、地域の実情に合わせた募集時期とし丁寧な対応をしました。 ・会費の実績額は一般会費及び賛助会費については減少となりましたが、特別会費は対前年比で増加となりました。地域住民の高齢化や人口減少、物価高騰などが会費額の減少となった主な要因であると分析しています。
評価		

(6) 志摩市との連携事業

■目標

①志摩市介護・総合相談支援課、志摩市生活支援課に職員を派遣し、市との福祉サービス事業の連携強化を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況	
①-1 定期的に地域支援コーディネーター連携会議の開催と地域福祉推進会議へ参画し、市の福祉分野の内外を問わず、関係機関や団体への協力や連携のための調整を行います。	100%	①-1 市介護・総合相談支援課に職員1人を派遣しました。	
		会議名（方法）	内容
		相談支援調整会議・地域支援コーディネーター定例連携会議（主催）	市の事業情報や、地域支援状況の情報共有を行っています。
		地域福祉推進会議（参画）	第4次地域福祉（活動）計画の進捗状況を確認し、進捗管理を支援しています。また、令和7年度より第5次地域福祉（活動）計画策定に着手しています。
		自立支援型地域ケア会議（参画）	要支援のケースを持つケアマネジャーに対し、インフォーマルなサービスや地域資源の情報提供、及びケースへの助言、業務連携に務めています。
①-2 経済的な課題を抱えている地域住民等の相談を受け止め、関係機関との連携と寄り添い支援を進めます。	100%	包括的ケアマネジメント推進会議（参画）	
		包括的ケアマネジメントの推進を目指し、インフォーマルなサービスや地域資源の情報提供、及びケースへの助言、業務連携に務めています。	
①-2 経済的な課題を抱えている地域住民等の相談を受け止め、関係機関との連携と寄り添い支援を進めます。	100%	①-2 市生活支援課に生活困窮者の相談支援職員1人をサテライトで配置しました。経済的な生活課題を受け止め、生活保護制度や他制度への橋渡しなど市民に寄り添った支援に努めました。	

■評価

目標の達成度	A	・市生活支援課へサテライト設置した職員の相談援助については、引き続き本会の生活困窮者自立支援事業や関係機関との連携により、相談者が困らない援助をマネジメントし頼られる存在になっています。また、市介護・総合相談支援課に派遣した職員については、志摩市を範囲とする1層の地域支援コーディネーターとして日々奔走しています。地域との連携強化が図られているものと評価しています。
評価		

2. 放課後児童クラブ事業（志摩市受託事業）・・・・補正後支出予算額 21,836,000円 / 支出決算額 21,135,678円

（1）浜島・磯部放課後児童クラブ事業

■目標

①市及び関連機関と協調し磯部及び浜島地域において、放課後児童の健全育成と保護者の就労支援に寄与すべく、事業を運営します。

②児童及び職員の安全を確保し、安心して利用できる居場所づくりに取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況															
①-1 放課後児童クラブ運営委員会を年2回開催し、保護者及び有識者代表の意見・助言を事業運営に活かしていきます。	100%	①-1 下表のとおり運営委員会を実施しました。 <table> <tr> <th>開催日</th><th>内容</th><th>出席者</th></tr> <tr> <td>[第1回] 11月14日</td><td>1. 令和7年度上半期の児童クラブ事業について 2. ご意見、ご要望など</td><td>委員3人 職員3人</td></tr> <tr> <td>[第2回] 3月6日</td><td>1. 令和7年度下半期の児童クラブ事業について 2. 令和8年度児童クラブの展望について 3. ご意見、ご要望など</td><td>委員3人 職員3人</td></tr> </table>	開催日	内容	出席者	[第1回] 11月14日	1. 令和7年度上半期の児童クラブ事業について 2. ご意見、ご要望など	委員3人 職員3人	[第2回] 3月6日	1. 令和7年度下半期の児童クラブ事業について 2. 令和8年度児童クラブの展望について 3. ご意見、ご要望など	委員3人 職員3人						
開催日	内容	出席者															
[第1回] 11月14日	1. 令和7年度上半期の児童クラブ事業について 2. ご意見、ご要望など	委員3人 職員3人															
[第2回] 3月6日	1. 令和7年度下半期の児童クラブ事業について 2. 令和8年度児童クラブの展望について 3. ご意見、ご要望など	委員3人 職員3人															
①-2 必要に応じて利用者ニーズをアンケート等で把握し、事業改善や施設の環境整備を行います。	50%	①-2 運営委員会での意見を通じて利用者ニーズを把握、事業改善や環境整備に取り組みました。															
①-3 伝統的な遊びやスポーツ、文化活動の知識や経験のある地域の方等を招き、交流やレクリエーションの場を提供します。	100%	①-3 ボランティアとの交流の機会を下記のとおり調整しました。今後も高校生ボランティアや地域のボランティアなどへ情報を発信し、ボランティアの積極的な受け入れ体制を整えていきます。 <table> <tr> <th>開催日</th><th>対象クラブ</th><th>内容</th></tr> <tr> <td>7月29日</td><td>磯部放課後児童クラブ</td><td>地元有志の協力を得て、手品など様々な交流アイテムを通して児童との交流を深めました。</td></tr> <tr> <td>8月6日</td><td>磯部放課後児童クラブ 浜島放課後児童クラブ</td><td>市役所生涯学習スポーツの職員2人が来所し、カプラ体験(※)を実施しました。 午前は浜島、午後は磯部で行いました。 ※木製ブロック「KAPLA」を使って自由に造形を楽しむ遊びやワークショップのこと。創造力や集中力を育む知育体験。</td></tr> <tr> <td>8月7日</td><td>磯部放課後児童クラブ</td><td>志摩高校からのボランティア協力を受け入れました。（生徒3人、引率教員1人） ※7月30日は津波警報発令のため中止</td></tr> <tr> <td>8月20日 8月21日</td><td>磯部放課後児童クラブ 浜島放課後児童クラブ</td><td>中部地方環境事務所伊勢志摩国立公園管理事務所の出前授業で職員2人が来所し、簡単なゲームを交えたクイズなどを実施しました。</td></tr> </table>	開催日	対象クラブ	内容	7月29日	磯部放課後児童クラブ	地元有志の協力を得て、手品など様々な交流アイテムを通して児童との交流を深めました。	8月6日	磯部放課後児童クラブ 浜島放課後児童クラブ	市役所生涯学習スポーツの職員2人が来所し、カプラ体験(※)を実施しました。 午前は浜島、午後は磯部で行いました。 ※木製ブロック「KAPLA」を使って自由に造形を楽しむ遊びやワークショップのこと。創造力や集中力を育む知育体験。	8月7日	磯部放課後児童クラブ	志摩高校からのボランティア協力を受け入れました。（生徒3人、引率教員1人） ※7月30日は津波警報発令のため中止	8月20日 8月21日	磯部放課後児童クラブ 浜島放課後児童クラブ	中部地方環境事務所伊勢志摩国立公園管理事務所の出前授業で職員2人が来所し、簡単なゲームを交えたクイズなどを実施しました。
開催日	対象クラブ	内容															
7月29日	磯部放課後児童クラブ	地元有志の協力を得て、手品など様々な交流アイテムを通して児童との交流を深めました。															
8月6日	磯部放課後児童クラブ 浜島放課後児童クラブ	市役所生涯学習スポーツの職員2人が来所し、カプラ体験(※)を実施しました。 午前は浜島、午後は磯部で行いました。 ※木製ブロック「KAPLA」を使って自由に造形を楽しむ遊びやワークショップのこと。創造力や集中力を育む知育体験。															
8月7日	磯部放課後児童クラブ	志摩高校からのボランティア協力を受け入れました。（生徒3人、引率教員1人） ※7月30日は津波警報発令のため中止															
8月20日 8月21日	磯部放課後児童クラブ 浜島放課後児童クラブ	中部地方環境事務所伊勢志摩国立公園管理事務所の出前授業で職員2人が来所し、簡単なゲームを交えたクイズなどを実施しました。															

		12月24日	磯部放課後児童クラブ	日本ベンジャミン人間性英才学校の学生や教師によるダンスの披露や、児童と一緒に身体をつかったゲームなどを実施しました。
		12月25日	磯部放課後児童クラブ	ボランティア団体「もっとミュージックしま」の2人が来所し、演奏を披露していただきました。
		1月5日	磯部放課後児童クラブ	地元有志による輪投げ、吹き矢などの昔ながらの遊びを通じて交流を深めました。

①-4 職員の資質向上のため月1回のミーティングと、年1回の事業所内研修を行います。	70%	①-4 ◇職員ミーティングを適時行い、情報共有や児童への対応について意見交換を行いました。 ◇事業所内研修については、下記のとおり実施しました。				
		<table><tr><th>研修名</th><th>実施日時（参加者数）</th></tr><tr><td>AED 講習</td><td>志摩消防署にて以下の日程で行いました。 6月17日 14:00～15:00（2人） 6月17日 17:00～18:00（2人） 6月19日 14:00～15:00（1人） 6月24日 14:00～15:00（2人） 6月24日 17:00～18:00（2人）</td></tr></table> ◇放課後児童支援員都道府県認定資格の取得に向けた講習を受講しました。 ・講習期間：令和7年8月21日～11月27日 ・受講者数：3人 ※放課後児童クラブの開所にあたり、放課後児童支援員が1人以上/日の配置が求められています。	研修名	実施日時（参加者数）	AED 講習	志摩消防署にて以下の日程で行いました。 6月17日 14:00～15:00（2人） 6月17日 17:00～18:00（2人） 6月19日 14:00～15:00（1人） 6月24日 14:00～15:00（2人） 6月24日 17:00～18:00（2人）
		研修名	実施日時（参加者数）			
AED 講習	志摩消防署にて以下の日程で行いました。 6月17日 14:00～15:00（2人） 6月17日 17:00～18:00（2人） 6月19日 14:00～15:00（1人） 6月24日 14:00～15:00（2人） 6月24日 17:00～18:00（2人）					

②-1 家庭との連絡システムの検討と導入を行います。	100%	②-1 昨年度から「すぐる」（※）を利用し、出欠確認などを円滑に行うことができるよう取り組んでいます。 ※学校・保護者・地域をつなぐ連絡システムで、欠席連絡やお知らせ配信などをスマホやPCで簡単に行える教育支援サービス

②-2 防災計画の見直しと年2回の避難訓練を実施します。	50%	②-2 次のとおり避難訓練を実施しました。										
		<table><tr><th>児童クラブ名</th><th>日付</th><th>参加者</th></tr><tr><td>磯部放課後児童クラブ</td><td>12月25日</td><td>児童30人、職員4人</td></tr><tr><td>浜島放課後児童クラブ</td><td>3月26日</td><td>児童14人、職員2人</td></tr></table> ・経営状況	児童クラブ名	日付	参加者	磯部放課後児童クラブ	12月25日	児童30人、職員4人	浜島放課後児童クラブ	3月26日	児童14人、職員2人	
		児童クラブ名	日付	参加者								
磯部放課後児童クラブ	12月25日	児童30人、職員4人										
浜島放課後児童クラブ	3月26日	児童14人、職員2人										
<table><tr><th></th><th>浜島</th><th>磯部</th><th>合計</th></tr><tr><td>定員</td><td>25人</td><td>75人</td><td>100人</td></tr><tr><td>延べ利用者数</td><td>3,326人</td><td>8,463人</td><td>11,789人</td></tr></table>		浜島	磯部	合計	定員	25人	75人	100人	延べ利用者数	3,326人	8,463人	11,789人
	浜島	磯部	合計									
定員	25人	75人	100人									
延べ利用者数	3,326人	8,463人	11,789人									

			[前年比]	+70 人	-1,992 人	-1,922 人	
			1 日平均利用者数 (平日)	13.5 人	34.2 人	47.7 人	
			1 日平均利用者数 (土曜)	1.6 人	3.8 人	5.4 人	
			当期利益			-1,190,630 円	
			当期利益増減値 [前年比]			-1,472,283 円	

■評価

目標の達成度		・令和7年度末時点で通常時の登録利用者数は浜島が16人、磯部が52人でした。児童数の減少により、延べ利用者数は前年比で浜島は増加しましたが、磯部は減少する結果となりました。職員不足の課題はあるものの、学校とも連携をとりながら児童の安全を確保し、安心して利用できる居場所づくりを今後も提供していきます。 ・長期休暇中は、地域交流や出前教室、演奏会等による通常時とは異なる体験機会を設け、児童の学びにつながる取り組みも行いました。
評価	B	

3. 浜島・磯部地域包括支援センター事業（志摩市受託事業）・・・・・・補正後支出予算額 26,618,000円 / 支出決算額 25,843,340円

（1）地域包括ケアシステムの推進

■目標

①保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員がチームアプローチによる住民の健康保持及び生活の安定に向けた必要な援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																																							
①-1 高齢者やその家族からの介護、福祉などに関する相談を総合的に受けとめ、必要な支援を調整します。高齢者以外の相談にも柔軟に対応し、地域支援課など関係機関と連携して課題解決にあたります。	102%	①-1 総合相談支援業務について、下記のとおり取り組みました。 ・高齢者に関する総合相談窓口として、相談支援を行いました。 ・近隣地域や関係者からの情報提供を受け、自宅への訪問などにより適切な制度やサービスへつなげました。また、かかりつけ医、民生委員・児童委員や生活困窮者自立支援事業担当者、地域支援コーディネーターとの同行訪問も適宜行っています。 ・地域ケア会議の開催や認知症カフェへの参加を通じて、地域支援体制づくりを進めました。 <table><tr><th></th><th>生活 家庭</th><th>介護 保険</th><th>介護 予防</th><th>医療</th><th>経済 問題</th><th>虐待</th><th>福祉サービス (介護保険外)</th><th>権利 擁護</th><th>その他</th><th>合計</th></tr><tr><td>浜島町</td><td>288 件</td><td>388 件</td><td>0 件</td><td>19 件</td><td>10 件</td><td>35 件</td><td>28 件</td><td>13 件</td><td>23 件</td><td>804 件</td></tr><tr><td>磯部町</td><td>263 件</td><td>435 件</td><td>0 件</td><td>22 件</td><td>20 件</td><td>30 件</td><td>17 件</td><td>5 件</td><td>18 件</td><td>810 件</td></tr><tr><td>その他</td><td>2 件</td><td>5 件</td><td>0 件</td><td>1 件</td><td>0 件</td><td>0 件</td><td>0 件</td><td>0 件</td><td>10 件</td><td>18 件</td></tr><tr><td>合計</td><td>553 件</td><td>828 件</td><td>0 件</td><td>42 件</td><td>30 件</td><td>65 件</td><td>45 件</td><td>18 件</td><td>51 件</td><td>1,632 件</td></tr></table>		生活 家庭	介護 保険	介護 予防	医療	経済 問題	虐待	福祉サービス (介護保険外)	権利 擁護	その他	合計	浜島町	288 件	388 件	0 件	19 件	10 件	35 件	28 件	13 件	23 件	804 件	磯部町	263 件	435 件	0 件	22 件	20 件	30 件	17 件	5 件	18 件	810 件	その他	2 件	5 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件	10 件	18 件	合計	553 件	828 件	0 件	42 件	30 件	65 件	45 件	18 件	51 件	1,632 件
	生活 家庭	介護 保険	介護 予防	医療	経済 問題	虐待	福祉サービス (介護保険外)	権利 擁護	その他	合計																																															
浜島町	288 件	388 件	0 件	19 件	10 件	35 件	28 件	13 件	23 件	804 件																																															
磯部町	263 件	435 件	0 件	22 件	20 件	30 件	17 件	5 件	18 件	810 件																																															
その他	2 件	5 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件	0 件	10 件	18 件																																															
合計	553 件	828 件	0 件	42 件	30 件	65 件	45 件	18 件	51 件	1,632 件																																															

			(参考)	令和6年度実績		
			浜島町	732 件		
			磯部町	854 件		
			その他	13 件		
			合計	1,599 件		

	83%	①-2 高齢者の虐待の早期発見・防止のための地域支援体制づくり、成年後見制度の利用促進、消費者被害防止のための情報提供などを行います。	83%	①-2 権利擁護業務について、下記のとおり取り組みました。 ・虐待通報、相談を受けた案件について、現地への状況確認や、相談支援を行いました。市が虐待事例に対して開催するコアメンバー会議では、利用者、ご家族の想いや悩みを尊重した上で支援対応の方向性を確認しています。 ・市介護・総合相談支援課や鳥羽警察署との連携を図り、必要時に対応できる体制作りに努めています。				

	浜島町	磯部町	合計
虐待通報件数	2 件	3 件	5 件
虐待認定された件数	0 件	1 件	1 件
(参考)	令和6年度実績		
	浜島町	磯部町	合計
虐待通報件数	2 件	4 件	6 件
虐待認定された件数	1 件	1 件	2 件

	100%	①-3 ケアマネジャーが孤立しないよう、一緒にケアマネジメント過程を振り返り、他機関との連携が行えるよう支援します。	100%	①-3 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務について、下記のとおり取り組みました。 ・居宅介護支援事業所のケアマネジャーへ、主任介護支援専門員として随時個別相談やアドバイスをを行いました。支援困難事例等への対応指導や、虐待事例におけるの同行訪問も行っています。				

	自機関	委託	合計
介護予防ケアマネジメント数	489 件	144 件	633 件
(参考)	令和6年度実績		
	自機関	委託	合計
介護予防ケアマネジメント数	584 件	178 件	762 件

①-5 要支援者が介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるよう、その心身の状況や環境等を勘案し介護予防サービス計画を作成します。	97%	自機関：浜島・磯部地域包括支援センター 委 託：浜島・磯部地域包括支援センターが業務委託した居宅介護支援事業所（8 事業所） ①-5 介護予防支援について、下記のとおり取り組みました。 ・要支援者が必要な介護予防サービス等を適切に利用できるよう、介護予防計画を作成しました。 <table><tr><th></th><th>自機関</th><th>委託</th><th>合計</th></tr><tr><td>介護予防サービス計画作成数</td><td>866 件</td><td>519 件</td><td>1,385 件</td></tr><tr><td rowspan="2">(参考)</td><td colspan="3">令和6 年度実績</td></tr><tr><td>自機関</td><td>委託</td><td>合計</td></tr><tr><td>介護予防サービス計画作成数</td><td>830 件</td><td>590 件</td><td>1,420 件</td></tr></table> 自機関：浜島・磯部地域包括支援センター 委 託：浜島・磯部地域包括支援センターが業務委託した居宅介護支援事業所（8 事業所）		自機関	委託	合計	介護予防サービス計画作成数	866 件	519 件	1,385 件	(参考)	令和6 年度実績			自機関	委託	合計	介護予防サービス計画作成数	830 件	590 件	1,420 件
	自機関	委託	合計																		
介護予防サービス計画作成数	866 件	519 件	1,385 件																		
(参考)	令和6 年度実績																				
	自機関	委託	合計																		
介護予防サービス計画作成数	830 件	590 件	1,420 件																		
①-6 地域ケア会議を開催し、高齢者が抱える様々な問題を見つけて整理し、関係機関と情報を共有し、解決が図れるようにします。	100%	①-6 地域ケア会議について ・民生委員・児童委員、自治会関係者などと地域の現状や課題について情報共有、意見交換を行いました。 ・民生委員・児童委員等が行っている見守り支援活動に関して気になる高齢者の情報共有などを行いました。 ・民生委員・児童委員、自治会関係者、各種団体長に地域包括支援センターの活動について説明を行いました。																			

■評価

目標の達成度 <table border="1" data-bbox="91 1026 282 1077"> <tr> <td>評価</td><td>B</td></tr> </table>	評価	B	・令和6 年度と比較して、相談件数はやや増加しており、ケアプラン件数は減少しています。事業運営については順調に進捗することができました。 ・民生委員・児童委員に協力を得て開催している地域ケア会議が定着しつつある地区もあり、今後も地域資源や地域支援の可能性をみてさらに増やしていきたいと考えています。 ・地域の方々や民生委員・児童委員からの相談が増えてきていることから、浜島・磯部地域包括支援センターの認知度が高まっていると考えます。今後も気軽に介護や生活課題のことが相談できる機関として、地域包括支援センターの機能について啓発していきます。 ・生活困窮者自立支援事業や地域支援コーディネーターと協働連携し、本会で地域包括支援センター事業を受託している強みを活かした活動を行っていきます。
評価	B		

Ⅱ. 地域福祉活動推進事業

○ 地域支援課（事業方針）

第4次志摩市地域福祉（活動）計画は4年目となり、令和9年度から始まる第5次志摩市地域福祉（活動）計画の策定に向けて、現在の計画内容の見直し時期に入ります。重点施策のひとつである「地域づくり」においては、各地区で開催しているふくし座談会を経て住民主体の地域づくり活動が生まれるなど、新たな取り組みも始まっています。継続的な取り組みとなるよう引き続きコーディネートを進め、第5次計画へつなげていきます。



様々な生きづらさを抱え、地域から孤立している人々を適切な支援につなぐために、アウトリーチ機能は欠かすことができません。重層的支援体制整備事業におけるアウトリーチ支援事業や生活困窮者自立支援事業等において、個別課題に寄り添った支援を進めていくとともに、各地域福祉事業の取り組みを進める中でお互いに助け合いながら暮らしていける包括的な地域づくりを目指していきます。

1. 地域福祉活動推進事業・・・補正後支出予算額 65,625,000円 / 支出決算額 63,472,297円

(1) 地域福祉（活動）計画の推進

■目標

- ①第4次地域福祉（活動）計画の推進に向けて、市関係部署と連携、協働し、進行管理を行います。
- ②第4次地域福祉（活動）計画の理念「誰もがつながりあい自分らしく暮らす志摩市」の実現に向け、3つの重点施策に取り組みます。

重点施策1：「地域づくり」のための環境整備

重点施策2：「包括的な相談体制」の構築

重点施策3：「包括的な支援体制」の構築

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 第4次地域福祉（活動）計画における全体的な調整と進捗状況の確認を行います。 (地域福祉推進会議への参加：月1回)	100%	①-1 地域福祉（活動）計画に関する会議へ出席しました。 ・定例地域福祉推進会議 【全体会議（月1回）】13回開催3人出席 …各事業（重点施策）からの報告、第5次地域福祉（活動）計画の策定に向けた調査や事務、策定委員会の内容について協議 目的：第4次地域福祉（活動）計画推進の全体的な調整と進捗状況の確認 参加：志摩市地域福祉推進アドバイザー（三重大学 深井教授）、市（地域福祉課、介護・総合相談支援課、こども家庭課、健康推進課、生活支援課、保険年金課）、本会地域支援課 【コアメンバー会議（月1回程度）】14回開催2人出席 …全体会議の内容について、第5次地域福祉（活動）計画の策定に向けた調査や事務、策定委員会の内容について協議

①-2 地域福祉推進審議会の開催（年2回）に合わせ、計画の進捗を評価し、課題を立てます。	100%	①-2 地域福祉推進審議会を10月24日（中間）と3月19日（期末）に開催し、地域福祉活動計画の重点施策を評価しました。第4次地域福祉活動計画がよく進められていると評価していただきました。また当会議において、担い手不足の問題に対して市民活動・ボランティアの育成と支援に期待が寄せられ、声なき声（困りごとを発することができない市民）への対応や広く市民へ情報を発信する方法を検討してほしいと意見がありました。																																																															
②-1 地域支援コーディネーター（2層：町単位）による地域活動を推進します。 ・地域訪問（各町月20回以上） ・ふくし座談会の開催支援（年1回） ・事業所等の訪問（各町月1回以上） ※1-（2）生活支援体制整備事業参照	100%	②-1 相談や調整による訪問、地域会議への参加、事業の実施、事業所への訪問を通して、住民と顔の見える関係づくりを進めました。また、ふくし座談会の開催に向けて、3層（地区）単位の自治会長等に対し、会議目的の説明・地域事情を共有し、会議の開催方法を調整しました。ふくし座談会は、地域の実情に合わせ、主に買い物（移動）課題や見守り、地域アセスメントによる地域の実情や社会資源の共有をテーマとして開催を支援しました。なお、地域支援コーディネーターがまちづくりのための研修会へ参加しました。 〔詳細は下記1-(2) 参照〕 ・地域訪問等の実施 <table><tr><th></th><th>浜島町</th><th>大王町</th><th>志摩町</th><th>阿児町</th><th>磯部町</th><th>計</th></tr><tr><th>訪問</th><td>314 回</td><td>317 回</td><td>240 回</td><td>337 回</td><td>419 回</td><td>1,627 回</td></tr><tr><th>月平均</th><td>26.1 回</td><td>26.4 回</td><td>20.0 回</td><td>28.0 回</td><td>34.9 回</td><td>27.1 回</td></tr></table> ・ふくし座談会の開催支援 <table><tr><th></th><th>浜島町</th><th>大王町</th><th>志摩町</th><th>阿児町</th><th>磯部町</th><th>計</th></tr><tr><th>開催地区</th><td>5 地区</td><td>3 地区</td><td>6 地区</td><td>7 地区</td><td>22 地区</td><td>43 地区</td></tr><tr><th>開催（延べ数）</th><td>9 回</td><td>4 回</td><td>9 回</td><td>7 回</td><td>24 回</td><td>53 回</td></tr><tr><th>支援</th><td>38 回</td><td>29 回</td><td>90 回</td><td>78 回</td><td>134 回</td><td>369 回</td></tr></table> ・事業所等の訪問 <table><tr><th></th><th>浜島町</th><th>大王町</th><th>志摩町</th><th>阿児町</th><th>磯部町</th><th>計</th></tr><tr><th>訪問</th><td>34 回</td><td>30 回</td><td>30 回</td><td>61 回</td><td>44 回</td><td>199 回</td></tr></table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	計	訪問	314 回	317 回	240 回	337 回	419 回	1,627 回	月平均	26.1 回	26.4 回	20.0 回	28.0 回	34.9 回	27.1 回		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	計	開催地区	5 地区	3 地区	6 地区	7 地区	22 地区	43 地区	開催（延べ数）	9 回	4 回	9 回	7 回	24 回	53 回	支援	38 回	29 回	90 回	78 回	134 回	369 回		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	計	訪問	34 回	30 回	30 回	61 回	44 回	199 回
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	計																																																											
訪問	314 回	317 回	240 回	337 回	419 回	1,627 回																																																											
月平均	26.1 回	26.4 回	20.0 回	28.0 回	34.9 回	27.1 回																																																											
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	計																																																											
開催地区	5 地区	3 地区	6 地区	7 地区	22 地区	43 地区																																																											
開催（延べ数）	9 回	4 回	9 回	7 回	24 回	53 回																																																											
支援	38 回	29 回	90 回	78 回	134 回	369 回																																																											
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	計																																																											
訪問	34 回	30 回	30 回	61 回	44 回	199 回																																																											
②-2 ボランティアセンターの機能を強化します。 ※1-(3) 重層的支援体制整備事業参照	100%	②-2 令和4年度から市より重層的支援体制整備事業（アウトリーチ支援事業と参加支援事業）を受託しています。ボランティアセンター担当職員を配置し、ボランティアセンターの機能強化を行っています。 〔詳細は下記1-(3) 参照〕																																																															

②-3 相談支援調整会議へ参画します。 ※1-(3) 重層的支援体制整備事業参照	100%	②-3 令和4年度から重層的支援体制整備事業の相談支援を推進する位置づけとなった相談支援調整会議へ参画しました。市の健康福祉部各相談担当者が集まり、多問題ケースについて支援方策や支援プランを検討しました。また、福祉総合相談と多機関協働を推進するため、研修会も開催しました。 〔詳細は下記 1-(3)-②参照〕
---	------	---

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	・定例開催している地域福祉推進会議及び相談支援調整会議は、第4次地域福祉（活動）計画の進捗管理と多問題相談の検討等を進め、市健康福祉部と連携して取り組んでいます。また、第5次地域福祉（活動）計画の策定に向けて、上半期では実態調査を進め、下半期からは策定委員会を開催して市民委員等と志摩市の課題と解決方策を話し合いました。 ・相談や調整による訪問、地域会議への参加、事業の実施、事業所への訪問を通して、住民や関係機関との顔の見える関係づくりを進めました。また、ふくし座談会の開催に向けて、3層（地区）単位の自治会長等と目的や地域事情を共有し、開催を支援しました。 ・ボランティアセンターの機能強化は4年目を迎えています。ボランティア同士のつながりづくりや参加をさらに促進する啓発などを新たな課題として見立て、計画どおり事業を進めました。
評価	B		

（2）生活支援体制整備事業（志摩市受託事業）

■目標

- ①地域住民と地域の強みと弱みに向き合いながら、住民が自分たちで何ができるか、何に取り組んでいくのか、地域の将来について話し合いができるよう支援します。
- ②地域での取り組み（地域資源）が地域で有効に活用されるように整備します。
- ③地域アセスメントや地域組織化などの手法やコミュニティソーシャルワークによる地域ネットワークのしくみづくりを進めるための技術や知識を習得し、質の高い地域支援を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 3層単位でふくし座談会の開催を支援し、地域力向上に向けた協議を進めます。 (年1回、全地区の開催を支援)	100%	①-1 市内全50地区の自治会長や民生委員・児童委員等へ働き掛け、ふくし座談会の開催を支援しました。（延べ支援回数369回、開催地区43地区、延べ53回開催）〔上記 1-(1)-②参照〕
①-2 地域住民が地域づくりや日常生活の自立支援に主体的にかかわることができるよう、地域住民と共同で地域アセスメントを実施します。	100%	①-2 地域支援コーディネーターは地域におけるニーズや社会資源の把握に努め、情報を活用できるようにアセスメントシートを作成しました。（市内50地区、年2回更新）ふくし座談会を開催した地区においてはアセスメントシートを活用し、参加者と共同で地域アセスメントを実施しました。

② 地域資源を把握し、見える化（一覧・地図等）して、ホームページ等を通じて地域住民や関係機関、事業所が活用できるように整備します。	100%	② 地域資源の情報収集に努め、次の情報を更新しました。 ・つどいの場マップ ・市内弁当業者（配達）一覧 ・市内移動販売情報																																																														
③ 地域アセスメントやコーディネート機能を担うことができるように、技術や知識の習得に努めます。 (研修会への参加：1人3回程度)	100%	③ 質の高い地域支援を行うことができるように、下記研修会へ参加しました。また、研修会等へ職員を講師として派遣しました。 生活支援コーディネーター研修への参加 <table><tr><th>開催日</th><th>研修名</th><th>主催者（主体）</th><th>参加者</th></tr><tr><td>8月7日</td><td>生活支援体制整備事業に関するオンライン全体研修</td><td rowspan="3">三重県社協</td><td>2人</td></tr><tr><td>12月17日</td><td>生活支援体制整備事業に関するオンライン研修</td><td>2人</td></tr><tr><td>2月10日</td><td>就労的活動支援事業に関するオンライン研修</td><td>1人</td></tr><tr><td>2月12日</td><td>地域外の力を活かす～地域の協働力の磨き方～</td><td>全国コミュニティライフサポートセンター</td><td>2人</td></tr></table> 三重県社協が主催する研修会 <table><tr><th>開催日</th><th>研修名</th><th>主催者（主体）</th><th>参加者</th></tr><tr><td>7月24日</td><td>福祉教育推進セミナー</td><td>三重県社協</td><td>1人</td></tr><tr><td>9月11日</td><td>災害ボランティアセンター研修会（第1回）</td><td>三重県社協</td><td>2人</td></tr><tr><td>10月27日</td><td>障がい者虐待防止権利擁護研修</td><td>三重県</td><td>1人</td></tr><tr><td>11月7日</td><td>災害ボランティアセンター研修会（第2回）</td><td>三重県社協</td><td>2人</td></tr><tr><td>11月27, 28日</td><td>東海北陸ブロック市区町村社協職員研究集会</td><td>三重県社協</td><td>3人</td></tr><tr><td>12月22日</td><td>市区町村社会福祉協議会ボランティア・市民活動センターの機能強化を考えるオンラインサロン</td><td>全国社会福祉協議会</td><td>1人</td></tr></table> 地域共生プロジェクトチーム研修会 <table><tr><th>開催日</th><th>研修名</th><th>主催者（主体）</th><th>参加者</th></tr><tr><td>5月21日～</td><td>面接技術について</td><td>志摩市</td><td>3人</td></tr></table> 地域共生プロジェクトチーム勉強会 <table><tr><th>開催日</th><th>研修名</th><th>主催者（主体）</th><th>参加者</th></tr><tr><td>7月2日～</td><td>各種事業や制度について（全8回）</td><td>志摩市</td><td>延べ27人</td></tr></table>	開催日	研修名	主催者（主体）	参加者	8月7日	生活支援体制整備事業に関するオンライン全体研修	三重県社協	2人	12月17日	生活支援体制整備事業に関するオンライン研修	2人	2月10日	就労的活動支援事業に関するオンライン研修	1人	2月12日	地域外の力を活かす～地域の協働力の磨き方～	全国コミュニティライフサポートセンター	2人	開催日	研修名	主催者（主体）	参加者	7月24日	福祉教育推進セミナー	三重県社協	1人	9月11日	災害ボランティアセンター研修会（第1回）	三重県社協	2人	10月27日	障がい者虐待防止権利擁護研修	三重県	1人	11月7日	災害ボランティアセンター研修会（第2回）	三重県社協	2人	11月27, 28日	東海北陸ブロック市区町村社協職員研究集会	三重県社協	3人	12月22日	市区町村社会福祉協議会ボランティア・市民活動センターの機能強化を考えるオンラインサロン	全国社会福祉協議会	1人	開催日	研修名	主催者（主体）	参加者	5月21日～	面接技術について	志摩市	3人	開催日	研修名	主催者（主体）	参加者	7月2日～	各種事業や制度について（全8回）	志摩市	延べ27人
開催日	研修名	主催者（主体）	参加者																																																													
8月7日	生活支援体制整備事業に関するオンライン全体研修	三重県社協	2人																																																													
12月17日	生活支援体制整備事業に関するオンライン研修		2人																																																													
2月10日	就労的活動支援事業に関するオンライン研修		1人																																																													
2月12日	地域外の力を活かす～地域の協働力の磨き方～	全国コミュニティライフサポートセンター	2人																																																													
開催日	研修名	主催者（主体）	参加者																																																													
7月24日	福祉教育推進セミナー	三重県社協	1人																																																													
9月11日	災害ボランティアセンター研修会（第1回）	三重県社協	2人																																																													
10月27日	障がい者虐待防止権利擁護研修	三重県	1人																																																													
11月7日	災害ボランティアセンター研修会（第2回）	三重県社協	2人																																																													
11月27, 28日	東海北陸ブロック市区町村社協職員研究集会	三重県社協	3人																																																													
12月22日	市区町村社会福祉協議会ボランティア・市民活動センターの機能強化を考えるオンラインサロン	全国社会福祉協議会	1人																																																													
開催日	研修名	主催者（主体）	参加者																																																													
5月21日～	面接技術について	志摩市	3人																																																													
開催日	研修名	主催者（主体）	参加者																																																													
7月2日～	各種事業や制度について（全8回）	志摩市	延べ27人																																																													

各種機関が主催する研修会

開催日	研修名	主催者（主体）	参加者
7月11日	ファシリテーション基礎研修	志摩市自立支援協議会	3人
7月24日	地域共生社会の実現を目指した地域づくり検討会議	三重県	1人
8月4日	社会課題からビジネスチャンスと信頼を得るセミナー	松阪商工会議所	1人
8月7日	若年層自殺予防対策事業こころの健康づくり講演会（全2回）	志摩市	1人
8月26日		志摩市	1人
9月25日	認知症サポーター養成講座	志摩市	1人
9月28日	災害時参集訓練	本会	5人
11月15日～	災害ボランティアコーディネーター養成講座（全2回）	本会	述べ5人
11月22日	災害ボランティアセンター設置運営訓練	本会	5人
12月12日	令和7年度志摩市福祉避難所設置・運営訓練	志摩市	1人
1月13日	令和7年度障がい者虐待防止研修会	自立支援協議会	1人
1月23日	令和7年度志摩市災害対策本部図上訓練	志摩市	2人
1月30日	災害時広域連携協議会研修会（南勢志摩ブロック）	鳥羽市社協	2人
2月24日	令和7年度志摩市社会福祉協議会虐待防止研修会	本会	3人
2月27日	防災講演会「巨大地震に備える～いまやるべきことは～」	志摩ライオンズクラブ	1人
3月6日	地域の医療と介護に関わる研修会	志摩市	1人
随時	感染対策研修会	本会	5人

講師派遣

開催日	研修名	主催者（主体）	参加者
9月10日	志摩市自立支援協議会人材育成研修（地域福祉概論について）	志摩市自立支援協議会	2人

■評価

目標の達成度	・3層（地区）単位の自治会長等に対し、ふくし座談会の開催の目的や地域の事情を共有し、ふくし座談会の開催を支援しました。（18地区/50地区） ・ふくし座談会の開催を通じて、住民とともに地域の活動や社会資源、強みや弱みを共有しました。一部の地区においては、地域福祉課題の解決に向けて、集いの場の開催や移動販売情報の周知などに取り組みされており、その活動を支援しました。 ・質の高い地域支援を行うことができるように技術や知識の習得のため、各種研修会へ参加しました。
評価	

B

(3) 重層的支援体制整備事業（志摩市受託事業）

1) アウトリーチ支援事業 [2. 共同募金配分金事業との連携]

■目標

①多機関協働事業（相談支援調整会議）、地域支援コーディネーター、自立相談支援機関（ふんばり）等と連携し、支援に向けた環境の整備に取り組みます。

②自ら支援を求めることのできない、または支援につながることに拒否的な方に対して、継続的なアウトリーチ（訪問活動）を実施します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																				
① 志摩市が開催する相談支援調整会議（週 1 回）へ参画します。（当会議の構成機関や他関係機関と本会事業との連携を高めます。）	100%	① 下記のとおり各種会議へ出席し、連携を図りました。 相談支援調整会議は、市健康福祉部 6 課に各 1 人配置された相談支援コーディネーターとアウトリーチ支援事業担当者等で構成され、市の総合相談窓口で受け付けた相談や多問題世帯等をアセスメントし、支援方針を検討します。また、アセスメント力向上のため、市の相談支援アドバイザーから月 1 回程度のアセスメント指導（事例検討）を受けています。 ・相談支援調整会議へ出席し、多問題相談等の課題や支援方針を検討しました。（47 回出席、検討件数延べ 73 件） ・本会の事業がかかわる多問題相談は、相談支援調整会議へつなげています。 ・市健康福祉部が取り組む「地域共生プロジェクトチーム」が開催する研修会及び勉強会の企画と運営に協力し、職員の参加を調整しました。（研修会 2 回、勉強会 8 回） ・相談支援調整会議のコアメンバー会議へ出席しました。（計 3 回）																				
② 相談支援調整会議と連携して、アウトリーチプランを作成し、支援を行います。	100%	② 下記のとおりアウトリーチプランを作成しました。 アウトリーチプランの対象者は、複数の分野にまたがる複合的な課題を抱えているために、自ら支援を求めることのできない人や支援につながることに拒否的な人です。 ・相談受付件数：7 件、プラン作成件数：8 件 ・本人や家族等に対して関係機関と連携して、訪問等を通して支援を行いました。（訪問回数 42 回） ・資質向上のため関係する研修会等へ参加しました。（参加支援事業担当者・ひきこもり支援事業担当者を含む） <table><tr><th>開催日</th><th>研修名</th><th>主催者（主体）</th><th>参加者</th></tr><tr><td>5 月 21 日</td><td>地域共生プロジェクトチーム研修会</td><td>志摩市</td><td>延べ 6 人</td></tr><tr><td>6 月 18 日</td><td>（重層的支援体制整備事業について、面接技術について）</td><td></td><td></td></tr><tr><td>7 月 16 日～5 回</td><td>地域共生プロジェクトチーム勉強会（各種事業や制度について）</td><td>志摩市</td><td>延べ 8 人</td></tr><tr><td>6 月 13 日</td><td>第 180 回市町村職員を対象とするセミナー 「ひきこもり支援における本人及び家族との対話交流と支援体制づくりについて」</td><td>厚生労働省</td><td>2 人</td></tr></table>	開催日	研修名	主催者（主体）	参加者	5 月 21 日	地域共生プロジェクトチーム研修会	志摩市	延べ 6 人	6 月 18 日	（重層的支援体制整備事業について、面接技術について）			7 月 16 日～5 回	地域共生プロジェクトチーム勉強会（各種事業や制度について）	志摩市	延べ 8 人	6 月 13 日	第 180 回市町村職員を対象とするセミナー 「ひきこもり支援における本人及び家族との対話交流と支援体制づくりについて」	厚生労働省	2 人
開催日	研修名	主催者（主体）	参加者																			
5 月 21 日	地域共生プロジェクトチーム研修会	志摩市	延べ 6 人																			
6 月 18 日	（重層的支援体制整備事業について、面接技術について）																					
7 月 16 日～5 回	地域共生プロジェクトチーム勉強会（各種事業や制度について）	志摩市	延べ 8 人																			
6 月 13 日	第 180 回市町村職員を対象とするセミナー 「ひきこもり支援における本人及び家族との対話交流と支援体制づくりについて」	厚生労働省	2 人																			

		6月～2月	ひきこもり支援ハンドブック当事者視点から対話を通して考える実践講座【4回／全10回】	一社) SHIPI ひきこもりと共生社会を考えるネットワーク	延べ4人
		7月24日	地域共生社会の実現を目指した地域づくり検討会議【第1回】	三重県	3人
		8月7日	若年層自殺予防対策事業こころの健康づくり講演会（全2回）	志摩市	2人
		8月26日		志摩市	3人
		9月12日	志摩市手話奉仕員養成講座（ボランティア活動について）【講師派遣】	志摩市	1人
		9月12日	相談支援包括化推進員等養成研修【第1回】	三重県社協	1人
		9月19日	ボランティアコーディネーション研修【実践編】	三重県社協	2人
		9月25日	認知症サポーター養成講座	志摩市	1人
		10月2日	相談支援包括化推進員等養成研修【第2回】	三重県社協	1人
		10月15日	災害ボランティアセンター研修会【第2回】	三重県社協	2人
		11月11日	相談支援包括化推進員養成講座【第3回】	三重県社協	2人
		12月4日	災害ボランティアセンター研修会【番外編】	三重県社協	1人
		12月18日	市町災害ボランティア担当者研修会	三重県	2人
		1月13日	体験型オンラインセミナー生成AI体験活用術	三重県社協	2人
		1月24日	相談対応生成AIシステム研究報告会	皇學館大学	1人
		1月30日	南勢志摩ブロック社協災害時広域連携協議会研修会	鳥羽市社協	2人
		2月4日	ひきこもりサポータースキルアップ研修&交流会	伊勢市社協	2人

2) 参加支援事業〔2. 共同募金配分金事業との連携〕

■目標

- ①多機関協働事業（相談支援調整会議）、アウトリーチ支援事業、生活支援体制整備事業との連携体制を構築します。
- ②孤立・孤独等の課題に対し、地域の社会資源を活用して社会とのつながり作りに向けた支援を行います。
- ③参加支援の充実と市民のボランティア参画を推進するため、ボランティアセンター機能を強化して、ボランティアの支援と社会資源の拡大を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 地域支援コーディネーターと連携会議を実施します。（月1回）	100%	①-1 アウトリーチ支援事業担当者が、相談支援調整会議へ主となって参加し、当該事業担当者と協力して参加支援及びボランティアコーディネートを行っています。

①-2 相談支援調整会議と地域支援コーディネーターの定例連携会議へ参加します。（月1回）	100%	①-2 地域支援コーディネーターと定例会議を開催し、地域情報や各事業の進捗状況の共有や事業等による連携内容の検討を行いました。（計12回）
②-1 相談支援調整会議と連携して、参加支援プランを作成し、支援を行います。	100%	②-1 下記のとおり参加支援プランを作成しました。 参加支援プランの対象者は、相談業務や相談支援調整会議等において、既存の制度では支援が困難であると判断された人です。 ・相談受付件数：0件、プラン作成件数：2件
②-2 社会資源の把握と連携、開拓を行います。	100%	②-2 ひきこもり等の居場所づくりとして、下記の居場所を開催しています。 ・ゲーム会「oinai!」（計12回） ・志摩市の居場所オンライン（常設、月1回トーク計12回） ・市教育委員会主催の不登校生徒・児童の居場所（月1回開催）へ参加、レクリエーション用品貸出等で協力
③ ボランティア活動やサロン活動など、地域住民の主体的な地域活動を支援します。 ※2-（2）ボランティアセンター事業参照	100%	③ 下記の事業等に取り組みました。 ・ボランティアスクール ・ボランティア、団体情報の発信（本会公式フェイスブックやInstagram等SNSの活用） 〔下記2-（2）参照〕

■評価

目標の達成度	・各種会議への出席や、事業の情報共有と協力依頼を行うことで、関係機関との関係構築が進み、事業や相談においてスムーズに連携を取ることができています。 ・ボランティアスクールでは、これまでの要望に応じて「傾聴ボランティア講座」を開催し、住民が主体的に学び活動できる場を提供しました。また、子ども向けに福祉体験（2回）を実施し、次世代の地域参加や思いやりを育む機会となりました。 ・月1回開催される教育委員会主催のすだちカフェに継続して参加しました。そこで参加者との信頼関係を築けたことがきっかけとなり、ひきこもり等の居場所づくりを目的としたゲーム会 oinai!（おいない!）への参加につながりました。
評価	A

（4）ひきこもり支援事業（志摩市受託事業）

■目標

- ①対象者の抱える様々な背景や事情に応じて、多様な支援の選択肢を用意できるよう、相談支援調整会議を活用する等、ネットワークづくりを進めます。
- ②当事者同士、家族同士が集まって経験や悩みを共有し合い、不安な気持ちを解消できる場を整備します。また、対象者に向けた講習会等を開催し、対象者への支援や情報発信を行います。
- ③地域において、ひきこもりに関する理解が深まるよう、住民向けの講演会・研修会を開催します。また、ひきこもりに関する支援情報や地域の社会資源などの周知・広報を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																
① 次の機関等との情報共有や課題検討等を通じてネットワークづくりを進めます。 ・相談支援調整会議 ・地域福祉推進会議 ・教育委員会	100%	① 下記のとおりネットワークづくり等を進めました。 ・相談支援調整会議において、ひきこもり事案として対応している案件について情報を共有しました。（3回出席、検討件数延べ3件） ・地域福祉推進会議へ当該事業の取り組み状況を報告しました。第5次地域福祉（活動）計画策定に向けて、ひきこもり支援に関するヒアリングを実施しています。 ・教育分野とのネットワーク構築は、過年度の取り組みから連携が始まりました。参加支援事業が中心となって不登校児童・生徒の居場所づくりへ協力しています。 ・民生委員・児童委員へ当該事業の啓発を行いました。障がい者相談支援センターこだまとは、相談支援調整会議のケース検討やひきこもり家族会を通じて連携を図っています。																
②-1 家族会を開催します。（月1回）	100%	②-1 ひきこもり家族会ねむの木を月1回開催しています。 ・計6回、参加延べ78人 ・内容 奇数月：交流会、偶数月：交流会とミニ勉強会（ねむの木の概要、こころの健康センターの概要及び三重県によるひきこもりアンケート結果について、志摩市ひきこもり家族対象ヒアリングの実施、ひきこもり研修で職員が学んだこと、家族によるピア活動やその他ひきこもりに関する講話）																
②-2 家族教室を開催します。（年1回）	100%	②-2 ひきこもり家族教室を全3回開催しました。 ・開催に向け、講師の選定及び内容の調整を行ないました。 ・第1回 講師：NPO法人 楽の会リーラ（ひきこもり家族会） 上田 理香 氏 ・第2、3回 講師：ひきこもりピアサポートセンターみえ（ピアサポーター） 佐藤 潤美 氏																
		<table><tr><th>開催日</th><th>時間</th><th>内容</th><th>会場</th><th>参加者</th></tr><tr><td>10月30日</td><td rowspan="3">10:30～12:00</td><td>・本人の声を大切にするかわり～本人の視点から考えてみよう～ ・交流会</td><td rowspan="3">サンライフあご</td><td>6人</td></tr><tr><td>12月4日</td><td>・私の生い立ちから見つけたもの「私の家のひきこもり事情から」 ・傾聴体験</td><td>8人</td></tr><tr><td>1月30日</td><td>・私の生い立ちから見つけたもの「ひきこもりの孤立死に直面して」 ・交流会</td><td>3人</td></tr></table>	開催日	時間	内容	会場	参加者	10月30日	10:30～12:00	・本人の声を大切にするかわり～本人の視点から考えてみよう～ ・交流会	サンライフあご	6人	12月4日	・私の生い立ちから見つけたもの「私の家のひきこもり事情から」 ・傾聴体験	8人	1月30日	・私の生い立ちから見つけたもの「ひきこもりの孤立死に直面して」 ・交流会	3人
開催日	時間	内容	会場	参加者														
10月30日	10:30～12:00	・本人の声を大切にするかわり～本人の視点から考えてみよう～ ・交流会	サンライフあご	6人														
12月4日		・私の生い立ちから見つけたもの「私の家のひきこもり事情から」 ・傾聴体験		8人														
1月30日		・私の生い立ちから見つけたもの「ひきこもりの孤立死に直面して」 ・交流会		3人														

③-1 講演会を開催します。（年1回）	100%	③-1 ひきこもり講演会を開催しました。 <table><tr><th>開催日</th><th>時間</th><th>内容</th><th>会場</th><th>参加者</th></tr><tr><td>8月29日</td><td>13:30～16:00</td><td>講演、質疑応答、相談会</td><td>サンライフあご</td><td>34人</td></tr></table> ・講師は、神戸市看護大学 教授 船越明子氏に依頼しました。 ・講演後半に質疑記入の時間を設け、収集した質疑について講師に应答していただきました。 ・閉会後には、ひきこもり相談会（市と本会職員で対応）を実施しました。（1人利用）	開催日	時間	内容	会場	参加者	8月29日	13:30～16:00	講演、質疑応答、相談会	サンライフあご	34人
開催日	時間	内容	会場	参加者								
8月29日	13:30～16:00	講演、質疑応答、相談会	サンライフあご	34人								
③-2 本会と志摩市の広報誌やホームページ・SNS等を通じて情報を発信します。	100%	③-2 上記の行事開催前に、情報発信を行いました。また、ねむの木の様子を発信しました。										

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td><td>B</td></tr> </table>	評価	B	・教育分野とのネットワークについては、ひきこもりにつながる可能性のある不登校児童・生徒が義務教育後に福祉へつながるように、居場所の設置について市教育委員会から相談を受けました。主に参加支援事業にて協力をしています。 ・ねむの木の参加者は少しずつ増えてきています。過年度より、関係機関の紹介から参加につながる傾向があるため、引き続き機関等の連携関係を構築していきます。 ・講演会は、質疑時間を多く取ったことからたくさんの質問が寄せられました。相談会では利用者をねむの木のLINE オープンチャットにつなぐことができました。 ・広報については、ねむの木のLINE オープンチャットや本会のSNSを通じて、事業の啓発やひきこもり関連事業を周知しました。
評価	B		

（5）地域生活拠点づくり事業（志摩市受託事業）

■目標

①間崎地区生活拠点支援事業（志摩町間崎地区）

生活支援拠点もやい（いきいきセンター）の運営を支援します。また、地域のマンパワーの大きな低下に対し、持続可能な生活支援の仕組みを住民や関係機関とともに検証します。

②地域拠点づくり事業（阿児町神明地区）

神明地区の菜の花館を拠点に、地域住民の孤独・孤立を防ぐために、地域コミュニティを形成する居場所づくりを検証します。また、多様な担い手がつながるプラットフォームの構築を進めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 住民の主体性や参加を尊重し、イオン阿児店と協働するショップやサロン活動を住民が役割を持てるようにコーディネートします。	100%	①-1 間崎地区内外の資源の発掘に取り組みました。 (1) 地域支援員（住民有志）の人材発掘について ・高齢化のため間崎地区での人材発掘は非常に困難です。運営方法に大きな見直しが必要な時期に来ています。ついては、志摩市と相談しながら、本会の障がい者施設や市内事業所へ協力を求め、地区外からの支援を模索しました。

①-2 住民の生活支援と地域生活の機能維持の両方の視点を持って、もやい地域支援員と関係機関とともに持続可能な仕組みを検討します。

②-1 居場所や生きがいづくり活動を支援します。
(地域住民と拠点活用の検討、拠点利用者と地域資源のコーディネート等)

100%

①-2 地域生活拠点もやいを次のとおり支援しました。

(1) もやいいいききショップの運営について

・地域生活拠点もやいとイオン阿児店が協働したショップ営業で食品や日用品を販売しています。

・営業日：祝日を除く金曜日の午前、営業日数：50 日 月平均 4.2 日、来店者数：延べ 657 人 月平均 54.8 人

[主な支援内容]

・謝金や燃料費など運営経費の補助

・営業日の職員派遣

・商品の発注作業や実績の集計

・営業日の調整 など

(2) 買い物ツアーについて

・買い物を希望する住民を本会所有のマイクロバスで賢島定期船乗り場からイオン阿児店まで送迎し、購入物品の運搬を手伝いました。

・開催頻度：偶数月 1 回、開催回数：6 回 利用者数：延べ 31 人 (1 回平均 5.2 人)

100%

②-1 民生委員・児童委員、老人クラブ、ボランティアと拠点の運営や各活動の現状について話し合う機会として、ふくし座談会の開催を支援しました。また、ボランティアの意見から緊急時の対応マニュアルおよび災害対応マニュアルを作成しました。今後も拠点運営や地域課題について検討する場として、ふくし座談会を継続的に開催していきます。

並行してボランティアに対し、菜の花館を活動拠点として開放することで活動を支援し、地域住民の居場所づくりを進めました。

・菜の花館の活動 内容および利用回数・利用者数

事業等	開催頻度	利用回数 (単位：回)	利用者数 (単位：人)
カラオケ喫茶	毎週火・木曜日	97	879
とまと (ボランティア型デイサービス)	毎週火曜日	49	360
絵手紙	第 1・3 金曜日	20	178
くつろぎ場	毎週月・木曜日	91	1,254
認知症カフェ (市主催)	奇数月の第 1 月曜日	5	103
ふくし座談会	随時	1	12
菜の花館キッズスペース (未就学児とその家族の集いの場)	不定期	5	246
「菜の花館でたこづくり」、「菜の花館でむかしのあそびをたのしもう」 (児童と高齢者の世代間交流の場)	不定期	3	64
ぴあず志摩 (障がい者等の交流の場)		3	47

②-2 地域福祉課題に対する取り組みを支援します。(利用者と事業者等との連携支援等)	100%	②-2 ・子どもを対象とした活動支援として、市内企業（キッチンカー等）や大手企業（餃子の王将）との調整を行いました。 ・地域住民が拠点へ参加するにあたり、移動手段に課題を抱えている現状を把握しました。交通課題として志摩市総合政策課と情報共有しました。 ・療育の場や障がい児と家族の交流機会の開催に向け、志摩市自立支援協議会との連携促進や伊勢市おおぞら児童園への視察を調整しました。
②-3 多様な活動団体の活動拠点として整備し、必要な支援を行います。(子育て支援ボランティアやボランティア型デイサービス等拠点としての整備等)	100%	②-3 ・多様な世代の居場所とするため、「菜の花館キッズスペース」や、小学生と地域の高齢者による交流等の開催を支援しました。 ・新規参加者の増加や男性利用の促進を図るため、健康麻雀の開催についてNEO シニア倶楽部と調整しました。5月よりくつろぎ場で健康麻雀が開催され、参加者増加につながりました。

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	・【志摩町間崎地区】これまで地域支援員の地域生活拠点もやいを必要とする想いを把握してきました。担い手不足のため、間崎地区外の資源の発掘を進めました。地域生活拠点もやいの仕組みを検証し、住民が主体的に生活課題を解決する、または関わっていけるよう、今後も地域支援員と関係者がともに地域生活拠点もやいの持続について協議していきます。 ・【阿児町神明地区】福祉委員、民生委員・児童委員、ボランティアが中心となった「集いの場」を通じた居場所づくりは、参加者も増加傾向にあることから、順調に進展していると評価しています。地域に根差した住民主体の居場所づくりとして醸成されつつあるため、今後も効果的な支援を実施し、さらなる充実を図ります。また、ボランティアや福祉委員会と連携し、「菜の花館キッズスペース」や「菜の花館でたこづくり」、「菜の花館でむかしのあそびをたのしもう」を開催することで、子どもや親子の居場所づくりにも取り組みました。行事には、拠点を利用する高齢者や児童の祖父母世代がボランティアとして活動するなど、高齢者の生きがいづくりの観点からも大きな成果が得られたと感じています。今後もこれらの活動を支援し、属性や世代の垣根を超えたつながりの強化や身近な地域における共助の取り組みの活性化を図ります。
評価	B		

(6) 救急医療情報キット配付事業（志摩市受託事業）

■目標

①高齢者等の急な傷病など万が一に備えるため、救急医療情報キットを必要とする独居高齢者や高齢者世帯等へ配付します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 自治会や民生委員・児童委員等と協議し、対象者へ救急医療情報キットを配付します。	100%	①-1 令和7年度の新規対象者へ6月から配付を開始しました。(対象者数：647人、434世帯) ・自治会や民生委員・児童委員等と配付時期や配付方法について検討しました。地域の実情に応じて自治会や民生委員・児童

・配付時期：令和7年6月から ・対象年齢：70歳以上独居高齢者、高齢者世帯等 ・配付数：令和7年度新規対象者約500世帯		委員等で役割を分担して配付と周知（下記①-2）を進めています。 ・対象者以外から自治会や民生委員・児童委員等を通じて配付の希望が寄せられます。地域支援コーディネーターや民生委員・児童委員等でキットを配付しました。【77 世帯へ配付】
①-2 医療情報等の更新を促します。（年1回）	100%	①-2 過年度配付したキット情報（あんしんカード）については、最新の情報として有事の際に役立つように、社協だよりや広報しま、ホームページを活用し情報の更新について啓発しました。また、自治会の協力を得て、啓発チラシを回覧または全戸に配布しました。下半期には介護サービス事業者へ協力依頼を行いました。

■評価

目標の達成度 評価 B	・令和7年度も自治会や民生委員・児童委員等の協力を得て、救急医療情報キットの配付と周知を進めました。
---	--

（7）その他の取り組み

1）成年後見制度の利用支援

■目標

①認知症、知的・精神障がいなどにより、判断能力に不安のある人の自己選択や自己決定を支援するため、成年後見制度の利用を支援します。

②本会における成年後見業務(法人後見)の実施体制について見直します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																														
①-1 支援に要する財源の確保に努め、後見業務を担当する職員数（配置）に見合った支援を継続していきます。	100%	①-1 利用状況は、下記のとおりです。																														
		<table><tr><th></th><th>後見</th><th>保佐</th><th>補助</th><th>任意後見</th><th>合計</th></tr><tr><td>年度当初受任者数</td><td>7 人</td><td>2 人</td><td>0 人</td><td>0 人</td><td>9 人</td></tr><tr><td>新規受任者数</td><td>0 人</td><td>0 人</td><td>1 人</td><td>0 人</td><td>1 人</td></tr><tr><td>後見終了者数</td><td>0 人</td><td>0 人</td><td>0 人</td><td>0 人</td><td>0 人</td></tr><tr><td>利用者数合計</td><td>7 人</td><td>2 人</td><td>1 人</td><td>0 人</td><td>10 人</td></tr></table>		後見	保佐	補助	任意後見	合計	年度当初受任者数	7 人	2 人	0 人	0 人	9 人	新規受任者数	0 人	0 人	1 人	0 人	1 人	後見終了者数	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	利用者数合計	7 人	2 人	1 人	0 人	10 人
	後見	保佐	補助	任意後見	合計																											
年度当初受任者数	7 人	2 人	0 人	0 人	9 人																											
新規受任者数	0 人	0 人	1 人	0 人	1 人																											
後見終了者数	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人																											
利用者数合計	7 人	2 人	1 人	0 人	10 人																											
		・ 地域支援課生活支援係に法人後見事務の担当者を置き、生活支援係及び訪問介護事業所の職員にて成年後見制度の利用を支援しています。																														

①-2 「志摩市成年後見制度利用促進基本計画」に基づき、相談支援、周知啓発など、関係機関との連携を図ります。	100%	①-2 権利擁護に関する会議等に参加しました。 ・令和7年度三重県権利擁護支援研修・調整企画会議：8月5日(1人参加) ・令和7年度成年後見制度利用促進に向けた関係機関会議：10月27日（1人参加）																								
①-3 成年後見専門委員会へ参加します。 (年2回程度)	100%	①-3 成年後見専門委員会へ出席しました。 ・市が設置している権利擁護専門委員会：7月25日（1人参加）、1月13日（1人参加）、2月25日（1人参加）																								
② 法人後見の事務マニュアルを作成し、担当者間で共有を図ります。	100%	② 法人後見事務マニュアル（案）の作成に取り組みました。 【その他】 (1) 勉強会の開催 <table><tr><th>開催日</th><th>研修名</th><th>主催者</th><th>参加者</th></tr><tr><td>3月17日</td><td>成年後見制度スキルアップ勉強会</td><td>本会</td><td>8人</td></tr></table> (2) 研修会への参加 <table><tr><th>開催日</th><th>研修名</th><th>主催者</th><th>参加者</th></tr><tr><td>8月28日</td><td>令和7年度 第1回成年後見制度基礎研修会</td><td>三重県社協</td><td>1人</td></tr><tr><td>11月6日</td><td>令和7年度 第2回成年後見制度基礎研修課</td><td>三重県社協</td><td>1人</td></tr><tr><td>11月19日</td><td>令和7年度 三重県障がい者虐待防止権利擁護研修会</td><td>三重県社協</td><td>1人</td></tr></table>	開催日	研修名	主催者	参加者	3月17日	成年後見制度スキルアップ勉強会	本会	8人	開催日	研修名	主催者	参加者	8月28日	令和7年度 第1回成年後見制度基礎研修会	三重県社協	1人	11月6日	令和7年度 第2回成年後見制度基礎研修課	三重県社協	1人	11月19日	令和7年度 三重県障がい者虐待防止権利擁護研修会	三重県社協	1人
開催日	研修名	主催者	参加者																							
3月17日	成年後見制度スキルアップ勉強会	本会	8人																							
開催日	研修名	主催者	参加者																							
8月28日	令和7年度 第1回成年後見制度基礎研修会	三重県社協	1人																							
11月6日	令和7年度 第2回成年後見制度基礎研修課	三重県社協	1人																							
11月19日	令和7年度 三重県障がい者虐待防止権利擁護研修会	三重県社協	1人																							

■評価

目標の達成度 <table border="1" data-bbox="91 1129 282 1182"> <tr> <td>評価</td><td>A</td></tr> </table>	評価	A	・法人後見受任件数は新たに1件受任し、10件です。地域支援課生活支援係と訪問介護事業所の職員が兼務で担当し、月1～2回の定期的な訪問等により被後見人等の身上保護と財産管理を行っています。 ・市設置の権利擁護専門委員会へ本会から委員として1人が出席しており、志摩市における成年後見制度の取り組みについて本会の意見を伝えています。 ・法人後見事務マニュアルの完成に向けて、担当者間で検討を進めています。
評価	A		

2) 福祉人材の育成支援

■目標

①次世代を担う介護・福祉の人材を育成するため、高等学校、大学、事業所などの機関より実習希望者を受け入れます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																	
①-1【地域支援課】 社会福祉士を取得するためのソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱの希望者を受け入れます。(2人以内) ①-2【在宅サービス課】 介護等体験実習の希望者を受け入れます。	100%	① 福祉・介護人材の育成支援の取り組みは下記のとおりです。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>人数</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ</td><td>2人</td><td>社会福祉士受験資格取得に係る実習(計240時間以上)</td></tr> <tr> <td>介護等体験実習</td><td>4人</td><td>小中学校教員免許資格取得に係る実習(40時間)</td></tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td><td>7人</td><td>三重県福祉人材センター職場体験事業等</td></tr> <tr> <td>2人</td><td>インターンシップ受け入れ(地域支援課)</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>15人</td><td></td></tr> </tbody> </table>		人数	備 考	ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ	2人	社会福祉士受験資格取得に係る実習(計240時間以上)	介護等体験実習	4人	小中学校教員免許資格取得に係る実習(40時間)	その他	7人	三重県福祉人材センター職場体験事業等	2人	インターンシップ受け入れ(地域支援課)	合計	15人	
	人数	備 考																	
ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ	2人	社会福祉士受験資格取得に係る実習(計240時間以上)																	
介護等体験実習	4人	小中学校教員免許資格取得に係る実習(40時間)																	
その他	7人	三重県福祉人材センター職場体験事業等																	
	2人	インターンシップ受け入れ(地域支援課)																	
合計	15人																		

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td><td>B</td></tr> </table>	評価	B	・8～9月に皇學館大学からソーシャルワーク実習Ⅱ(後期180時間)の実習生を受け入れました。 ・教員免許に係る介護等体験、志摩市内中学生の職場体験、サービス管理責任者の現場実習など、希望者のニーズに合わせた体験や実習を随時受け入れました。
評価	B		

3) 福祉関係団体の支援

■目標

- ①地区民生委員児童委員協議会との連携強化を図り、小地域での福祉活動を推進します。
- ②当事者団体の自主運営のための側面支援を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																														
① 地区民生委員児童委員協議会の事務局を担当します。（5 地区） ・定例会、役員会、専門部会の事務調整 ・研修会の企画、開催支援 ・市連合会（事務局：市地域福祉課）との連絡調整	100%	① 地区民生委員児童委員協議会の活動状況などは下記のとおりです。 <table><tr><th>協議会名</th><th>定数</th><th>委員数</th><th>定例会</th><th>役員会</th></tr><tr><td>浜島地区民生委員児童委員協議会</td><td>18 人</td><td>15 人</td><td>6 回</td><td>6 回</td></tr><tr><td>大王地区民生委員児童委員協議会</td><td>20 人</td><td>13 人</td><td>6 回</td><td>6 回</td></tr><tr><td>志摩地区民生委員児童委員協議会</td><td>31 人</td><td>25 人</td><td>6 回</td><td>12 回</td></tr><tr><td>阿児地区民生委員児童委員協議会</td><td>49 人</td><td>41 人</td><td>6 回</td><td>6 回</td></tr><tr><td>磯部地区民生委員児童委員協議会</td><td>23 人</td><td>22 人</td><td>5 回</td><td>6 回</td></tr></table> ・民生委員・児童委員からの相談及び支援対応した件数は102件	協議会名	定数	委員数	定例会	役員会	浜島地区民生委員児童委員協議会	18 人	15 人	6 回	6 回	大王地区民生委員児童委員協議会	20 人	13 人	6 回	6 回	志摩地区民生委員児童委員協議会	31 人	25 人	6 回	12 回	阿児地区民生委員児童委員協議会	49 人	41 人	6 回	6 回	磯部地区民生委員児童委員協議会	23 人	22 人	5 回	6 回
協議会名	定数	委員数	定例会	役員会																												
浜島地区民生委員児童委員協議会	18 人	15 人	6 回	6 回																												
大王地区民生委員児童委員協議会	20 人	13 人	6 回	6 回																												
志摩地区民生委員児童委員協議会	31 人	25 人	6 回	12 回																												
阿児地区民生委員児童委員協議会	49 人	41 人	6 回	6 回																												
磯部地区民生委員児童委員協議会	23 人	22 人	5 回	6 回																												

②-1 志摩市老人クラブ連合会の自主運営を支援します。 ・役員会等への参加（年6回程度） ・行事等への協力（年2回程度）	100%	②-1 志摩市老人クラブ連合会の会議に出席しました。 ・会長会議 4月25日、7月29日、1月9日 ・役員会 5月21日（他業務のため欠席）、9月2日、1月27日 ・スポーツ交流大会 11月14日 ・役員研修会 2月12日
②-2 志摩市障がい者福祉会の自主運営を支援します。 ・理事会等への参加（年4回程度） ・行事等への協力（年1回程度）	100%	②-2 志摩市障がい者福祉会（連合会）の自主運営を支援しました。 ・定期総会 4月17日 ・福祉講演会 6月22日 ・役員会 7月3日、2月12日 ・市長と語る会 8月7日 ・SSピンポン体験会 8月7日
②-3 志摩市視覚障がい者福祉会の自主運営を支援します。 ・総会への参加（年1回） ・行事等への協力（年1回程度）	100%	②-3 志摩市視覚障がい者福祉会の自主運営を支援しました。 ・定期総会 4月17日 ・お楽しみ会 12月11日

■評価

目標の達成度	・地区民生委員児童委員協議会の事務局を担当し、民生委員・児童委員活動を通じて小地域福祉活動を推進しました。志摩市民生委員児童委員協議会連合会の事務局である市地域福祉課と連携を図りながら、民生委員・児童委員活動を支援しています。地区民生委員児童委員協議会の事務局として事務の効率化を図っていきます。
評価 B	・老人クラブなどの当事者団体は、地域福祉活動を推進する団体でもあることから、当事者団体の自主運営を側面支援しました。

4) 災害時要援護者支援

■目標

①市とともに地域連携を図り、災害弱者支援を進めながら、地域の日常的な支え合いの環境づくりを支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
① 志摩市と連携して避難行動要支援者制度に取り組めます。（災害時等において支援を希望する対象者の情報を自治会等と共有し、日頃の見	100%	① 災害時要援護者支援について次のとおり取り組みました。 ・令和6年度に引き続き、制度の周知や民生委員・児童委員へ提供している名簿の更新など、市の取り組みを支援しました。 「避難行動要支援者制度」は、令和3年9月から新制度として運用が始まりました。支援を希望する住民は、市にて名簿（地

守りや災害時の避難支援等に役立てていくための地域づくりを支援します。)		域ささえあい名簿)に整理され、自治会や民生委員・児童委員へ貸与されています。また、令和5年度より本会へも地域ささえあい名簿が貸与されています。市では毎年新しい対象者(例えば要介護3になった方)に案内をしています。また、3年に1回全対象者に更新の案内をしています。(令和7年度は津波警報の対応を調査するため、2年に1回の頻度となりました。)
-------------------------------------	--	---

■評価

目標の達成度	・必要に応じて、自治会、民生委員・児童委員等へ制度を周知するとともに、当該制度を地域住民が協力して活用できるよう継続して市の取り組みを支援します。
評価	B

2. 共同募金配分金事業・・・・・・・・補正後支出予算額 5,242,000円 / 支出決算額 5,234,367円

(1) 地域見守り事業

■目標

①地域での支えあい活動や見守り活動の促進に努めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況						
① 関係団体、ボランティア等と協力して見守り活動を実施します。定期的に訪問を行い、安否が確認できない場合や困りごとを発見した場合は、親族や関係機関と連携して問題解決を図ります。 (定期訪問：各地区年12回)	100%	① 関係団体、ボランティア等と協力し、月1回、定期訪問による見守り活動を実施しました。また、訪問時に留守や体調の変化等があった場合は、親族や関係機関等へ連絡し、安否確認等の必要な支援を行いました。						
			浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
		延べ実施回数	12 回	12 回	12 回	12 回	12 回	60 回
		延べ利用者数	163 人	52 人	530 人	161 人	371 人	1,277 人

■評価

目標の達成度	・民生委員・児童委員、福祉委員やボランティアと連携して見守り活動を行いました。
評価	B

(2) ボランティアセンター事業 【評価は1>～4>共通】

1) ボランティア活動の支援

■目標

- ① ボランティア・市民活動のための体系的な学びの機会を提供します。
- ② 日常的な活動支援機能の充実を目指します。
- ③ 活動経験や抱えている課題などを話し合い、活動に対する想いを共有する場を作ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況										
①-1 ボランティア養成講座・発展講座を開催します。（年1回以上）	100%	①-1 仕事や子育てをしながらボランティア活動を始めるきっかけづくりを目的とし、ボランティア団体が抱える世代交代等の問題解決への一歩となるようボランティアスクールを開催しました。 <table><tr><th>開催日</th><th>時間</th><th>内容</th><th>会場</th><th>参加者</th></tr><tr><td>7月25日</td><td>10:00～12:00</td><td>傾聴入門講座</td><td>志摩市立図書館</td><td>18人</td></tr></table> 講師：傾聴ボランティア とよあけ 代表 小菅 もと子 氏	開催日	時間	内容	会場	参加者	7月25日	10:00～12:00	傾聴入門講座	志摩市立図書館	18人
開催日	時間	内容	会場	参加者								
7月25日	10:00～12:00	傾聴入門講座	志摩市立図書館	18人								
①-2 ボランティア等に関心をもつ人びとが活動を体験できる機会としてトライアル制度を実施します。（年1回程度）	100%	①-2 ボランティアの発掘や世代交代が課題となる中、新たな担い手の発掘を促進するため、市民が気軽にボランティア・市民活動を体験できる機会としてボラチャレ（ボランティアチャレンジ）を開催しました。 <table><tr><th>体験期間</th><th>協力団体</th><th>参加者</th></tr><tr><td>10月～12月</td><td>21団体</td><td>19人</td></tr></table>	体験期間	協力団体	参加者	10月～12月	21団体	19人				
体験期間	協力団体	参加者										
10月～12月	21団体	19人										
②-1 ボランティアと支援希望者の橋渡し（マッチング）支援を行います。（随時）	100%	②-1 随時対応していますが、上記①-2 をマッチング強化期間としました。										
②-2 HP、SNS等を活用し活動のPRを行います。（月1回以上の情報発信）	100%	②-2 ボランティアセンター及び各団体の活動を随時、情報発信しました。										
②-3 助成金の交付を行います。 ・ボランティア団体福祉活動助成事業 20団体、1団体上限10,000円 ・先駆的・重点的地域福祉活動助成事業 6団体、1団体上限100,000円	100%	②-3 次のとおり、ボランティア団体等へ助成金を交付しました。 ・ボランティア団体福祉活動助成事業 22団体（218,000円）へ助成金を交付しました。 ・先駆的・重点的地域福祉活動助成事業 7団体（648,000円）へ助成金を交付しました。										
③ ボランティア同士の研鑽や交流を目的に、	100%	③ ボランティアセンター登録団体、ふれあいサロン活動者等を対象にボランティア交流会を開催しました。										

交流会を開催します。（年1回以上）			開催日	時間	内容	会場	参加者
			10月9日	13:00～15:30	講師講話・グループワーク、活動発表、茶話会	大王公民館	53人
			講師：あそびの工房もくもく屋 事務局長・コミュニケーションデザイナー 田川 雅規 氏				

2) 地域ふれあいサロン支援事業

■目標

①地域で孤立することなく安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域住民が主体となって取り組む交流拠点づくりを支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 住民主体の交流拠点づくりを支援します。 (相談支援・情報提供・活動支援)	100%	①-1 地域支援コーディネーターと連携して、活動者からの相談に随時応じ、またレクリエーション用品を貸し出すなど支援を行いました。
①-2 助成金の交付を行います。 ・40団体、1団体上限30,000円	100%	①-2 地域ふれあいサロン38団体(1,086,000円)へ助成金を交付しました。

3) 福祉学習の支援

■目標

①児童・生徒が、体験学習の機会を通して社会福祉に理解と関心を高め、日常生活の中で相互扶助・社会連帯の思想を浸透させるとともに、家庭及び地域社会への啓発を図り、地域福祉の向上を図ります。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 学校と協力して福祉体験プログラムを作成し、福祉学習を支援します。	100%	①-1 小中学校からの相談に応じ、福祉学習を実施しました。（小学校 10 校 中学校 1 校 計 11 回）

			10月27日	神明小学校	アイマスク体験	
			11月19日	浜島小学校	高齢者疑似体験・アイマスク体験	
			11月20日	鵜方小学校	アイマスク体験	
			12月5日	鵜方小学校	視覚障がい者との交流	
			1月15日	大王小学校	視覚障がい者との交流	
			2月24日	東海小学校	車椅子体験	

①-2	パンフレット「福祉学習のすすめ」を学校へ案内し、福祉学習を推進します。	100%	①-2	福祉学習プログラムをまとめたパンフレットを市内の小中学校と高等学校へ配付し、啓発しました。

①-3	福祉体験教室を開催し、社会福祉の理解と関心を深めます。	100%	①-3	小中学生を対象に夏休みを利用して、ふくしサマースクールを開催しました。

開催日	時間	内容	会場	参加者
8月25日	13：00～15：30	車いすバスケット体験 講師：三重チャリオッツ	阿児アリーナ	17人
8月27日	13：00～15：30	ナゾとき×カイゴ探偵団 講師：三重県社協	イオン阿児店	21人

①-4	助成金の交付を行います。 ・6校、1校上限30,000円	100%	①-4	市内の小中学校と高等学校を対象に、助成金を交付しました。（小学校5校、中学校2校へ交付）

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
20,000円	0校	0校	0校	2校	0校	2校
30,000円	1校	1校	0校	2校	1校	5校
合計	30,000円	30,000円	0円	100,000円	30,000円	190,000円

4) 災害ボランティアセンターの運営準備

■目標

- ①有事に備え、災害ボランティアセンターが円滑に運営できるよう準備していきます。
- ②有事に備え、県内市町社協の連携強化を進めます。
- ③UMOU 災害支援プロジェクトを実施します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況															
①-1 災害ボランティアセンターの運営マニュアルに基づき、災害ボランティアセンターの運営訓練を行います。	100%	①-1 本会の災害ボランティアセンター運営マニュアルに基づき、下記①-2 講座と一体的に設置・運営訓練を実施しました。 <table><tr><th>開催日</th><th>時間</th><th>内容</th><th>会場</th><th>参加者</th></tr><tr><td>11 月 22 日</td><td>9:00～12:00</td><td>ICT 等を活用した設置・運営訓練</td><td>磯部健康福祉センターかがやき</td><td>44 人</td></tr></table> 【参加者内訳】 本会職員（運営スタッフ）13 人・8 人、一般 18 人、志摩市 3 人、県社協 2 人	開催日	時間	内容	会場	参加者	11 月 22 日	9:00～12:00	ICT 等を活用した設置・運営訓練	磯部健康福祉センターかがやき	44 人					
開催日	時間	内容	会場	参加者													
11 月 22 日	9:00～12:00	ICT 等を活用した設置・運営訓練	磯部健康福祉センターかがやき	44 人													
①-2 災害ボランティアセンターの運営協力者の養成に向け、災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催します。（年1回）	100%	①-2 「災害ボランティアコーディネーター養成講座」を開催しました。 <table><tr><th>開催日</th><th>時間</th><th>内容</th><th>会場</th><th>参加者</th></tr><tr><td>11 月 15 日</td><td>10:00～11:30</td><td>災害ボランティアセンターと災害ボランティアコーディネーター</td><td>サンライフあご3階 多目的ホール</td><td>21 人</td></tr><tr><td>12 月 6 日</td><td>10:00～11:30</td><td>ICT も活用した近年の災害ボランティアセンターの運営と災害支援活動について</td><td>サンライフあご3階 多目的ホール</td><td>21 人</td></tr></table>	開催日	時間	内容	会場	参加者	11 月 15 日	10:00～11:30	災害ボランティアセンターと災害ボランティアコーディネーター	サンライフあご3階 多目的ホール	21 人	12 月 6 日	10:00～11:30	ICT も活用した近年の災害ボランティアセンターの運営と災害支援活動について	サンライフあご3階 多目的ホール	21 人
開催日	時間	内容	会場	参加者													
11 月 15 日	10:00～11:30	災害ボランティアセンターと災害ボランティアコーディネーター	サンライフあご3階 多目的ホール	21 人													
12 月 6 日	10:00～11:30	ICT も活用した近年の災害ボランティアセンターの運営と災害支援活動について	サンライフあご3階 多目的ホール	21 人													
② 南勢志摩ブロック社協災害時広域連携協議会へ参画します。	100%	② 南勢志摩ブロック社協災害時広域連携協議会に出席しました。（9 月 2 日） また、研修会（内容：水害時のボランティアセンターの在り方について）に参加しました。（1 月 30 日）															
③ UMOU プロジェクト(※1)をおもいやりプロジェクト(※2)や市と協力して実施します。 寄付金は災害ボランティアセンターの運営に充当するため積み立てます。 (※1)UMOU プロジェクト 市内で集められた羽毛をリサイクル買取によって寄付金として還元するしくみ (※2) おもいやりプロジェクト UMOU プロジェクトを主催する市民団体	100%	③ 市内企業等と連携し、UMOU 災害支援プロジェクトを実施しました。（期間9 月～11 月） 【実績】 103 枚 26, 240 円															

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td><td>B</td></tr> </table>	評価	B	・ボランティアの発掘や世代交代の課題に対し、ボランティア関連事業を現役世代の参加や仲間づくりをテーマに開催しています。グループワークで交流し、ボランティアの思いを共有する場を作りました。多岐にわたる事業展開やボランティアセンターからの情報発信が功を奏し、ボランティアに関する問い合わせや相談は増加の兆しが感じられます。
評価	B		

	・ボラチャレでは、担当者から登録団体へ個別に働きかけを行った結果、昨年度と同数の団体から協力を得ることができました。また、参加者のうち数名が実際に団体加入に至るなどの成果がありました。 ・地域ふれあいサロンは、高齢化などを背景に、近年はやや減少傾向にあります。既存のサロンについては、地域支援コーディネーターと連携しながら、活動の把握や相談対応などを継続的に支援しています。 ・学校の助成金の利用は増加していませんが、学校からの福祉学習の相談は安定して寄せられています。 ・災害ボランティアセンターでは、近年主流となっている ICT を活用した訓練及び講座を初めて実施し、新たな知見を得ることができました。
--	--

(3) 専門相談会

■目標

①住民が抱える様々な悩みや困りごとの中で、法律的な問題に対し、解決に向けた必要な情報提供と助言の機会を提供します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況									
①-1 土地・相続・金銭貸借などの専門相談会を開催します。 (弁護士相談：年6回、司法書士相談：年6回)	100%	①-1 専門相談会の開催状況は、下記のとおりです。 <table><tr><th>相談区分</th><th>①-1 法律相談（弁護士）</th><th>①-1 登記・相続相談</th></tr><tr><td>開催回数</td><td>6回</td><td>6回</td></tr><tr><td>相談件数</td><td>46件</td><td>24件</td></tr></table>	相談区分	①-1 法律相談（弁護士）	①-1 登記・相続相談	開催回数	6回	6回	相談件数	46件	24件
相談区分	①-1 法律相談（弁護士）	①-1 登記・相続相談									
開催回数	6回	6回									
相談件数	46件	24件									
①-2 法テラス三重による民事法律扶助無料法律相談会を支援します。（年6回）	100%	①-2、①-3 法テラス三重と行政書士のボランティア団体が実施する相談会に協力しました。									
①-3 成年後見・相続に関する相談として、行政書士による相談会を支援します。（年6回）	100%										
		<table><tr><th>相談区分</th><th>①-2 法テラス三重相談</th><th>①-3 行政書士相談</th></tr><tr><td>開催回数</td><td>6回</td><td>6回</td></tr><tr><td>相談件数</td><td>26件</td><td>13件</td></tr></table>	相談区分	①-2 法テラス三重相談	①-3 行政書士相談	開催回数	6回	6回	相談件数	26件	13件
相談区分	①-2 法テラス三重相談	①-3 行政書士相談									
開催回数	6回	6回									
相談件数	26件	13件									

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td><td>B</td></tr> </table>	評価	B	・法律相談また登記・相続相談は、予定している予約数を下回る月もありましたが、計画どおり実施することができました。 ・法律相談への予約は、相談内容によって登記・相続相談での対応が可能なケースもあることから、相談内容に応じて柔軟に予約を受け付けました。また、専門相談会において対応できない相談は、他制度を紹介するなど、市民の困りごとへの対応を心がけました。
評価	B		

(4) 共同募金配分委員会の運営

■目標

①社会福祉を目的とする団体や事業に対し、公平中立な立場で配分金を配分できるよう運営していきます。

②共同募金配分金の効果的な配分方法を見い出します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
① 共同募金配分金事業を精査・検証し、効果的に事業を実施するため、配分委員会へ意見を求めます。(配分委員会：年3回)	100%	① 配分委員会において下記のとおり検討しました。 ・第1回(5月30日) 令和7年度充当事業の変更・計画について検討しました。 ・第2回(6月8日) 共同募金配分助成審査会(プレゼンテーション)とその審査結果から、申請7団体への配分について検討しました。 ・第3回(3月6日) 令和7年度(令和8年度充充分)の配分事業等について検討しました。
② 共同募金配分助成審査会を開催します。(年1回)	100%	② 共同募金配分助成審査会では、配分委員6人と主任児童委員1人、企業代表者2人が審査員となり、申請7団体のプレゼンテーションによる審査を実施しました。

■評価

目標の達成度	・赤い羽根共同募金の使い道や助成金情報などをたくさんの方に知っていただけるよう啓発方法(チラシ設置場所の拡大、SNS動画作成)を工夫しました。
評価 B	・地域支援コーディネーターと連携し、配分を受けた団体を支援しました。

3. 会費充当事業・・・・・・・・補正後支出予算額 / 支出決算額 [法人運営事業に包含]

(1) 会費充当事業

■目標

①地域が地域課題等を考える機会を持ち、地域福祉の機運と実践力を高められるよう支援し、小地域活動の活性化を図ります

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況			
①-1 自治会をはじめとする地縁団体が地域課題の解決を目的に行う福祉活動に対して、助成金を交付します。	100%	①-1 次のとおり助成金を交付しました。(39地区39団体、総額2,302,000円)			
		地区	委員会名	主な活動内容	助成額
			浜島地区自治会連合会	見守り活動	164,000円

・38 地区、上限は会費実績に応じて			浜島	桧山路地区福祉委員会	見守り活動、イベント開催、情報交換	43,000 円	
				塩屋福祉委員会	見守り活動、配食サービス、困りごと支援	43,000 円	
				迫子さつき会	福祉課題の把握・調査、地域福祉活動の検討、交流事業	43,000 円	
				大崎自治会	買い物支援	24,000 円	
			大王	波切自治会	敬老会の開催	126,000 円	
				畔名自治会	敬老会の開催	33,000 円	
				船越自治会	防災課題の把握・検討、防災物品の配付	79,000 円	
			志摩	和具自治会	地区津波避難計画の作成、防災講演会の開催	147,000 円	
				越賀地区福祉委員会	福祉課題の把握、交流事業	74,000 円	
				布施田地区福祉委員会	喫茶型サロンの開催、見守り活動	86,000 円	
				片田自治会	防災備品の購入	89,000 円	
				御座自治会	防災備品の購入	35,000 円	
				間崎自治会	交流事業	24,000 円	
			阿児	鵜方自治会	敬老会を通じた見守り、防災・減災の啓発、買い物を通じた交流事業	216,000 円	
				神明地区福祉委員会	見守り活動、ふれあい交流会	107,000 円	
				立神地区福祉委員会	見守り活動、独居高齢者の不用品整理支援、非常災害時独居老人家庭安否確認、通学見守り、地区行事への協力	67,000 円	
				志島自治会	見守り活動、地区福祉課題の把握、地域行事への協力	49,000 円	
				甲賀自治会	盆踊りの開催、敬老会の開催	87,000 円	
				国府自治会	敬老会を通じた見守り	26,000 円	
				安乗自治会	敬老会の開催	66,000 円	
			磯部	五知老人クラブ	介護予防事業	26,000 円	
				杵掛自治会	福祉課題の把握・共有・調査・検討、交流事業	24,000 円	
				山田区自治会	見守り活動、福祉課題の把握・検討	45,000 円	
				下之郷地区福祉委員会	見守り活動、福祉課題の把握	53,000 円	
				飯浜区	福祉課題の把握・調査・検討	26,000 円	
				恵利原区	見守り活動、福祉課題の把握、	54,000 円	
				恵ヶ丘区自治会福祉委員会	見守り活動、福祉課題の把握、交流事業	24,000 円	
				川辺福祉委員会	見守り活動、福祉課題の把握・共有	32,000 円	
				迫間第一区	見守り活動、福祉課題の把握・共有	38,000 円	
				迫間区	見守り活動、福祉課題の把握・調査・検討	55,000 円	

①-2 小地域福祉活動助成事業の活用を地域に働きかけ、ふくし座談会と連動した住民主体の福祉活動の活性化を図ります。	100%	①-2 全自治会へ当該事業の説明を行い、活用を働きかけました。	築地区	見守り活動、福祉課題の把握・調査・検討	35,000 円
			山原地区福祉委員会	見守り活動、情報交換、地域住民の交流機会の実施（桜まつり）	28,000 円
			夏草地区福祉委員会	見守り活動、移動支援事業、情報交換	26,000 円
			地縁団体 穴川区	福祉課題の把握・調査・検討	80,000 円
			坂崎区	見守り活動、福祉課題の把握・検討	33,000 円
			三ヶ所区自治会	見守り活動、情報共有	30,000 円
			わたかの福祉委員会	見守り活動、情報共有	28,000 円
			的矢区	見守り活動、福祉課題の把握・検討	37,000 円
			合計		2,302,000 円

■評価

目標の達成度	評価	B	・ふくし座談会の開催を助成条件としたことで、地域のコアメンバー（自治会や民生委員・児童委員等）が地域課題等について話し合う機会を促進することができました。 ・地域課題の解決を目指した住民主体の活動へ助成金を交付しました。（39 地区）助成金を活用した新たな取り組み（集いの場の開催等）が始まる地区もあり、住民主体の地域活動の活性化へつながりました。 ・次年度における事業再編の検討にあたり、令和7年度の受配団体と申請がなかった地区へアンケートを実施しました。

4. 共同募金運動・・・・・・・・補正後支出予算額 / 支出決算額 [志摩市共同募金委員会予算]

（1）共同募金運動

■目標

①三重県共同募金会志摩市共同募金委員会の事務局として共同募金運動を推進します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況		
①-1 運営委員会を開催します。（年3回）	100%	①-1 下表のとおり運営委員会を開催しました。		
		開催日	決議事項	出席者
		[第1回] 6月20日	1. 令和6年度事業実施報告について 2. 令和6年度社会福祉事業会計決算について	委員 9 人 監事 2 人

①-2 監事監査を実施します。（年1回）		<table><tr><td></td><td>3. 令和7年度（令和8年度充当）一般募金配分計画（案）について 4. 運営委員（補欠）の選任について</td><td></td></tr><tr><td>[第2回] 8月19日</td><td>1. 令和7年度共同募金運動における1世帯当たりの目安額について</td><td>委員 9人 監事 2人</td></tr><tr><td>[第3回] 3月11日</td><td>1. 令和7年度志摩市共同募金委員会収支補正予算について 2. 令和8年度志摩市共同募金委員会事業計画について 3. 令和8年度志摩市共同募金委員会収支予算について</td><td>委員 10人 監事 2人</td></tr></table>		3. 令和7年度（令和8年度充当）一般募金配分計画（案）について 4. 運営委員（補欠）の選任について		[第2回] 8月19日	1. 令和7年度共同募金運動における1世帯当たりの目安額について	委員 9人 監事 2人	[第3回] 3月11日	1. 令和7年度志摩市共同募金委員会収支補正予算について 2. 令和8年度志摩市共同募金委員会事業計画について 3. 令和8年度志摩市共同募金委員会収支予算について	委員 10人 監事 2人
		3. 令和7年度（令和8年度充当）一般募金配分計画（案）について 4. 運営委員（補欠）の選任について									
	[第2回] 8月19日	1. 令和7年度共同募金運動における1世帯当たりの目安額について	委員 9人 監事 2人								
	[第3回] 3月11日	1. 令和7年度志摩市共同募金委員会収支補正予算について 2. 令和8年度志摩市共同募金委員会事業計画について 3. 令和8年度志摩市共同募金委員会収支予算について	委員 10人 監事 2人								
	100%	①-2 下表のとおり監事監査を実施しました。 <table><tr><th>開催日</th><th>内容</th><th>出席者</th></tr><tr><td>4月21日</td><td>令和6年度事業に関する決算監査（下記書類を中心に監査） 1. 令和6年度事業実施報告書 2. 令和6年度決算報告書（貸借対照表、資金収支計算書など）</td><td>会長 監事2人</td></tr></table>	開催日	内容	出席者	4月21日	令和6年度事業に関する決算監査（下記書類を中心に監査） 1. 令和6年度事業実施報告書 2. 令和6年度決算報告書（貸借対照表、資金収支計算書など）	会長 監事2人			
開催日	内容	出席者									
4月21日	令和6年度事業に関する決算監査（下記書類を中心に監査） 1. 令和6年度事業実施報告書 2. 令和6年度決算報告書（貸借対照表、資金収支計算書など）	会長 監事2人									
100%	①-3 10月1日からの共同募金運動に備え、自治会や関係機関、市内の企業・法人に共同募金への協力を依頼しました。また、自治会には戸別募金、関係機関には窓口募金、企業には職域募金や法人募金として、それぞれ協力を求めました。										
100%	①-4 ①-5 共同募金運動の趣旨や募金の使途についての理解を深めるため、広報紙（5月、9月号）において記事を掲載し、またホームページで常設コーナーを設けて情報を発信しました。										
100%	①-6 法人募金は、本会と取り引きがある市内の企業へ協力を求めました。趣意等の文書を郵送し、その後に志摩市共同募金会運営委員と本会職員が一緒に訪問して、改めて企業に協力を依頼しました。 <table><tr><td>案内件数</td><td>357件</td></tr><tr><td>募金件数</td><td>149件</td></tr><tr><td>募金率</td><td>41.7%</td></tr></table>	案内件数	357件	募金件数	149件	募金率	41.7%				
案内件数	357件										
募金件数	149件										
募金率	41.7%										
①-3 自治会及び関係機関、法人に協力を求め、実績額の増加に努めます。	100%										
①-4 広報紙、ホームページやSNSを通じて共同募金運動を理解してもらえよう、活動や事業の積極的な啓発を行います。	100%										
①-5 募金の使途を明確にし、資料等へ使途を記載するなど市民への理解を深めます。	100%										
①-6 法人募金については、依頼する企業について見直し、幅広い企業への募集を実施します。 (前年比+10件以上)	100%										

■評価

目標の達成度 評価 B	・令和7年7月から事務局の担当部署を総務課から地域支援課へ変更しました。 ・人口減少や自治会加入率者の減少、物価高騰などの多くの要因が募金実績に影響していると想定できます。募金実績額は5,014,254円となり、令和6年度と比べ478,118円と大きく減少しました。一般募金を中心に減少は歯止めが利きませんが、法人募金や百貨店プロジェクトの工夫が考えられます。
-----------------------------------	---

5. 生活福祉資金貸付事業（三重県社会福祉協議会受託事業）・・・・・・補正後支出予算額 2,341,000円 / 支出決算額 2,247,006円

■目標

①低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対して資金の貸付けと必要な援助指導を行い、経済的に安定した生活が送れるよう支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																																																																	
①-1 生活福祉資金の借り入れについて、貸付相談を実施します。（随時）	100%	①-1 貸付相談件数については、下記のとおりです。 (1) 通常貸付について ・相談件数 <table><tr><th></th><th>浜島町</th><th>大王町</th><th>志摩町</th><th>阿児町</th><th>磯部町</th><th>市外</th><th>合計</th></tr><tr><td>相談・助言</td><td>2 件</td><td>11 件</td><td>4 件</td><td>12 件</td><td>4 件</td><td>0 件</td><td>33 件</td></tr></table> ・貸付件数 <table><tr><th></th><th>浜島町</th><th>大王町</th><th>志摩町</th><th>阿児町</th><th>磯部町</th><th>合計</th></tr><tr><td>年度当初既貸付件数</td><td>3 件</td><td>11 件</td><td>18 件</td><td>73 件</td><td>12 件</td><td>117 件</td></tr><tr><td>年度内新規貸付件数</td><td>0 件</td><td>1 件</td><td>1 件</td><td>0 件</td><td>0 件</td><td>2 件</td></tr><tr><td>年度内償還完了等件数</td><td>2 件</td><td>0 件</td><td>2 件</td><td>6 件</td><td>2 件</td><td>12 件</td></tr><tr><td>年度末貸付件数</td><td>1 件</td><td>12 件</td><td>17 件</td><td>67 件</td><td>10 件</td><td>107 件</td></tr></table> (2) 新型コロナウイルス感染症特例貸付について（令和4年9月30日受付終了） ◇償還猶予：借受人の申請により、到来した償還の開始月を引き延ばす手続き（償還自体はなくなる） <table><tr><th></th><th>緊急小口</th><th>総合支援〈初回〉</th><th>総合支援<延長></th><th>総合支援（再貸付）</th></tr><tr><td>申請件数</td><td>1 件</td><td>2 件</td><td>1 件</td><td>1 件</td></tr><tr><td>決定件数</td><td>0 件</td><td>1 件</td><td>1 件</td><td>1 件</td></tr></table> ◇償還免除：借受人の申請により、償還を免除する手続き（償還自体がなくなる） <table><tr><th></th><th>緊急小口</th><th>総合支援〈初回〉</th><th>総合支援〈延長〉</th><th>総合支援<再貸付></th></tr><tr><td>申請件数</td><td>6 件</td><td>4 件</td><td>0 件</td><td>3 件</td></tr><tr><td>決定件数</td><td>6 件</td><td>4 件</td><td>0 件</td><td>3 件</td></tr></table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外	合計	相談・助言	2 件	11 件	4 件	12 件	4 件	0 件	33 件		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	年度当初既貸付件数	3 件	11 件	18 件	73 件	12 件	117 件	年度内新規貸付件数	0 件	1 件	1 件	0 件	0 件	2 件	年度内償還完了等件数	2 件	0 件	2 件	6 件	2 件	12 件	年度末貸付件数	1 件	12 件	17 件	67 件	10 件	107 件		緊急小口	総合支援〈初回〉	総合支援<延長>	総合支援（再貸付）	申請件数	1 件	2 件	1 件	1 件	決定件数	0 件	1 件	1 件	1 件		緊急小口	総合支援〈初回〉	総合支援〈延長〉	総合支援<再貸付>	申請件数	6 件	4 件	0 件	3 件	決定件数	6 件	4 件	0 件	3 件
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外	合計																																																																												
相談・助言	2 件	11 件	4 件	12 件	4 件	0 件	33 件																																																																												
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																																																																													
年度当初既貸付件数	3 件	11 件	18 件	73 件	12 件	117 件																																																																													
年度内新規貸付件数	0 件	1 件	1 件	0 件	0 件	2 件																																																																													
年度内償還完了等件数	2 件	0 件	2 件	6 件	2 件	12 件																																																																													
年度末貸付件数	1 件	12 件	17 件	67 件	10 件	107 件																																																																													
	緊急小口	総合支援〈初回〉	総合支援<延長>	総合支援（再貸付）																																																																															
申請件数	1 件	2 件	1 件	1 件																																																																															
決定件数	0 件	1 件	1 件	1 件																																																																															
	緊急小口	総合支援〈初回〉	総合支援〈延長〉	総合支援<再貸付>																																																																															
申請件数	6 件	4 件	0 件	3 件																																																																															
決定件数	6 件	4 件	0 件	3 件																																																																															

○参考1 令和2年3月27日～令和4年9月30日までの相談件数、申請件数及び決定件数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
相談件数	737件	220件	17件	974件
緊急小口資金(申請)	257件	60件	10件	327件
緊急小口資金(決定)	241件	60件	9件	310件
総合支援資金(申請)	159件	70件	7件	236件
総合支援資金(決定)	151件	56件	7件	214件
総合支援資金延長(申請)	48件	12件		60件
総合支援資金延長(決定)	43件	7件		50件
総合支援資金再貸付(申請)	34件	46件		80件
総合支援資金再貸付(決定)	25件	32件		57件

○参考2 令和4年度～令和6年度の償還猶予申請件数及び決定件数

	緊急小口	総合支援〈初回〉	総合支援〈延長〉	総合支援〈再貸付〉
申請件数	9件	5件	0件	1件
決定件数	9件	5件	0件	1件

○参考3 令和4年度～令和6年度の償還免除申請件数及び決定件数

	緊急小口	総合支援〈初回〉	総合支援〈延長〉	総合支援〈再貸付〉
申請件数	134件	100件	19件	5件
決定件数	134件	100件	19件	5件

①-2 現在の貸付世帯の中で、定期的に滞納者の生活状況を確認し、借入れ資金への償還指導を行います。

100%

①-2 下記のとおり貸付世帯の生活状況を把握し、償還を指導しました。

- ・自立、生活意欲の助長促進に向けた更なる相談援助と償還指導を行いました。
 - ・償還対象者全員に対し、償還案内を送付(送付時期：6月・9月・12月・3月)し、6ヵ月以上返済が滞っている方には督促状を送付(送付時期：6月・12月)しました。
 - ・償還指導対象者の生活状況について民生委員・児童委員等と相談の上、訪問、電話、文書、来所面談により指導しました。
- 償還指導対象者：償還が滞っている世帯のうち、支援が必要と思われる世帯

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
償還指導対象者件数 (内、督促状送付件数)	3件 (3件)	6件 (6件)	14件 (13件)	32件 (27件)	8件 (8件)	63件 (57件)
償還指導実施件数	3件	6件	14件	32件	8件	63件
償還につながった件数	0件	1件	2件	4件	2件	9件

		・三重県社協とともに行うコロナ特例貸付の借受世帯を対象とした実態把握調査(訪問)を行いました。 (実施日) 令和7年10月3日(金) (対象世帯) 三重県社協より提供された「コロナ特例貸付の長期延滞者一覧」より任意に抽出した世帯 <table><tr><th></th><th>浜島町</th><th>大王町</th><th>志摩町</th><th>阿児町</th><th>磯部町</th><th>合計</th></tr><tr><td>訪問件数</td><td>4件</td><td>2件</td><td>0件</td><td>7件</td><td>3件</td><td>16件</td></tr><tr><td>猶予申請</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td></tr><tr><td>猶予決定</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td></tr><tr><td>免除申請</td><td>2件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>2件</td></tr><tr><td>免除決定</td><td>2件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>2件</td></tr><tr><td>月額変更申請</td><td>2件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>2件</td></tr><tr><td>月額変更決定</td><td>2件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>2件</td></tr></table>		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計	訪問件数	4件	2件	0件	7件	3件	16件	猶予申請	0件	0件	0件	0件	0件	0件	猶予決定	0件	0件	0件	0件	0件	0件	免除申請	2件	0件	0件	0件	0件	2件	免除決定	2件	0件	0件	0件	0件	2件	月額変更申請	2件	0件	0件	0件	0件	2件	月額変更決定	2件	0件	0件	0件	0件	2件
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																																																				
訪問件数	4件	2件	0件	7件	3件	16件																																																				
猶予申請	0件	0件	0件	0件	0件	0件																																																				
猶予決定	0件	0件	0件	0件	0件	0件																																																				
免除申請	2件	0件	0件	0件	0件	2件																																																				
免除決定	2件	0件	0件	0件	0件	2件																																																				
月額変更申請	2件	0件	0件	0件	0件	2件																																																				
月額変更決定	2件	0件	0件	0件	0件	2件																																																				
①-3 生活福祉資金貸付担当者研修会へ参加します。(年1回)	100%	①-3 下記のとおり生活福祉資金制度に関する研修会等に参加しました。 <table><tr><th>開催日</th><th>研修名</th><th>主催者(主体)</th><th>参加者</th></tr><tr><td>4月15日</td><td>令和7年度 第1回生活福祉資金貸付事業担当職員研修会</td><td>三重県社協</td><td>1人</td></tr><tr><td>6月5日</td><td>生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援事業「令和7年度 第2回生活福祉資金担当者研修会・事例検討会」</td><td>三重県社協</td><td>2人</td></tr><tr><td>8月26日</td><td>令和7年度 生活福祉資金貸付事業 実務に関する説明会</td><td>三重県社協</td><td>2人</td></tr><tr><td>9月16日</td><td>令和7年度 生活福祉資金貸付事業 実務に関する説明会</td><td>三重県社協</td><td>2人</td></tr><tr><td>12月1日</td><td>生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援事業 令和7年度 第3回生活福祉資金 担当者研修・事例検討会</td><td>三重県社協</td><td>1人</td></tr></table>	開催日	研修名	主催者(主体)	参加者	4月15日	令和7年度 第1回生活福祉資金貸付事業担当職員研修会	三重県社協	1人	6月5日	生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援事業「令和7年度 第2回生活福祉資金担当者研修会・事例検討会」	三重県社協	2人	8月26日	令和7年度 生活福祉資金貸付事業 実務に関する説明会	三重県社協	2人	9月16日	令和7年度 生活福祉資金貸付事業 実務に関する説明会	三重県社協	2人	12月1日	生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援事業 令和7年度 第3回生活福祉資金 担当者研修・事例検討会	三重県社協	1人																																
開催日	研修名	主催者(主体)	参加者																																																							
4月15日	令和7年度 第1回生活福祉資金貸付事業担当職員研修会	三重県社協	1人																																																							
6月5日	生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援事業「令和7年度 第2回生活福祉資金担当者研修会・事例検討会」	三重県社協	2人																																																							
8月26日	令和7年度 生活福祉資金貸付事業 実務に関する説明会	三重県社協	2人																																																							
9月16日	令和7年度 生活福祉資金貸付事業 実務に関する説明会	三重県社協	2人																																																							
12月1日	生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援事業 令和7年度 第3回生活福祉資金 担当者研修・事例検討会	三重県社協	1人																																																							
①-4 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた相談者の生活状況を把握し、生活困窮者自立相談、家計改善相談と連携した支援を行います。	100%	①-4 貸付相談者の中には、生活が苦しく困窮している方が多くいます。相談を聞く中で生活が困窮している状況が確認された場合には、生活困窮者自立支援事業担当者へ情報提供しました。																																																								
①-5 民生委員・児童委員と連携し、貸付の申請及び償還指導を行います。	100%	①-5 貸付申請時や償還指導の際に、担当地区民生委員・児童委員と同行訪問し、相談者世帯の生活状況の把握に取り組みました。																																																								

■評価

目標の達成度	評価	B	- 生活福祉資金貸付事業を三重県社協から受託し、低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対して資金の貸付と償還指導を行い、経済的に安定した生活が送れるよう支援しました。中でも、督促状が発行されている滞納者に対しては連絡を促し、現在の生活状況の把握から償還の促進につなげることができました。また、償還指導をしてもなお償還が困難な世帯に対しては、対象地区の民生委員・児童委員や三重県社協と連携して対応しました。 - 引き続き相談者への丁寧な対応を心がけ、三重県社協や生活困窮者自立支援事業等の関係機関と連携し、相談者の自立に向けた支援にも取り組んでいます。

6. 日常生活自立支援事業（三重県社会福祉協議会受託事業）・・・・・・補正後支出予算額 8,373,000円 / 支出決算額 8,306,903円

■目標

①判断能力に不安のある認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などの方に福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理、書類等預かりサービスを行い、できる限り地域で自立した生活が送れるよう支援します。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																																																																																																					
①-1 新規利用者の相談支援を行います。 (随時)	100%	①-1 相談支援の実施状況は、下記のとおりです。 <table><tr><th colspan="2"></th><th>浜島町</th><th>大王町</th><th>志摩町</th><th>阿児町</th><th>磯部町</th><th>合計</th></tr><tr><th colspan="2"></th><td>10 件</td><td>5 件</td><td>6 件</td><td>9 件</td><td>1 件</td><td>31 件</td></tr><tr><th colspan="2">相談・助言</th><td>2 件</td><td>4 件</td><td>1 件</td><td>3 件</td><td>2 件</td><td>12 件</td></tr><tr><th colspan="2">利用契約数</th><td>4 件</td><td>5 件</td><td>0 件</td><td>2 件</td><td>2 件</td><td>13 件</td></tr><tr><th colspan="2">解約数</th><td>8 人</td><td>10 人</td><td>5 人</td><td>29 人</td><td>9 人</td><td>61 人</td></tr><tr><th colspan="2">利用者数</th><td>1 人</td><td>4 人</td><td>3 人</td><td>8 人</td><td>2 人</td><td>18 人</td></tr><tr><th rowspan="4">内 訳</th><td>認知症</td><td>3 人</td><td>1 人</td><td>1 人</td><td>9 人</td><td>2 人</td><td>16 人</td></tr><tr><td>知的障がい</td><td>3 人</td><td>5 人</td><td>1 人</td><td>10 人</td><td>5 人</td><td>24 人</td></tr><tr><td>精神障がい</td><td>1 人</td><td>0 人</td><td>0 人</td><td>2 人</td><td>0 人</td><td>3 人</td></tr><tr><td>その他</td><td>2 人</td><td>1 人</td><td>1 人</td><td>2 人</td><td>0 人</td><td>6 人</td></tr><tr><th colspan="2">生活支援員数</th><td>168 回</td><td>200 回</td><td>66 回</td><td>459 回</td><td>157 回</td><td>1,050 回</td></tr><tr><th colspan="2">生活支援員訪問回数</th><td>7 回</td><td>11 回</td><td>8 回</td><td>15 回</td><td>5 回</td><td>46 回</td></tr><tr><th colspan="2">専門員訪問回数</th><td>509 回</td><td>577 回</td><td>250 回</td><td>1,398 回</td><td>598 回</td><td>3,332 回</td></tr><tr><th colspan="2">その他</th><td colspan="6">相談・助言 / 問い合わせ件数、初回相談件数</td></tr><tr><th colspan="2"></th><td colspan="6">その他 / 生活支援以外で対応した専門員の訪問回数及び電話相談件数</td></tr></table>			浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計			10 件	5 件	6 件	9 件	1 件	31 件	相談・助言		2 件	4 件	1 件	3 件	2 件	12 件	利用契約数		4 件	5 件	0 件	2 件	2 件	13 件	解約数		8 人	10 人	5 人	29 人	9 人	61 人	利用者数		1 人	4 人	3 人	8 人	2 人	18 人	内 訳	認知症	3 人	1 人	1 人	9 人	2 人	16 人	知的障がい	3 人	5 人	1 人	10 人	5 人	24 人	精神障がい	1 人	0 人	0 人	2 人	0 人	3 人	その他	2 人	1 人	1 人	2 人	0 人	6 人	生活支援員数		168 回	200 回	66 回	459 回	157 回	1,050 回	生活支援員訪問回数		7 回	11 回	8 回	15 回	5 回	46 回	専門員訪問回数		509 回	577 回	250 回	1,398 回	598 回	3,332 回	その他		相談・助言 / 問い合わせ件数、初回相談件数								その他 / 生活支援以外で対応した専門員の訪問回数及び電話相談件数					
		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計																																																																																																																
		10 件	5 件	6 件	9 件	1 件	31 件																																																																																																																
相談・助言		2 件	4 件	1 件	3 件	2 件	12 件																																																																																																																
利用契約数		4 件	5 件	0 件	2 件	2 件	13 件																																																																																																																
解約数		8 人	10 人	5 人	29 人	9 人	61 人																																																																																																																
利用者数		1 人	4 人	3 人	8 人	2 人	18 人																																																																																																																
内 訳	認知症	3 人	1 人	1 人	9 人	2 人	16 人																																																																																																																
	知的障がい	3 人	5 人	1 人	10 人	5 人	24 人																																																																																																																
	精神障がい	1 人	0 人	0 人	2 人	0 人	3 人																																																																																																																
	その他	2 人	1 人	1 人	2 人	0 人	6 人																																																																																																																
生活支援員数		168 回	200 回	66 回	459 回	157 回	1,050 回																																																																																																																
生活支援員訪問回数		7 回	11 回	8 回	15 回	5 回	46 回																																																																																																																
専門員訪問回数		509 回	577 回	250 回	1,398 回	598 回	3,332 回																																																																																																																
その他		相談・助言 / 問い合わせ件数、初回相談件数																																																																																																																					
		その他 / 生活支援以外で対応した専門員の訪問回数及び電話相談件数																																																																																																																					

①-2 三重県社会福祉協議会が主管する契約締結審査会へ参加します。 (オンライン審査会：月1回)	100%	①-2 契約締結審査会は、日常生活自立支援事業の契約締結等の判断を専門員が難しい場合の審議機関として三重県社協に設置されており、月1回、オンラインにより開催されています。ただし、原則として出席は審査案件がある場合のみで、報告案件のみの場合は出席不要となっています。 <table><tr><th></th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th></tr><tr><td>出席者数</td><td>0人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>0人</td><td>0人</td></tr><tr><td>審査案件数</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td></tr><tr><td>契約報告数</td><td>2件</td><td>1件</td><td>1件</td><td>0件</td><td>2件</td><td>1件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>1件</td><td>2件</td><td>2件</td></tr><tr><td>再評価報告数</td><td>10件</td><td>14件</td><td>8件</td><td>8件</td><td>5件</td><td>13件</td><td>18件</td><td>11件</td><td>5件</td><td>5件</td><td>11件</td><td>14件</td></tr><tr><td>解約報告数</td><td>1件</td><td>1件</td><td>1件</td><td>2件</td><td>0件</td><td>0件</td><td>1件</td><td>1件</td><td>2件</td><td>1件</td><td>1件</td><td>2件</td></tr></table> ・審査案件はありませんでした。 審査案件：契約や解約を行うにあたり、専門員で判断し難い場合に審議を求めて提出する案件 報告案件：契約・解約・再評価を行ったことを報告するために提出する案件		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	出席者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	審査案件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	契約報告数	2件	1件	1件	0件	2件	1件	0件	0件	0件	1件	2件	2件	再評価報告数	10件	14件	8件	8件	5件	13件	18件	11件	5件	5件	11件	14件	解約報告数	1件	1件	1件	2件	0件	0件	1件	1件	2件	1件	1件	2件
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																				
出席者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人																																																																				
審査案件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件																																																																				
契約報告数	2件	1件	1件	0件	2件	1件	0件	0件	0件	1件	2件	2件																																																																				
再評価報告数	10件	14件	8件	8件	5件	13件	18件	11件	5件	5件	11件	14件																																																																				
解約報告数	1件	1件	1件	2件	0件	0件	1件	1件	2件	1件	1件	2件																																																																				
①-3 専門員の資質向上に努めます。 ・専門員研修会への参加 ・成年後見制度研修会への参加 ・その他専門員として必要な研修への参加	100%	①-3 研修会への参加状況は下記のとおりです。 (1) 専門員研修会 開催はありませんでした。 (2) 成年後見制度研修会 <table><tr><th>開催日</th><th>研修名</th><th>主催者（主体）</th><th>参加者</th></tr><tr><td>3月17日</td><td>成年後見制度スキルアップ勉強会</td><td>本会</td><td>8人</td></tr></table>	開催日	研修名	主催者（主体）	参加者	3月17日	成年後見制度スキルアップ勉強会	本会	8人																																																																						
開催日	研修名	主催者（主体）	参加者																																																																													
3月17日	成年後見制度スキルアップ勉強会	本会	8人																																																																													
①-4 生活支援員の資質向上に努めます。 ・生活支援員研修会への参加（年1回） ・本会が主催する研修会への参加	100%	①-4 生活支援員等研修会 <table><tr><th>開催日</th><th>研修名</th><th>主催者（主体）</th><th>参加者</th></tr><tr><td>1月26日</td><td>生活支援員等研修会</td><td>三重県社協</td><td>7人</td></tr><tr><td>3月23日</td><td>生活支援員内部研修会</td><td>本会</td><td>8人</td></tr></table>	開催日	研修名	主催者（主体）	参加者	1月26日	生活支援員等研修会	三重県社協	7人	3月23日	生活支援員内部研修会	本会	8人																																																																		
開催日	研修名	主催者（主体）	参加者																																																																													
1月26日	生活支援員等研修会	三重県社協	7人																																																																													
3月23日	生活支援員内部研修会	本会	8人																																																																													
①-5 利用者の再評価を定期に実施します。	100%	①-5 利用者の自立に向けた再評価を下記のとおり実施しました。 ・3ヵ月毎に実施する新規ケースの再評価（7件） ・6ヵ月毎の継続ケース再評価（115件）																																																																														
①-6 成年後見制度へのつなぎ支援や本会の法人後見との連携を図ります。	100%	①-6 本会実施の法人後見受任者と関わりがあるケースについては、情報や支援方法を共有するなど随時連携を図りました。																																																																														

■評価

目標の達成度		B	・令和7年度の新規契約件数は12件、解約件数は13件となり、年度当初と比べると利用者数は1件の減少となりました。新規の相談については、複合的な課題を抱えている方の割合が高く、関係機関と連携して情報共有などを図りながら契約手続きを進めました。なお、解約件数13件は、死亡7件と施設入所3件、本人希望3件によるものでした。 ・引き続き、関係機関との連携した支援に心がけ、利用者本位の支援ができるように取り組んでいきます。
評価			

7. 生活困窮者自立支援事業（志摩市受託事業）・・・・・・補正後支出予算額 29,886,000円 / 支出決算額 29,734,177円

■目標

- ①自立相談支援事業・就労準備支援事業・家計改善支援事業の三事業が一体となって複合的な生活課題がある生活困窮者に対して相談支援を行います。
- ②関係機関や地域の協力者と連携しながら生活困窮者の早期発見に努め、支援につながりにくい方が相談につながるよう取り組みます。
- ③質の高い個別支援を行なうための技術や知識を習得し、包括的な相談支援に取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況														
①-1 生活に困窮している人が自立に向かうための支援プランを作成します。 ・目標件数：新規相談受付 90 件以上 支援プラン作成 45 件以上	100%	①-1 生活に困窮している人が自立に向かう支援を下記のとおり取り組みました。 (1)相談実績 <table><tr><th></th><th>新規相談件数</th><th>プラン作成件数</th></tr><tr><td>相談支援状況</td><td>85 件</td><td>85 件</td></tr></table> (2)みえ福祉の「わ」創造事業利用実績 <table><tr><th></th><th>緊急食糧提供事業</th><th>緊急時物品等支援事業</th><th>就労支援事業（交通費助成）</th></tr><tr><td>利用実績</td><td>57 件</td><td>7 件</td><td>37 件</td></tr></table>		新規相談件数	プラン作成件数	相談支援状況	85 件	85 件		緊急食糧提供事業	緊急時物品等支援事業	就労支援事業（交通費助成）	利用実績	57 件	7 件	37 件
	新規相談件数	プラン作成件数														
相談支援状況	85 件	85 件														
	緊急食糧提供事業	緊急時物品等支援事業	就労支援事業（交通費助成）													
利用実績	57 件	7 件	37 件													
①-2 支援調整会議を開催し、支援方針を決定します。	100%	①-2 自立相談支援機関（ふんばり）が主催する支援調整会議を毎月開催し、自立支援プランや家計再生プランの承認手続きと新規相談ケースの報告を通じて、情報共有や意見集約を図りました。 ・出席した相談機関 本会 ：自立相談支援機関ふんばり（就労準備支援事業担当者、家計改善支援事業担当者） 市 ：生活支援課、健康推進課、介護・総合相談支援課、地域包括支援センター大王・志摩サテライト 他機関：志摩市障がい者相談支援センターこだま、相談支援センターオールプラス														

①-3 就労が困難な人への支援として就労準備支援プログラムを作成し、就労体験や生活習慣の改善を支援します。	100%	①-3 就労が困難な人へ下記のとおり支援しました。 <table><tr><th></th><th>年度当初人数</th><th>新規支援人数</th><th>支援終結人数</th><th>支援対象人数</th></tr><tr><td>相談者数</td><td>5 人</td><td>1 人</td><td>2 人</td><td>4 人</td></tr><tr><td>プログラム作成数</td><td>5 人</td><td>1 人</td><td>2 人</td><td>6 人</td></tr></table> ・プログラム作成の支援メニュー ア. 障がい者就労支援事業所での就労体験 イ. 日課の見直し、体力づくり ウ. 就職試験に向けた取り組み エ. 一般企業での就労体験 オ. 自力通勤への取り組み カ. 交流プログラム（創作活動・映画会・カフェ会・体操会等） キ. 事務作業の補助 ク. 企業見学 ・相談者の特性に合わせ、就労意欲が喚起されるための活動機会を提供することにより、相談者一人ひとりに寄り添った支援を実施しました。 ・ひきこもりヒアリング調査を利用者 3 人に実施しました。		年度当初人数	新規支援人数	支援終結人数	支援対象人数	相談者数	5 人	1 人	2 人	4 人	プログラム作成数	5 人	1 人	2 人	6 人
	年度当初人数	新規支援人数	支援終結人数	支援対象人数													
相談者数	5 人	1 人	2 人	4 人													
プログラム作成数	5 人	1 人	2 人	6 人													
①-4 収入と支出のバランスを図るため、家計再生プランを作成します。	100%	①-4 収支のバランスをとることが困難な人へ下記のとおり支援しました。 <table><tr><th></th><th>年度当初人数</th><th>新規支援人数</th><th>支援終結人数</th><th>支援対象人数</th></tr><tr><td>相談者数</td><td>9 人</td><td>6 件</td><td>9 件</td><td>6 件</td></tr><tr><td>再生プラン作成数</td><td>9 人</td><td>6 件</td><td>9 件</td><td>6 件</td></tr></table> ・債務相談として司法書士や弁護士への相談につなげるケースはありませんでした。 ・家計表、キャッシュフロー表を本人と一緒に作成し、家計の「見える化」を図ることにより、相談者自身が家計上の課題に気づき、見直しができるよう支援しました。		年度当初人数	新規支援人数	支援終結人数	支援対象人数	相談者数	9 人	6 件	9 件	6 件	再生プラン作成数	9 人	6 件	9 件	6 件
	年度当初人数	新規支援人数	支援終結人数	支援対象人数													
相談者数	9 人	6 件	9 件	6 件													
再生プラン作成数	9 人	6 件	9 件	6 件													
②-1 志摩市生活支援課内に設置された出先機関と情報共有を図りながら、志摩市との連携強化に取り組みます。	100%	②-1 市生活支援課との連携強化に取り組みました。 ・令和 8 年度の事業運営について、市生活支援課担当者と協議しました。 ・市生活支援課内に設置された出先機関の担当相談支援員と情報等を共有し、連携して支援しました。															
②-2 子育てはっぴい隊活動を持続可能なしくみにできるように取り組みます。 (物資供給・保管・提供の仕組みづくり)	100%	②-2 生活に困窮している子育て世帯を対象とした見守り活動（子育てはっぴい隊）を実施しました。この活動は、市内企業等からの寄付により実施しています。 ・利用者 : 10 世帯 ・協力事業所等 : 15 件（個人 4 件、企業 10 件、ボランティア団体 1 件）															

②-3 関係機関が主催する会議等へ参加します。 (三重県や志摩市が主催する会議、ハローワーク主催の会議、民児協定例会等)	100%	②-3 以下の会議へ出席し、連携強化に努めました。 <table><tr><th>開催日</th><th>会議名</th><th>主催者（主体）</th><th>出席者</th></tr><tr><td>毎月第4水曜</td><td>相談支援調整会議&地域支援コーディネーター連携会議</td><td>志摩市</td><td>毎回1人</td></tr><tr><td>6月3日</td><td>伊勢志摩地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会</td><td>ハローワーク伊勢</td><td>1人</td></tr><tr><td>年2回 (7月・1月)</td><td>こころの健康づくり及び自殺予防対策ネットワーク会議</td><td>志摩市</td><td>1人</td></tr><tr><td>1月19日</td><td>主任相談支援員意見交換会</td><td>三重県社協</td><td>1人</td></tr><tr><td>3月4日</td><td>三重県生活困窮高齢者等支援事業にかかる説明会</td><td>三重県</td><td>1人</td></tr><tr><td>3月23日</td><td>物価高騰対策緊急支援事業にかかる説明会</td><td>三重県社協</td><td>1人</td></tr></table>	開催日	会議名	主催者（主体）	出席者	毎月第4水曜	相談支援調整会議&地域支援コーディネーター連携会議	志摩市	毎回1人	6月3日	伊勢志摩地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	ハローワーク伊勢	1人	年2回 (7月・1月)	こころの健康づくり及び自殺予防対策ネットワーク会議	志摩市	1人	1月19日	主任相談支援員意見交換会	三重県社協	1人	3月4日	三重県生活困窮高齢者等支援事業にかかる説明会	三重県	1人	3月23日	物価高騰対策緊急支援事業にかかる説明会	三重県社協	1人
開催日	会議名	主催者（主体）	出席者																											
毎月第4水曜	相談支援調整会議&地域支援コーディネーター連携会議	志摩市	毎回1人																											
6月3日	伊勢志摩地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会	ハローワーク伊勢	1人																											
年2回 (7月・1月)	こころの健康づくり及び自殺予防対策ネットワーク会議	志摩市	1人																											
1月19日	主任相談支援員意見交換会	三重県社協	1人																											
3月4日	三重県生活困窮高齢者等支援事業にかかる説明会	三重県	1人																											
3月23日	物価高騰対策緊急支援事業にかかる説明会	三重県社協	1人																											
②-4 研修会等を実施し、事業の啓発を行います。	100%	②-4 下記のとおり研修会等を開催し、事業を啓発しました。 (1) 研修会の開催 ・「親子で学ぶ おかねの話」 講師：株式会社Ai 代表取締役 王 蓉暉 氏 1月31日 志摩市立図書館 多目的ホール ※参加者28人 (2) 事業啓発活動 ・市主催の地域共生プロジェクト研修における事業説明 :7月16日 志摩市本庁 3人参加 ※地域支援課生活支援係の事業内容の一部として説明しました。 ・第2回アート夢フェスタ‘26 :3月8日 磯部生涯学習センター 2人参加 ※事業の周知・啓発とフードドライブ（注1）を実施しました。 (注1) 家庭等で余っている食品を学校や職場などに持ち寄り、必要とする団体や施設に寄付をする活動。																												
②-5 個別事例の課題から、地域資源の把握や社会資源の開発を検討します。 (認定訓練事業、連携企業の開拓、連携企業開拓会議の実施、居場所づくり等)	100%	②-5 地域資源の把握や社会資源の開発を検討するため、企業を訪問するなどして情報を収集しました。 (1) 企業訪問 ・志摩市内外の企業への訪問等を実施し、事業啓発及び企業側の実情把握に取り組みました。また、企業担当者との「顔の見える関係」づくりに努め、今後の支援における協力を依頼しました。 ・関係機関からの紹介等により企業への訪問や来所による面接を行いました。(7ヵ所) (実施先) 介護施設1件、建設会社3件、障がい者支援事業所1件、派遣会社1件、旅館1件 (2) フードドライブ ・4団体が実施するフードドライブ事業に協力し、物資提供を受けました。 (3) その他																												

		・市内企業等から寄付による物資提供を受けました。（企業3件、障がい者支援事業所1件）																																
③-1 集合研修やオンライン研修へ参加し、相談員の資質向上に努めます。	100%	③-1、③-2、③-3 以下の研修会へ参加し、職員の資質向上に努めました。																																
③-2 国が主催する研修、都道府県が主催する研修、ブロック別研修へ参加します。	100%	<table><tr><th>開催日</th><th>研修名</th><th>主催者（主体）</th><th>参加者</th></tr><tr><td>4月17日</td><td>令和7年度 みえ福祉の「わ」創造事業 説明会</td><td>三重県社協</td><td>1人</td></tr><tr><td>6月27日</td><td>生活困窮者自立支援制度 支援ツール活用セミナー</td><td>厚生労働省</td><td>2人</td></tr><tr><td>7月23日</td><td>第4回 消費生活相談員等勉強会「暗号資産とはなにか？詐欺事例と知っておくべきポイント」</td><td>三重県消費生活センター</td><td>1人</td></tr><tr><td>8月7日</td><td>心の健康づくり講座「思春期・若年層のこころのサインに気づくために」</td><td>三重こころの医療センター</td><td>1人</td></tr><tr><td>8月27日</td><td>地域共生プロジェクトチーム勉強会（生活保護・介護保険）</td><td>志摩市</td><td>1人</td></tr><tr><td>12月8日</td><td>いせ若者就業サポートステーション講演会</td><td>いせ若者就業サポートステーション</td><td>1人</td></tr><tr><td>2月25日</td><td>消費生活相談員等勉強会</td><td>三重県消費生活センター</td><td>1人</td></tr></table>	開催日	研修名	主催者（主体）	参加者	4月17日	令和7年度 みえ福祉の「わ」創造事業 説明会	三重県社協	1人	6月27日	生活困窮者自立支援制度 支援ツール活用セミナー	厚生労働省	2人	7月23日	第4回 消費生活相談員等勉強会「暗号資産とはなにか？詐欺事例と知っておくべきポイント」	三重県消費生活センター	1人	8月7日	心の健康づくり講座「思春期・若年層のこころのサインに気づくために」	三重こころの医療センター	1人	8月27日	地域共生プロジェクトチーム勉強会（生活保護・介護保険）	志摩市	1人	12月8日	いせ若者就業サポートステーション講演会	いせ若者就業サポートステーション	1人	2月25日	消費生活相談員等勉強会	三重県消費生活センター	1人
開催日	研修名	主催者（主体）	参加者																															
4月17日	令和7年度 みえ福祉の「わ」創造事業 説明会	三重県社協	1人																															
6月27日	生活困窮者自立支援制度 支援ツール活用セミナー	厚生労働省	2人																															
7月23日	第4回 消費生活相談員等勉強会「暗号資産とはなにか？詐欺事例と知っておくべきポイント」	三重県消費生活センター	1人																															
8月7日	心の健康づくり講座「思春期・若年層のこころのサインに気づくために」	三重こころの医療センター	1人																															
8月27日	地域共生プロジェクトチーム勉強会（生活保護・介護保険）	志摩市	1人																															
12月8日	いせ若者就業サポートステーション講演会	いせ若者就業サポートステーション	1人																															
2月25日	消費生活相談員等勉強会	三重県消費生活センター	1人																															
③-3 関係機関が主催する研修会へ参加します。 （関係機関：就労支援、ひきこもり支援、子どもの貧困、こころの健康づくり、障がい者支援、高齢者支援）	100%																																	

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td><td>B</td></tr> </table>	評価	B	・新規相談件数は85件(令和6年度は83件)でした。また、自立支援プラン作成件数は85件(令和6年度は80件)で、年々新規相談および自立支援プラン作成は増加傾向です。生活困窮者は経済的に生活が苦しいというだけでなく、高齢・障がい・不登校及び障がいの疑い・ひきこもり・ペットの多頭飼育・病気・失業・物価高騰などによる困窮から多重債務・税金の滞納・治療費の未払いなど、相談者を取り巻く環境は様々です。これらの複合的な課題のある相談について、関係機関との連携・協議を重ねながら支援方針を検討しています。 ・重層の支援体制整備事業の各事業と連携し、生活課題が多岐にわたるケースについては、相談支援調整会議を積極的に活用し、多機関連携による支援体制の構築に努めました。 ・一人ひとりの相談者の思いを受け止め、助言・提案を行いながら相談者に伴走する姿勢で相談支援を実施しています。
評価	B		

Ⅲ. 在宅福祉サービス事業

○ 居宅介護支援課（事業方針）

地域の高齢化が進み、支援する側の人材不足が心配されています。事業所運営に必要な人材確保、人材育成、生産性の向上に努めます。また、専門的知識及び技術を磨き、地域に信頼される事業所を目指します。



1. 居宅介護支援事業・・・・・・・・補正後支出予算額 117,444,000円 / 支出決算額 116,310,732円

(1) 居宅介護支援事業

■目標

- ①介護支援専門員としての専門性を発揮し、要支援・要介護認定を受けた方への適切な予防プラン及びケアプランを作成し、自立支援・重度化予防に努めます。
- ②高齢者がより充実した在宅生活を送ることができるよう、行政、サービス事業者、医療機関など関係機関との連携を密にし、地域の実情に応じた取り組みにより、信頼性の高い事業所を目指します。
- ③研修会、事例検討会、勉強会等に積極的に参加し、職員の資質向上に努めます。
- ④ICTを活用して事務業務の効率化を図り、働きやすい環境を整えます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																																											
① 各事業所のケアプラン作成数の目標値は、 ゆうゆう月 344 件、かがやき月 411 件を目 安とします。（介護、予防、障がいの各プ ラン合算）	100%	① 営業実績は、下記のとおりです。ケアプラン作成数は、ゆうゆう事業所（大王）は月平均 344 件、かがやき事業所（磯部）は月平均 449 件となっています。 ・経営状況 <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">ゆうゆう事業所（大王）</th><th colspan="2">かがやき事業所（磯部）</th><th colspan="2">合計</th></tr><tr><th>介護プラン</th><th>予防プラン</th><th>介護プラン</th><th>予防プラン</th><th>介護プラン</th><th>予防プラン</th></tr><tr><td>ケアプラン作成件数</td><td>3,317 件</td><td>382 件</td><td>4,353 件</td><td>653 件</td><td>7,670 件</td><td>1,035 件</td></tr><tr><td>〔前年比〕</td><td>-49 件</td><td>-78 件</td><td>74 件</td><td>-129 件</td><td>25 件</td><td>-207 件</td></tr><tr><td>当期利益</td><td colspan="2">-1,995,135 円</td><td colspan="2">11,029,834 円</td><td colspan="2">9,034,699 円</td></tr><tr><td>当期利益増減値 〔前年比〕</td><td colspan="2">-845,273 円</td><td colspan="2">6,887,642 円</td><td colspan="2">6,042,369 円</td></tr></table> ・年度別推移 <table><tr><th></th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>サービス活動収益</td><td>140,083,718 円</td><td>136,727,728 円</td><td>130,245,490 円</td><td>135,953,126 円</td><td>132,986,380 円</td></tr><tr><td>延べ作成件数</td><td>9,288 件</td><td>9,029 件</td><td>8,608 件</td><td>8,887 件</td><td>8,705 件</td></tr></table>		ゆうゆう事業所（大王）		かがやき事業所（磯部）		合計		介護プラン	予防プラン	介護プラン	予防プラン	介護プラン	予防プラン	ケアプラン作成件数	3,317 件	382 件	4,353 件	653 件	7,670 件	1,035 件	〔前年比〕	-49 件	-78 件	74 件	-129 件	25 件	-207 件	当期利益	-1,995,135 円		11,029,834 円		9,034,699 円		当期利益増減値 〔前年比〕	-845,273 円		6,887,642 円		6,042,369 円			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	サービス活動収益	140,083,718 円	136,727,728 円	130,245,490 円	135,953,126 円	132,986,380 円	延べ作成件数	9,288 件	9,029 件	8,608 件	8,887 件	8,705 件
	ゆうゆう事業所（大王）			かがやき事業所（磯部）		合計																																																							
	介護プラン	予防プラン	介護プラン	予防プラン	介護プラン	予防プラン																																																							
ケアプラン作成件数	3,317 件	382 件	4,353 件	653 件	7,670 件	1,035 件																																																							
〔前年比〕	-49 件	-78 件	74 件	-129 件	25 件	-207 件																																																							
当期利益	-1,995,135 円		11,029,834 円		9,034,699 円																																																								
当期利益増減値 〔前年比〕	-845,273 円		6,887,642 円		6,042,369 円																																																								
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																								
サービス活動収益	140,083,718 円	136,727,728 円	130,245,490 円	135,953,126 円	132,986,380 円																																																								
延べ作成件数	9,288 件	9,029 件	8,608 件	8,887 件	8,705 件																																																								

			<table><tr><td>当期利益</td><td>8,865,299 円</td><td>4,421,393 円</td><td>-1,000,812 円</td><td>2,992,330 円</td><td>9,034,699 円</td></tr><tr><td>当期利益増減値 [前年比]</td><td>1,327,324 円</td><td>-4,443,906 円</td><td>-5,422,205 円</td><td>3,993,142 円</td><td>6,042,369 円</td></tr></table>	当期利益	8,865,299 円	4,421,393 円	-1,000,812 円	2,992,330 円	9,034,699 円	当期利益増減値 [前年比]	1,327,324 円	-4,443,906 円	-5,422,205 円	3,993,142 円	6,042,369 円				
当期利益	8,865,299 円	4,421,393 円	-1,000,812 円	2,992,330 円	9,034,699 円														
当期利益増減値 [前年比]	1,327,324 円	-4,443,906 円	-5,422,205 円	3,993,142 円	6,042,369 円														
			・1 件当たりのケアプラン作成料（月額） 要支援 1.2（予防プラン） …4,200 円 要介護 1.2（介護プラン） …15,070 円、要介護 3.4.5（介護プラン） …18,320 円																
②-1 志摩市介護・総合相談支援課等から紹介される困難事例に対応します。	100%	②-1 地域包括支援センターから紹介される困難事例を受け入れる態勢を整え、受け入れています。（受け入れ件数 15 件）																	
②-2 24 時間連絡体制の確保及び相談に応じる体制を整えます。	100%	②-2 従来からの 24 時間連絡体制を維持し、時間外相談に随時応じています。																	
③-1 専門性を担保するため、1 人 6 回以上外部研修に参加します。	100%	③-1 外部研修の参加状況は、下記のとおりです。	<table><tr><td></td><td>行動計画による目標</td><td>参加回数</td><td>1 人あたり平均回数</td></tr><tr><td>ゆうゆう事業所（大王）</td><td>6 回×10 人（職員数）＝60 回</td><td>68 回</td><td>6.8 回</td></tr><tr><td>かがやき事業所（磯部）</td><td>6 回×12 人（職員数）＝72 回</td><td>96 回</td><td>8 回</td></tr><tr><td>計</td><td>132 回</td><td>164 回</td><td>7.4 回</td></tr></table>		行動計画による目標	参加回数	1 人あたり平均回数	ゆうゆう事業所（大王）	6 回×10 人（職員数）＝60 回	68 回	6.8 回	かがやき事業所（磯部）	6 回×12 人（職員数）＝72 回	96 回	8 回	計	132 回	164 回	7.4 回
	行動計画による目標	参加回数	1 人あたり平均回数																
ゆうゆう事業所（大王）	6 回×10 人（職員数）＝60 回	68 回	6.8 回																
かがやき事業所（磯部）	6 回×12 人（職員数）＝72 回	96 回	8 回																
計	132 回	164 回	7.4 回																
③-2 定例会（週 1 回）及び事業所内研修会（月 1 回）を開催し、感染症や災害への対応力強化、虐待防止に取り組みます。	100%	③-2 週 1 回の定例会及び月 1 回の事業所内研修会を開催しました。																	
③-3 他の法人が運営する居宅介護支援事業所と共同で事例検討会、研修会等を実施します。（年 1 回）	100%	③-3 他事業所（豊和・ほほえみ・虹の夢志摩・志摩の結・シルバーケア豊寿園）と合同で事例検討会（グループワーク）を 10 月 15 日、16 日に開催し、全職員が参加しました。																	
③-4 志摩市主催の自立支援型地域ケア会議へ参加します。	100%	③-4 市からの要請に応じて、自立支援型地域ケア会議へ 5 回参加しました。（5 月 22 日、6 月 26 日、9 月 25 日、10 月 23 日、1 月 22 日）																	
③-5 居宅介護支援事業所の情報交換会を開催します。（年 6 回）	100%	③-5 居宅情報交換会を 6 回開催しました。（4 月 15 日、6 月 12 日、8 月 19 日、10 月 22 日、2 月 16 日、3 月 11 日）																	

④ 訪問時に利用者情報等を入力できるタブレット端末を活用し、業務の効率化を図ります。	100%	④ タブレット端末は、モニタリング、支援経過、担当者会議録の音声入力機能による記録、利用者宅での資料の閲覧等に活用し、業務の効率化を図りました。（85 時間 44 分使用） 【その他】 ○感染対策委員会 ・本会の介護・障がい福祉サービス全事業所の管理者及び看護師参加のもと、感染症の予防及びまん延の防止のための対策をする感染対策委員会を開催しました。 ▽感染対策委員会の開催（2 回開催：6 月 26 日、11 月 13 日）
--	------	---

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	・ケアプラン作成件数の目標を達成し、地域包括支援センターからの困難事例の受け入れや 24 時間連絡体制の維持など、地域のニーズに応じた支援体制を継続して整備できました。前年度と比較した介護プランの件数減少に関しては、特別養護老人ホームへの入所が従来の数年待ちから、数か月で可能になっている傾向も要因と評価しています。予防プランに関しては、令和 7 年度、大王・志摩地区に志摩市直営の地域包括支援センターが開設されたことにより、ゆうゆうに対する委託プラン数が減少しました。 ・外部研修の参加回数は計画を上回り、職員の専門性向上に向けた取り組みも着実に進んでいます。タブレット端末の活用による業務効率化も一定の成果が見られました。 ・全体のケアプラン件数は、維持できているものの事業所間で利益差が大きく、改善の余地が残っています。地域の高齢化が加速していることや複雑化する支援ニーズに対し、より効率的な業務運営や職員負担の平準化が求められます。これらを踏まえ、引き続き ICT 活用の推進、事業所間の連携強化、業務プロセスの見直し等により、安定した事業運営と質の高いケアマネジメントの両立を図る必要があります。
評価	B		

（2）障がい者相談支援事業

■目標

- ①障がい者等の有する能力及び適正に応じ、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、適切なサービス等利用計画を作成します。
- ②相談支援専門員として資質向上に努め、行政、サービス事業者等との連携を密にし、信頼性の高い事業所を目指します。
- ③介護保険制度の介護支援専門員と密接に連携していきます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
① 各事業所のケアプラン作成数の目標値は、ゆうゆう月344件、かがやき月411件を目安	100%	① 営業実績は、下記のとおりです。ケアプラン作成数は、ゆうゆう事業所（大王）は月平均 36 件、かがやき事業所（磯部）は月平均 33 件となっています。（障がいプラン担当者数は、職員 1 人あたり月平均 5 件となっています。）

とします。（介護、予防、障がい等の各プラン合算）		・計画相談件数 <table><tr><th></th><th>ゆうゆう事業所（大王）</th><th>かがやき事業所（磯部）</th><th>合計</th></tr><tr><td>計画相談件数</td><td>431 件</td><td>387 件</td><td>818 件</td></tr><tr><td>[前年比]</td><td>-88 件</td><td>-5 件</td><td>-93 件</td></tr></table> ・年度別推移 <table><tr><th></th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>障がい福祉サービス等事業収益</td><td>4,330,950 円</td><td>3,982,880 円</td><td>3,823,320 円</td><td>3,723,760 円</td><td>3,222,250 円</td></tr><tr><td>延べ作成件数</td><td>293 件</td><td>262 件</td><td>252 件</td><td>242 件</td><td>199 件</td></tr></table> ・ケアプラン更新事務1件…18,080 円（1～3年に1回） モニタリング1件…15,040 円（3か月～6か月に1回） ケアプラン料は、更新時とモニタリング時のみとなります。		ゆうゆう事業所（大王）	かがやき事業所（磯部）	合計	計画相談件数	431 件	387 件	818 件	[前年比]	-88 件	-5 件	-93 件		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	障がい福祉サービス等事業収益	4,330,950 円	3,982,880 円	3,823,320 円	3,723,760 円	3,222,250 円	延べ作成件数	293 件	262 件	252 件	242 件	199 件
	ゆうゆう事業所（大王）	かがやき事業所（磯部）	合計																													
計画相談件数	431 件	387 件	818 件																													
[前年比]	-88 件	-5 件	-93 件																													
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																											
障がい福祉サービス等事業収益	4,330,950 円	3,982,880 円	3,823,320 円	3,723,760 円	3,222,250 円																											
延べ作成件数	293 件	262 件	252 件	242 件	199 件																											
② 専門性を担保するため、1人2回以上外部研修に参加します。	100%	② 外部研修の参加状況は、下記のとおりです。 <table><tr><th></th><th>行動計画による目標</th><th>参加回数</th><th>1人あたり平均回数</th></tr><tr><td>ゆうゆう</td><td>2回×7人（職員数）＝14回</td><td>17回</td><td>2.4回</td></tr><tr><td>かがやき</td><td>2回×7人（職員数）＝14回</td><td>13回</td><td>1.8回</td></tr><tr><td>計</td><td>28回</td><td>30回</td><td>2.1回</td></tr></table>		行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数	ゆうゆう	2回×7人（職員数）＝14回	17回	2.4回	かがやき	2回×7人（職員数）＝14回	13回	1.8回	計	28回	30回	2.1回														
	行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数																													
ゆうゆう	2回×7人（職員数）＝14回	17回	2.4回																													
かがやき	2回×7人（職員数）＝14回	13回	1.8回																													
計	28回	30回	2.1回																													
③ 相談支援事業所の情報交換会を開催します。（年6回）	100%	③ 居宅情報交換会を6回開催しました。（4月15日、6月12日、8月19日、10月22日、2月16日、3月11日）																														

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td><td>B</td></tr> </table>	評価	B	・計画相談件数が減少したものの、地域の障がい者支援ニーズに応じたサービス等利用計画の作成を継続し、行政・サービス事業者との連携を図りながら支援体制を維持できました。 ・職員の定年退職による有資格者の減少が見込まれることから、新規対応件数を調整いたしました。現在は終了件数が新規件数を上回る状況にあり、令和7年度の利用者数は減少傾向にあります。 ・外部研修への参加や情報交換会の定期開催により、相談支援専門員としての資質向上に向けた取り組みも行いました。令和8年度からは、新たに開設した相談支援事業所「つなぐ」や他の関係機関との連携に努めます。
評価	B		

○ 在宅サービス課（事業方針）

令和7年度は、2025年問題と呼ばれる団塊世代が75歳の後期高齢者になる年です。認知症高齢者の増加や介護人材の不足、介護サービスを受けたくても受けられない介護難民の増加などの課題があげられます。特に訪問介護事業においては、人材不足が顕著であります。労働環境の改善や処遇の改善等の対策を進めていきます。

また、在宅サービス課内において、事業所間で応援体制を構築しながら連携していきます。

通所介護事業は、令和6年度におきまして新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルス感染症の影響でクラスターが発生し営業を休止しました。引き続き感染症対策を講じながら、健全な事業所運営に努めます。



1. 訪問介護事業・・・・・・・・補正後支出予算額 57,922,000円 / 支出決算額 56,561,055円

障がい者ヘルパーセンター事業・・・・・・・・補正後支出予算額 42,726,000円 / 支出決算額 42,077,802円

（1）訪問介護事業・日常生活支援総合事業第一号訪問事業・障がい者ヘルパーセンター事業

■目標

- ①利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②人材育成のための研修やスキルアップ・キャリアアップのために学べる研修を、オンライン動画により効率的・効果的に実施していきます。
- ③新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数の増加に積極的に取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 情報交換会議を開催します。（年3回）	100%	①-1 情報交換会議を3回開催しました。（4月18日、11月4日、3月19日）
①-2 課題検討会議を開催します。（年3回）	100%	①-2 課題検討会議を3回開催しました。（5月16日、8月27日、12月25日）
①-3 毎月1回はパート職員を含めた情報交換を行い、支援内容の確認を行います。	100%	①-3 情報交換会議を毎月開催し、支援内容を見直しました。
①-4 利用者へのサービスの質を向上させることを目的として、利用者本人もしくは家族にアンケート調査を実施します。	100%	①-4 3月に利用者向けのアンケート調査を実施しました。 今後、アンケート結果を取りまとめの上、改善すべき点があれば事業運営に活かしていきます。
②-1 個別の研修計画（職種別・職員階層別）を作成し、介護現場で役立つ知識・技術が	100%	②-1 個別研修計画を作成し、毎月各テーマに沿った研修を行いました。 （プライバシー保護、事業継続計画（BCP）感染症、緊急時の対応、事故発生または再発防止、拘縮ケア、摂食・嚥下、身体拘

学べるオンライン動画の研修を行います。 (毎月実施)		東・高齢者虐待防止、褥瘡予防、倫理及び法令遵守、自立支援介護の実践、接遇、ハラスメント、事業継続計画（BCP）自然災害、服薬、福祉用具、感染症・食中毒の予防及び蔓延防止、ヒアリハット、吸痰・吸引、介護予防及び要介護進行予防)																																																														
②-2 常勤職員は外部研修に参加します。研修内容を職員に伝達し、知識の共有化を図ります。 (1人1回以上)	100%	②-2 外部研修の参加状況は、下記のとおりです。 <table><tr><th></th><th>行動計画による目標</th><th>参加回数</th><th>1人あたり平均回数</th></tr><tr><td>ヘルパーセンターあんず</td><td>1回×8人（職員数）＝8回</td><td>8回</td><td>1回</td></tr></table>		行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数	ヘルパーセンターあんず	1回×8人（職員数）＝8回	8回	1回																																																						
	行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数																																																													
ヘルパーセンターあんず	1回×8人（職員数）＝8回	8回	1回																																																													
③-1 居宅介護支援事業所へ空き状況を報告します。	100%	③-1 これまで新規の依頼が少なかった居宅介護支援事業所へ空き状況を報告しました。																																																														
③-2 訪問介護事業においては1ヵ月の平均サービス提供時間の目標値を1,550時間とします。	92.7%	③-2 営業実績は、下記のとおりです。 ・延べ利用者数及び延べサービス提供時間〔訪問介護事業〕<table><tr><th></th><th>延べ利用者数</th><th>延べサービス提供時間数</th><th>1ヵ月平均サービス提供時間数</th><th colspan="4">サービス提供時間数</th></tr><tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th>身体介護</th><th>身体生活</th><th>生活援助</th><th>総合事業</th></tr><tr><td>サービス提供状況</td><td>19,850人</td><td>17,261時間15分</td><td>1438時間25分</td><td>4,954時間</td><td>4,236時間30分</td><td>5,929時間15分</td><td>2,141時間</td></tr><tr><td>〔前年比〕</td><td>-1,332人</td><td>-939時間</td><td>-78時間15分</td><td>-412時間</td><td>-668時間30分</td><td>522時間45分</td><td>-381時間45分</td></tr></table> ・年度別推移<table><tr><th></th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>サービス活動収益</td><td>77,149,206円</td><td>74,997,398円</td><td>70,328,157円</td><td>78,698,906円</td><td>74,405,848円</td></tr><tr><td>延べ利用者数</td><td>22,295人</td><td>21,296人</td><td>20,415人</td><td>21,190人</td><td>19,825人</td></tr><tr><td>当期利益</td><td>17,582,214円</td><td>17,986,686円</td><td>12,653,477円</td><td>16,059,311円</td><td>13,972,261円</td></tr><tr><td>当期利益増減値〔前年比〕</td><td>6,378,007円</td><td>404,472円</td><td>-5,333,209円</td><td>3,405,834円</td><td>-2,087,050円</td></tr></table>		延べ利用者数	延べサービス提供時間数	1ヵ月平均サービス提供時間数	サービス提供時間数								身体介護	身体生活	生活援助	総合事業	サービス提供状況	19,850人	17,261時間15分	1438時間25分	4,954時間	4,236時間30分	5,929時間15分	2,141時間	〔前年比〕	-1,332人	-939時間	-78時間15分	-412時間	-668時間30分	522時間45分	-381時間45分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	サービス活動収益	77,149,206円	74,997,398円	70,328,157円	78,698,906円	74,405,848円	延べ利用者数	22,295人	21,296人	20,415人	21,190人	19,825人	当期利益	17,582,214円	17,986,686円	12,653,477円	16,059,311円	13,972,261円	当期利益増減値〔前年比〕	6,378,007円	404,472円	-5,333,209円	3,405,834円	-2,087,050円
	延べ利用者数	延べサービス提供時間数	1ヵ月平均サービス提供時間数	サービス提供時間数																																																												
				身体介護	身体生活	生活援助	総合事業																																																									
サービス提供状況	19,850人	17,261時間15分	1438時間25分	4,954時間	4,236時間30分	5,929時間15分	2,141時間																																																									
〔前年比〕	-1,332人	-939時間	-78時間15分	-412時間	-668時間30分	522時間45分	-381時間45分																																																									
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																											
サービス活動収益	77,149,206円	74,997,398円	70,328,157円	78,698,906円	74,405,848円																																																											
延べ利用者数	22,295人	21,296人	20,415人	21,190人	19,825人																																																											
当期利益	17,582,214円	17,986,686円	12,653,477円	16,059,311円	13,972,261円																																																											
当期利益増減値〔前年比〕	6,378,007円	404,472円	-5,333,209円	3,405,834円	-2,087,050円																																																											
③-3 障がい者ヘルパーセンター事業においては1ヵ月の平均サービス提供時間の目標値を900時間とします。	93.3%	③-3 営業実績は、下記のとおりです。 ・延べ利用者数及びサービス提供時間〔障がい者ヘルパーセンター事業〕<table><tr><th></th><th colspan="2">自立支援給付 (居宅、重度訪問、同行援護※1)</th><th colspan="2">受託事業（移動支援※2）</th><th>1ヵ月平均サービス提供時間数</th></tr><tr><th></th><th>延べ利用者数</th><th>延べ提供時間数(A)</th><th>延べ利用者数</th><th>延べ提供時間数(B)</th><th>(A+B)÷12</th></tr><tr><td>サービス提供状況</td><td>6,321人</td><td>9,167時間30分</td><td>348人</td><td>912時間40分</td><td>840時間</td></tr></table>		自立支援給付 (居宅、重度訪問、同行援護※1)		受託事業（移動支援※2）		1ヵ月平均サービス提供時間数		延べ利用者数	延べ提供時間数(A)	延べ利用者数	延べ提供時間数(B)	(A+B)÷12	サービス提供状況	6,321人	9,167時間30分	348人	912時間40分	840時間																																												
	自立支援給付 (居宅、重度訪問、同行援護※1)		受託事業（移動支援※2）		1ヵ月平均サービス提供時間数																																																											
	延べ利用者数	延べ提供時間数(A)	延べ利用者数	延べ提供時間数(B)	(A+B)÷12																																																											
サービス提供状況	6,321人	9,167時間30分	348人	912時間40分	840時間																																																											

			[前年比]	-827 人	-759 時間 45 分	-4 人	81 時間 55 分	-13 時間 30 分	
			※1 同行援護：移動に著しい困難を有する視覚障がい者等の方が外出する際に、支援員（ガイドヘルパー）が同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護や外出する際の必要な援助を行なうサービス。 ※2 移動支援：単独では外出困難な障がい者（児）が、社会生活上必要不可欠な外出及び余暇活動や社会参加のため、外出時にヘルパーを利用し、必要な移動の介助及び外出に伴って必要となる介護を提供するサービス。						
			・年度別推移						
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			サービス活動収益	53,812,530 円	59,617,401 円	58,236,330 円	57,440,183 円	52,110,332 円	
			延べ利用者数	8,687 人	9,234 人	8,839 人	7,500 人	6,669 人	
			当期利益	13,129,557 円	14,676,526 円	11,721,736 円	10,229,442 円	7,116,614 円	
			当期利益増減値 [前年比]	-250,770 円	1,456,969 円	-2,954,790 円	-1,492,294 円	-3,112,828 円	

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>C</td> </tr> </table>	評価	C	- 訪問介護事業は、毎日型の利用者が施設入所やお亡くなりになるなどしたため、身体介護の提供時間が減少しましたが、生活援助については増加となっています。1 ヶ月の平均サービス提供時間の目標値 1,550 時間に対して 1,438 時間だったため、収入は前年度より約 430 万円減少しています。そのため、利益が約 208 万円減少しましたが、約 1,397 万円の黒字となりました。 - 障がいヘルプサービス事業についても同様の傾向となっています。1 ヶ月の平均サービス提供時間の目標値 900 時間に対して 840 時間だったため、収入は前年度より約 533 万円減少しました。そのため、利益は約 311 万円減少し約 711 万円の黒字となりました。
評価	C		

2. 訪問入浴介護事業・・・・・・補正後支出予算額 13,168,000円 / 支出決算額 12,650,558円

（1）訪問入浴介護事業・介護予防訪問入浴介護事業

■目標

- ①利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的・精神的な負担の軽減に努めます。
- ②人材育成のための研修やスキルアップ・キャリアアップのために学べる研修をオンライン動画により効率的・効果的に実施していきます。
- ③新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数の増加に積極的に取り組みます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 情報交換会議を開催します。（年3回）	100%	①-1 情報交換会議を3回開催しました。（4月18日、11月4日、3月19日）

①-2 課題検討会議を開催します。（年3回）	100%	①-2 課題検討会議を3回開催しました。（5月16日、8月27日、12月25日）																																													
①-3 利用者へのサービスの質を向上させることを目的として、利用者本人もしくは家族にアンケート調査を実施します。	100%	①-3 3月に利用者向けのアンケート調査を実施しました。 今後、アンケート結果を取りまとめの上、改善すべき点があれば事業運営に活かしていきます。																																													
②-1 個別の研修計画（職種別・職員階層別）を作成し、介護現場で役立つ知識・技術が学べるオンライン動画の研修を行います。（毎月実施）	100%	②-1 個別研修計画を作成し、毎月各テーマに沿った研修を行いました。 （プライバシー保護、事業継続計画（BCP）感染症、緊急時の対応、事故発生または再発防止、摂食・嚥下、身体拘束・高齢者虐待防止、倫理及び法令遵守、接遇、ハラスメント、疾患の基礎知識、事業継続計画（BCP）自然災害、服薬、福祉用具、感染症・食中毒の予防及び蔓延防止、ヒアリハット、吸痰・吸引、介護予防及び要介護進行予防）																																													
②-2 常勤職員は外部研修に参加します。研修内容を職員に伝達し、知識の共有化を図ります。	0%	②-2 外部研修は、参加できる研修が少なく参加できませんでした。																																													
③-1 居宅介護支援事業所へ空き状況を報告します。	100%	③-1 居宅介護支援事業所へ定期的に空き状況を報告しました。南伊勢町の居宅介護支援事業所に空き状況を提供したところ、新規利用者へのサービス提供につながりました。引き続き、空き情報を提供していきます。																																													
③-2 1ヵ月の平均利用回数の目標値を80件とします。	92%	③-2 営業実績は、下記のとおりです。 ・利用者数 <table><tr><th></th><th>実利用者数（4月）</th><th>実利用者数（3月）</th><th>延べ利用者数</th><th>1ヵ月の平均利用者数</th></tr><tr><td>サービス提供状況</td><td>18人</td><td>15人</td><td>883人</td><td>73.6人</td></tr><tr><td>[前年比]</td><td>-2人</td><td>-6人</td><td>-83人</td><td>-6.9人</td></tr></table> ・年度別推 <table><tr><th></th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>サービス活動収益</td><td>15,997,450円</td><td>16,023,650円</td><td>14,692,340円</td><td>13,916,878円</td><td>12,743,120円</td></tr><tr><td>延べ利用者数</td><td>1,177人</td><td>1,167人</td><td>1,035人</td><td>966人</td><td>883人</td></tr><tr><td>当期利益</td><td>-667,518円</td><td>-805,631円</td><td>-606,226円</td><td>-102,866円</td><td>-504,422円</td></tr><tr><td>当期利益増減値 [前年比]</td><td>-1,017,946円</td><td>-138,113円</td><td>199,405円</td><td>503,360円</td><td>-401,556円</td></tr></table>		実利用者数（4月）	実利用者数（3月）	延べ利用者数	1ヵ月の平均利用者数	サービス提供状況	18人	15人	883人	73.6人	[前年比]	-2人	-6人	-83人	-6.9人		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	サービス活動収益	15,997,450円	16,023,650円	14,692,340円	13,916,878円	12,743,120円	延べ利用者数	1,177人	1,167人	1,035人	966人	883人	当期利益	-667,518円	-805,631円	-606,226円	-102,866円	-504,422円	当期利益増減値 [前年比]	-1,017,946円	-138,113円	199,405円	503,360円	-401,556円
	実利用者数（4月）	実利用者数（3月）	延べ利用者数	1ヵ月の平均利用者数																																											
サービス提供状況	18人	15人	883人	73.6人																																											
[前年比]	-2人	-6人	-83人	-6.9人																																											
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																										
サービス活動収益	15,997,450円	16,023,650円	14,692,340円	13,916,878円	12,743,120円																																										
延べ利用者数	1,177人	1,167人	1,035人	966人	883人																																										
当期利益	-667,518円	-805,631円	-606,226円	-102,866円	-504,422円																																										
当期利益増減値 [前年比]	-1,017,946円	-138,113円	199,405円	503,360円	-401,556円																																										

■評価

目標の達成度	・新規の利用申し込みが年間21人ありました。そのほとんどが終末期の方の利用であり、継続しての利用には至っていません。そのため1ヵ月の平均利用回数の目標値80件に対し、実績値は73.6人となっています。収入は約117万円、利益は約40万円減少し、約50万円の赤字となりました。
評価	C
	・障がい者の訪問入浴事業の実施について、志摩市より受託事業として令和7年12月に契約しましたが、利用実績はありませんでした。

3. 通所介護事業・・・・・・・・補正後支出予算額 253,228,000円 / 支出決算額 248,580,712円

(1) 通所介護事業及び介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービス

■目標

- ①利用者のニーズに沿ったサービスを提供することにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能維持、改善並びに家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。
- ②人材育成のための研修やスキルアップ・キャリアアップのために学べる研修をオンライン動画により効率的・効果的に実施していきます。
- ③新規利用者の獲得、利用者のサービス提供回数の増加に積極的に取り組みます。
- ④利用者の地域における社会参加活動や地域住民との交流を促進する観点から、事業の運営に当たって、感染症対策を講じながら地域住民やボランティア団体等との連携・協力をを行い地域との交流に努めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況
①-1 情報交換会議を開催します。(年6回)	100%	①-1 情報交換会議を6回開催しました。(5月15日、7月17日、9月16日、11月20日、1月15日、3月19日)
①-2 課題検討会議を開催します。(年6回)	100%	①-2 課題検討会議を6回開催しました。(4月17日、6月19日、8月22日、10月17日、12月18日、2月20日)
①-3 看護師会議を開催します(年2回)	100%	①-3 看護師会議を2回開催しました。(1月25日、3月25日)
①-4 利用者へのサービスの質を向上させることを目的として、利用者本人もしくは家族にアンケート調査を実施します。	100%	①-4 3月に利用者向けのアンケート調査を実施しました。 今後、アンケート結果を取りまとめの上、改善すべき点があれば事業運営に活かしていきます。
②-1 個別の研修計画(職種別・職員階層別)を作成し、介護現場で役立つ知識・技術が学べるオンライン動画の研修を行います。(毎月実施)	100%	②-1 個別研修計画を作成し、毎月各テーマに沿った研修を行いました。 (プライバシー保護、事業継続計画(BCP)感染症、緊急時の対応、事故発生または再発防止、拘縮ケア、摂食・嚥下、身体拘束・高齢者虐待防止、褥瘡予防、倫理及び法令遵守、自立支援介護の実践、接遇、ハラスメント、生活リハビリ、疾患の基礎知識、機能訓練、口腔ケア、知って得する姿勢ケア、フィジカルアセスメント、事業継続計画(BCP)自然災害、服薬、福祉用具、感染症・食中毒の予防及び蔓延防止、ヒアリハット、吸痰・吸引、介護予防及び要介護進行予防)

②-2 常勤職員は外部研修に参加します。研修内容を職員に伝達し、知識の共有化を図ります。 ③-1 居宅介護支援事業所へ空き状況を報告します。 ③-2 各事業所の1日の平均利用者数の目標を以下のとおりとします。 ・浜島通所介護事業所：37人 ・大王通所介護事業所：31人 ・磯部通所介護事業所：33人	100%	②-2 外部研修の参加状況は、下記のとおりです。 <table><tr><th></th><th>職員数</th><th>参加回数</th><th>1人あたり平均回数</th></tr><tr><td>浜島通所介護事業所</td><td>7人</td><td>14回</td><td>2回</td></tr><tr><td>大王通所介護事業所</td><td>6人</td><td>6回</td><td>1回</td></tr><tr><td>磯部通所介護事業所</td><td>7人</td><td>7回</td><td>1回</td></tr><tr><td>合計</td><td>20人</td><td>27回</td><td>1.35回</td></tr></table> ▽三重県デイサービスセンター協議会研修 ▽吉田福祉基金研修 ▽三重県社協研修		職員数	参加回数	1人あたり平均回数	浜島通所介護事業所	7人	14回	2回	大王通所介護事業所	6人	6回	1回	磯部通所介護事業所	7人	7回	1回	合計	20人	27回	1.35回																																																							
		職員数	参加回数	1人あたり平均回数																																																																									
	浜島通所介護事業所	7人	14回	2回																																																																									
	大王通所介護事業所	6人	6回	1回																																																																									
	磯部通所介護事業所	7人	7回	1回																																																																									
	合計	20人	27回	1.35回																																																																									
	100%	③-1 居宅介護支援事業所へ定期的に空き状況を報告しました。																																																																											
	浜島 96.8% 大王 92.6% 磯部 84.2%	③-2 営業実績は、下記のとおりです。 ・経営状況 <table><tr><th></th><th>浜島事業所</th><th>大王事業所</th><th>磯部事業所</th><th>合計</th></tr><tr><td>利用定員</td><td>45人 → 53人</td><td>40人</td><td>45人 → 32人</td><td>130人 → 125人</td></tr><tr><td>延べ利用者数</td><td>10,947人</td><td>8,803人</td><td>8,354人</td><td>28,104人</td></tr><tr><td>〔前年比〕</td><td>-109人</td><td>-116人</td><td>-939人</td><td>-1,164人</td></tr><tr><td>サービス提供日数</td><td>306日</td><td>307日</td><td>301日</td><td></td></tr><tr><td>1日平均利用者数</td><td>35.8人</td><td>28.7人</td><td>27.8人</td><td>92.2人</td></tr><tr><td>令和6年度 1日平均利用者数</td><td>36.4人</td><td>29.2人</td><td>32.2人</td><td>97.8人</td></tr><tr><td>当期利益</td><td>-4,348,196円</td><td>-2,291,275円</td><td>-8,342,156円</td><td>-14,981,627円</td></tr><tr><td>当期利益増減値 〔前年比〕</td><td>-3,759,028円</td><td>3,446,941円</td><td>-2,082,178円</td><td>-2,394,265円</td></tr></table> ・年度別推移 <table><tr><th></th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>サービス活動収益</td><td>304,080,184円</td><td>262,204,255円</td><td>269,418,965円</td><td>256,836,311円</td><td>248,177,776円</td></tr><tr><td>延べ利用者数</td><td>35,118人</td><td>29,828人</td><td>30,638人</td><td>29,268人</td><td>28,104人</td></tr><tr><td>当期利益</td><td>22,161,530円</td><td>3,580,280円</td><td>9,865,532円</td><td>-12,587,362円</td><td>-14,981,627円</td></tr><tr><td>当期利益増減値 〔前年比〕</td><td>1,061,921円</td><td>-18,581,250円</td><td>6,285,252円</td><td>-22,452,894円</td><td>-2,394,265円</td></tr></table>		浜島事業所	大王事業所	磯部事業所	合計	利用定員	45人 → 53人	40人	45人 → 32人	130人 → 125人	延べ利用者数	10,947人	8,803人	8,354人	28,104人	〔前年比〕	-109人	-116人	-939人	-1,164人	サービス提供日数	306日	307日	301日		1日平均利用者数	35.8人	28.7人	27.8人	92.2人	令和6年度 1日平均利用者数	36.4人	29.2人	32.2人	97.8人	当期利益	-4,348,196円	-2,291,275円	-8,342,156円	-14,981,627円	当期利益増減値 〔前年比〕	-3,759,028円	3,446,941円	-2,082,178円	-2,394,265円		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	サービス活動収益	304,080,184円	262,204,255円	269,418,965円	256,836,311円	248,177,776円	延べ利用者数	35,118人	29,828人	30,638人	29,268人	28,104人	当期利益	22,161,530円	3,580,280円	9,865,532円	-12,587,362円	-14,981,627円	当期利益増減値 〔前年比〕	1,061,921円	-18,581,250円	6,285,252円	-22,452,894円	-2,394,265円
		浜島事業所	大王事業所	磯部事業所	合計																																																																								
	利用定員	45人 → 53人	40人	45人 → 32人	130人 → 125人																																																																								
延べ利用者数	10,947人	8,803人	8,354人	28,104人																																																																									
〔前年比〕	-109人	-116人	-939人	-1,164人																																																																									
サービス提供日数	306日	307日	301日																																																																										
1日平均利用者数	35.8人	28.7人	27.8人	92.2人																																																																									
令和6年度 1日平均利用者数	36.4人	29.2人	32.2人	97.8人																																																																									
当期利益	-4,348,196円	-2,291,275円	-8,342,156円	-14,981,627円																																																																									
当期利益増減値 〔前年比〕	-3,759,028円	3,446,941円	-2,082,178円	-2,394,265円																																																																									
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																																																																								
サービス活動収益	304,080,184円	262,204,255円	269,418,965円	256,836,311円	248,177,776円																																																																								
延べ利用者数	35,118人	29,828人	30,638人	29,268人	28,104人																																																																								
当期利益	22,161,530円	3,580,280円	9,865,532円	-12,587,362円	-14,981,627円																																																																								
当期利益増減値 〔前年比〕	1,061,921円	-18,581,250円	6,285,252円	-22,452,894円	-2,394,265円																																																																								

④ ボランティア団体等によるボランティア活動により、話し相手（傾聴）や余興（演奏、舞踏、マジックなど）の受入れなど地域との交流に努めます。また、幼保園や小学校との交流活動を行います。	100%	④ 浜島事業所において、ボランティア団体によるトロンボーン、大正琴、志州飛鳥太鼓を演奏していただきました。 また、浜島小学校低学年の皆さんによりダンスを披露してもらい、交流を深めました。 大王事業所において、ボランティア団体による舞踏を披露していただきました。 磯部事業所において、ボランティア団体による舞踏を披露していただきました。
---	------	--

■評価

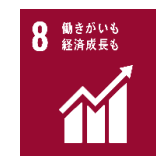
目標の達成度 評価 C	・浜島通所事業ですが、上半期の1日の平均利用者数は33.9人で前年度同月38.2人と比較して大幅に減少しましたが、下半期はかがやきの改修工事により、磯部通所介護事業所の機械浴で入浴する利用者を受け入れたこともあり37.8人でした。そのため、令和7年度の1日の平均利用者数は35.8人となり、延利用者数は前年度と比較して109人少なくなりましたが、収入は前年度とほぼ同額でした。原因は、要介護の利用者が増加し、要支援の利用者が少なくなったことによるものです。利益については、契約職員を大王通所より異動させたことにより人件費の増加のため、約376万円減少し、約435万円の赤字となりました。 ・大王通所事業ですが、上半期の1日の平均利用者数は29.4人で前年度同月29.2人と比較して若干増加しましたが、下半期はかがやきの改修工事により、磯部通所介護事業所の機械浴で入浴する利用者を受け入れたたり、生活介護の利用者を基準該当で受け入れたにもかかわらず27.9人でした。そのため、令和7年度の1日の平均利用者数は28.7人で、延べ利用者数は前年度と比較して116人少なくなり、収入は約134万円減少しました。原因は、延べ利用者数の減少と要介護の利用者が減少、要支援の利用者が増加したことによるものです。利益については、契約職員を浜島通所へ異動させたことにより人件費が抑制されたため、約344万円回復しましたが、約229万円の赤字となりました。 ・磯部通所事業ですが、上半期の1日の平均利用者数は30.5人で前年度同月32.6人と比較して減少しましたが、営業日17日多かったため、上半期の延べ利用者数は247人増加でした。下半期はかがやきの改修工事により、しまの憩いを間借りして営業したことにより24.8人でした。したがって、令和7年度の1日の平均利用者数は27.8人となり、延べ利用者数は前年度と比較して939人少なくなり、収入は約733万円減少しました。原因は利用定員の縮小と移転準備期間営業を5日間休止したことによるものです。利益については、収入の減少としまの憩いの修繕費用及び賃借料などの支出の増加により約208万円減少し、約834万円の赤字となりました。
----------------	--

○ 障がい福祉課（事業方針）

地域で介護や支援が必要とされる障がいのある方に、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるような継続したサービスを提供し、関係機関と連携を図りながら事業運営に取り組んでいきます。

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、現状のサービス体制や環境状況に応じた事業継続に向けて、単年度における黒字決算の実現に努めていきます。

また、障がい福祉サービスの質の向上においても重点目標として取り組んでいきます。



1. 障がい者生活介護センター事業・・・・補正後支出予算額 87,965,000円 / 支出決算額 84,651,153円

(1) 障がい者生活介護センター事業

■目標

①介護を要する障がいのある方に対してそれぞれのニーズに沿った、通所による入浴、排せつ及び食事等の介護、創作活動や生産活動の機会の提供、その他身体機能及び生活能力の向上のために必要な援助を行います。また、家族の身体的、精神的な負担の軽減に努めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																				
①-1 常勤職員は、年2回以上の外部研修に参加するとともに事業所内での伝達研修を行うことにより、職員の資質向上を図ります。	きらり 66%	①-1 外部研修参加の状況は、下記のとおりです。 <table><tr><th></th><th>行動計画による目標</th><th>参加回数</th><th>1人あたり平均回数</th></tr><tr><td>きらり事業所</td><td>2回×3人（職員数）＝6回</td><td>4回</td><td>1.3回</td></tr><tr><td>かがやき事業所</td><td>2回×5人（職員数）＝10回</td><td>8回</td><td>1.6回</td></tr></table>		行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数	きらり事業所	2回×3人（職員数）＝6回	4回	1.3回	かがやき事業所	2回×5人（職員数）＝10回	8回	1.6回																								
			行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数																																	
	きらり事業所		2回×3人（職員数）＝6回	4回	1.3回																																	
かがやき事業所	2回×5人（職員数）＝10回	8回	1.6回																																			
かがやき 80%																																						
①-2 毎月1回事業所連携会議を開催し、情報の共有や課題等の検討に取り組み、職員の利用者支援のスキルアップに努めます。	きらり 50%	①-2 会議開催の状況は、下記のとおりです。 <table><tr><th></th><th>職員会議</th><th>支援会議等</th><th>計（回数）</th></tr><tr><td>きらり事業所</td><td>6回</td><td>6回</td><td>12回</td></tr><tr><td>かがやき事業所</td><td>12回</td><td>12回</td><td>24回</td></tr></table>		職員会議	支援会議等	計（回数）	きらり事業所	6回	6回	12回	かがやき事業所	12回	12回	24回																								
			職員会議	支援会議等	計（回数）																																	
	きらり事業所		6回	6回	12回																																	
かがやき事業所	12回	12回	24回																																			
かがやき 100%																																						
①-3 1日の平均利用者数の目標を以下のとおりとします。 ・きらり事業所：14人 ・かがやき事業所：11人	きらり 89%	①-3 営業実績は、下記のとおりです。 ・経営状況 <table><tr><th></th><th>きらり事業所</th><th>かがやき事業所</th><th>合計</th></tr><tr><td>利用定員</td><td>20人</td><td>20人</td><td>40人</td></tr><tr><td>延べ利用者数</td><td>3,037人</td><td>2,032人</td><td>5,069人</td></tr><tr><td>〔前年比〕</td><td>-496人</td><td>-353人</td><td>-849人</td></tr><tr><td>サービス提供日数</td><td>242日</td><td>242日</td><td></td></tr><tr><td>1日平均利用者数</td><td>12.5人</td><td>8.4人</td><td>20.9人</td></tr><tr><td>令和6年度 1日平均利用者数</td><td>14.5人</td><td>9.8人</td><td>24.3人</td></tr><tr><td>当期利益</td><td>-11,029,115円</td><td>-7,690,501円</td><td>-18,719,616円</td></tr><tr><td>当期利益増減値 〔前年比〕</td><td>-4,304,752円</td><td>-1,334,062円</td><td>-5,638,814円</td></tr></table>		きらり事業所	かがやき事業所	合計	利用定員	20人	20人	40人	延べ利用者数	3,037人	2,032人	5,069人	〔前年比〕	-496人	-353人	-849人	サービス提供日数	242日	242日		1日平均利用者数	12.5人	8.4人	20.9人	令和6年度 1日平均利用者数	14.5人	9.8人	24.3人	当期利益	-11,029,115円	-7,690,501円	-18,719,616円	当期利益増減値 〔前年比〕	-4,304,752円	-1,334,062円	-5,638,814円
			きらり事業所	かがやき事業所	合計																																	
	利用定員		20人	20人	40人																																	
延べ利用者数	3,037人	2,032人	5,069人																																			
〔前年比〕	-496人	-353人	-849人																																			
サービス提供日数	242日	242日																																				
1日平均利用者数	12.5人	8.4人	20.9人																																			
令和6年度 1日平均利用者数	14.5人	9.8人	24.3人																																			
当期利益	-11,029,115円	-7,690,501円	-18,719,616円																																			
当期利益増減値 〔前年比〕	-4,304,752円	-1,334,062円	-5,638,814円																																			
かがやき 76%																																						

①-4 地域福祉センター大規模改修工事の状況を踏まえながら、事業統合を進めていきます。	50%	・年度別推移																														
		<table><tr><th></th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>サービス活動収益</td><td>94,205,875円</td><td>92,363,004円</td><td>88,138,690円</td><td>79,538,888円</td><td>69,702,915円</td></tr><tr><td>延べ利用者数</td><td>7,010人</td><td>6,790人</td><td>6,512人</td><td>5,918人</td><td>5,069人</td></tr><tr><td>当期利益</td><td>-3,764,268円</td><td>-8,567,786円</td><td>-10,091,854円</td><td>-13,080,802円</td><td>-18,719,616円</td></tr><tr><td>当期利益増減値 [前年比]</td><td>2,587,359円</td><td>-4,803,518円</td><td>-1,524,068円</td><td>-2,988,948円</td><td>-5,638,814円</td></tr></table>		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	サービス活動収益	94,205,875円	92,363,004円	88,138,690円	79,538,888円	69,702,915円	延べ利用者数	7,010人	6,790人	6,512人	5,918人	5,069人	当期利益	-3,764,268円	-8,567,786円	-10,091,854円	-13,080,802円	-18,719,616円	当期利益増減値 [前年比]	2,587,359円	-4,803,518円	-1,524,068円	-2,988,948円	-5,638,814円
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																									
		サービス活動収益	94,205,875円	92,363,004円	88,138,690円	79,538,888円	69,702,915円																									
		延べ利用者数	7,010人	6,790人	6,512人	5,918人	5,069人																									
		当期利益	-3,764,268円	-8,567,786円	-10,091,854円	-13,080,802円	-18,719,616円																									
		当期利益増減値 [前年比]	2,587,359円	-4,803,518円	-1,524,068円	-2,988,948円	-5,638,814円																									
		【きらり事業所】																														
		・令和7年度は、2人の退所と2人の長期休養等により大幅な減収となりました。																														
		【かがやき事業所】																														
・新規利用で2人の増員となりました。																																
・令和7年12月から、磯部健康福祉センターかがやきの大規模改修工事に伴い、事業所を浜島地域福祉センターさくら苑へ移転して運営しています。																																
・この移転に伴い、利用者3人が大王通所の基準該当事業へ移行したため、利用者数の減少による減収となりました。																																
①-4 磯部健康福祉センターかがやきの大規模改修工事後の令和8年度において、運営している2つの生活介護事業を、1事業所へ統合していく準備を進めていきます。																																
【その他】																																
○虐待防止委員会																																
・利用者の権利を擁護するための虐待防止委員会を5回開催しました。																																
・今年度の虐待防止委員会の計画を作成しました。																																
・委員は全員、三重県が開催した虐待研修に参加しました。																																
・虐待防止研修は、2月から3月にかけて全職員を対象として、集合研修・WEB視聴研修を織り交ぜて実施しました。																																

■評価

目標の達成度	C	・きらり事業所では、平均利用者数は12.5人（前年度14.5人）で、延利用者数は496人減少しました。利益は前年比で430万円程度減少しました。 ・かがやき事業所では、平均利用者数は8.4人（前年度9.8人）で、延利用者数は353人減少しました。利益は前年比で130万円程度減少しました。 ・全体の収益としては6,970万円程度となり、昨年度より1,000万円程度の減少となりました。 ・全体の利益としては1,870万円程度の赤字で、昨年度より560万円程度減少となりました。 ・利用者は全体で1日あたり3.4人減員しており早急な対策が必要になります。
評価		

2. 放課後等デイサービスセンター事業・・・・・・・・補正後支出予算額 15,922,000円 / 支出決算額 15,316,863円

(1) 障がい児童デイサービスセンター事業

■目標

- ①小学生から高校生までの学齢期の子どもを対象とした療育を行っていきます。個別療育で個々への支援を実施し、集団支援で社会性やコミュニケーションを学ぶ場を提供します。
また、保護者への相談援助や関係機関との連携を実施し、包括的な支援を行えるよう努めます。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																																																
①-1 1 日の平均利用者数の目標を 8 人とします。	89%	①-1 営業実績は、下記のとおりです。 ・経営状況 <table><tr><th></th><th>くれよん事業所</th></tr><tr><td>利用定員</td><td>10 人</td></tr><tr><td>延べ利用者数</td><td>1,717 人</td></tr><tr><td>[前年比]</td><td>132 人</td></tr><tr><td>サービス提供日数</td><td>242 日</td></tr><tr><td>1 日平均利用者数</td><td>7.1 人</td></tr><tr><td>令和6 年度 1 日平均利用者数</td><td>6.5 人</td></tr><tr><td>当期利益</td><td>1,414,805 円</td></tr><tr><td>当期利益増減値 [前年比]</td><td>-2,822,997 円</td></tr></table> ・年度別推移（9 月末現在） <table><tr><th></th><th>令和3 年度</th><th>令和4 年度</th><th>令和5 年度</th><th>令和6 年度</th><th>令和7 年度</th></tr><tr><td>サービス活動収益</td><td>16,559,780 円</td><td>14,892,795 円</td><td>14,461,090 円</td><td>16,513,518 円</td><td>17,721,127 円</td></tr><tr><td>延べ利用者数</td><td>1,668 人</td><td>1,456 人</td><td>1,609 人</td><td>1,585 人</td><td>1,717 人</td></tr><tr><td>当期利益</td><td>-4,256,306 円</td><td>-440,225 円</td><td>1,665,153 円</td><td>4,237,802 円</td><td>1,414,805 円</td></tr><tr><td>当期利益増減値 [前年比]</td><td>-7,174,930 円</td><td>3,816,081 円</td><td>2,105,378 円</td><td>2,572,649 円</td><td>-2,822,997 円</td></tr></table>		くれよん事業所	利用定員	10 人	延べ利用者数	1,717 人	[前年比]	132 人	サービス提供日数	242 日	1 日平均利用者数	7.1 人	令和6 年度 1 日平均利用者数	6.5 人	当期利益	1,414,805 円	当期利益増減値 [前年比]	-2,822,997 円		令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和7 年度	サービス活動収益	16,559,780 円	14,892,795 円	14,461,090 円	16,513,518 円	17,721,127 円	延べ利用者数	1,668 人	1,456 人	1,609 人	1,585 人	1,717 人	当期利益	-4,256,306 円	-440,225 円	1,665,153 円	4,237,802 円	1,414,805 円	当期利益増減値 [前年比]	-7,174,930 円	3,816,081 円	2,105,378 円	2,572,649 円	-2,822,997 円
	くれよん事業所																																																	
利用定員	10 人																																																	
延べ利用者数	1,717 人																																																	
[前年比]	132 人																																																	
サービス提供日数	242 日																																																	
1 日平均利用者数	7.1 人																																																	
令和6 年度 1 日平均利用者数	6.5 人																																																	
当期利益	1,414,805 円																																																	
当期利益増減値 [前年比]	-2,822,997 円																																																	
	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和7 年度																																													
サービス活動収益	16,559,780 円	14,892,795 円	14,461,090 円	16,513,518 円	17,721,127 円																																													
延べ利用者数	1,668 人	1,456 人	1,609 人	1,585 人	1,717 人																																													
当期利益	-4,256,306 円	-440,225 円	1,665,153 円	4,237,802 円	1,414,805 円																																													
当期利益増減値 [前年比]	-7,174,930 円	3,816,081 円	2,105,378 円	2,572,649 円	-2,822,997 円																																													
①-2 常勤職員は、年 2 回以上の外部研修に参加し、利用者支援の質の向上を図ります。	100%	①-2 外部研修参加の状況は、下記のとおりです。 <table><tr><th></th><th>行動計画による目標</th><th>参加回数</th><th>1 人あたり平均回数</th></tr><tr><td>くれよん事業所</td><td>2 回×2 人（職員数）＝4 回</td><td>9 回</td><td>4.5 回</td></tr></table>		行動計画による目標	参加回数	1 人あたり平均回数	くれよん事業所	2 回×2 人（職員数）＝4 回	9 回	4.5 回																																								
	行動計画による目標	参加回数	1 人あたり平均回数																																															
くれよん事業所	2 回×2 人（職員数）＝4 回	9 回	4.5 回																																															

■評価

目標の達成度	評価	B	・延べ利用者数は前年比で132人増加しました。 ・常勤職員が年度途中で2人退職しました。利用者数が増加したことで収益は増額しましたが、職員体制加算の報酬が変更となったことにより、利益は前年比で減額する結果となりました。

3. 就労支援事業・・・・・・・・補正後支出予算額 144,559,000円 / 支出決算額 140,189,070円

(1) 就労継続支援B型事業

■目標

①一般企業等での就労が困難な障がいのある方に働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行います。

■行動計画の進捗状況

行動計画	進捗率	実施状況																						
【全事業所共通】 ①-1 職員会議を毎月1回開催します。また、その他必要に応じて職員会議・支援会議等を適宜開催します。 ①-2 常勤職員は、年2回以上外部研修に参加します。また、事業所内での伝達研修を行うことにより、職員の資質向上を図ります。 ①-3 1日の平均利用者数の目標を以下のとおりとします。 ・はばたき事業所：17人 ・あいのその事業所：17人 ・えりはら事業所：17人	100%	【全事業所共通】 ①-1 会議開催の状況は、下記のとおりです。 <table><tr><th></th><th>職員会議</th><th>支援会議等</th><th>計（回数）</th></tr><tr><td>はばたき事業所</td><td>12回</td><td>12回</td><td>24回</td></tr><tr><td>あいのその事業所</td><td>12回</td><td>12回</td><td>24回</td></tr><tr><td>えりはら事業所</td><td>12回</td><td>12回</td><td>24回</td></tr></table>					職員会議	支援会議等	計（回数）	はばたき事業所	12回	12回	24回	あいのその事業所	12回	12回	24回	えりはら事業所	12回	12回	24回			
		職員会議	支援会議等	計（回数）																				
	はばたき事業所	12回	12回	24回																				
あいのその事業所	12回	12回	24回																					
えりはら事業所	12回	12回	24回																					
100%	①-2 外部研修参加の状況は、下記のとおりです。 <table><tr><th></th><th>行動計画による目標</th><th>参加回数</th><th>1人あたり平均回数</th></tr><tr><td>はばたき事業所</td><td>2回×4人（職員数）＝8回</td><td>16回</td><td>4回</td></tr><tr><td>あいのその事業所</td><td>2回×3人（職員数）＝6回</td><td>6回</td><td>2回</td></tr><tr><td>えりはら事業所</td><td>2回×5人（職員数）＝10回</td><td>5回</td><td>1回</td></tr></table>					行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数	はばたき事業所	2回×4人（職員数）＝8回	16回	4回	あいのその事業所	2回×3人（職員数）＝6回	6回	2回	えりはら事業所	2回×5人（職員数）＝10回	5回	1回				
	行動計画による目標	参加回数	1人あたり平均回数																					
はばたき事業所	2回×4人（職員数）＝8回	16回	4回																					
あいのその事業所	2回×3人（職員数）＝6回	6回	2回																					
えりはら事業所	2回×5人（職員数）＝10回	5回	1回																					
はばたき 93% あいのその 88% えりはら 94%	①-3 営業実績は、下記のとおりです。 ・経営状況 <table><tr><th></th><th>はばたき事業所</th><th>あいのその事業所</th><th>えりはら事業所</th><th>合計</th></tr><tr><td>利用定員</td><td>20人</td><td>20人</td><td>20人</td><td>60人</td></tr><tr><td>延べ利用者数</td><td>3,853人</td><td>3,671人</td><td>3,966人</td><td>11,490人</td></tr><tr><td>〔前年比〕</td><td>24人</td><td>-313人</td><td>-137人</td><td>-426人</td></tr></table>					はばたき事業所	あいのその事業所	えりはら事業所	合計	利用定員	20人	20人	20人	60人	延べ利用者数	3,853人	3,671人	3,966人	11,490人	〔前年比〕	24人	-313人	-137人	-426人
	はばたき事業所	あいのその事業所	えりはら事業所	合計																				
利用定員	20人	20人	20人	60人																				
延べ利用者数	3,853人	3,671人	3,966人	11,490人																				
〔前年比〕	24人	-313人	-137人	-426人																				

サービス提供日数	244 日	247 日	251 日	
1 日平均利用者数	15.8 人	14.9 人	15.9 人	46.6 人
令和6年度 1 日平均利用者数	15.6 人	16.1 人	16.0 人	47.7 人
当期利益	-897,712 円	3,622,185 円	-7,416,573 円	-4,692,100 円
当期利益増減値 [前年比]	1,822,976 円	2,228,094 円	3,015,597 円	7,066,667 円

・年度別推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
サービス活動収益	151,113,909 円	151,393,848 円	141,397,708 円	147,768,715 円	143,242,078 円
延べ利用者数	13,153 人	12,819 人	11,834 人	11,916 人	11,490 人
当期利益	-955,249 円	-4,427,959 円	-11,682,339 円	-11,758,767 円	-4,692,100 円
当期利益増減値 [前年比]	-2,365,377 円	-3,472,710 円	-7,254,380 円	-76,428 円	7,066,667 円

【はばたき事業所】

- ・新規利用で2人の増員がありましたが、利用が安定しないこともあり、前年度より少し上向いたものの目標平均利用者数を達成できませんでした。

【あいその事業所】

- ・新規利用で1人の増員がありましたが、2人退所されたことで利用者数は減員しました。

【えりはら事業所】

- ・利用者が1人退所により、減員しました。

①-4 事業統合に向けた課題を整理します。

90%

①-4 中期計画において計画した内容について課題の精査を行いました。

【障がい者支援施設はばたき】

①-5 平均工賃 25,000 円を維持できるように
作業計画の充実を図ります。

90%

【はばたき事業所】

①-5 令和7年度の平均工賃月額額は、前年度の27,000円から24,000円程度へ減額となりました。主な要因としては、令和6年度より就労支援事業収益の減少が継続していることから、工賃時間給の見直しを行い、250円から230円へ変更したことによるものです。

①-6 事業所内での勉強会等を行い支援の充実
を図ります。

100%

①-6 2月に事業所内研修として、鳥羽市社会福祉協議会で開催された虐待防止研修会へ参加しました。

①-7 ひまわりの事業について引継ぎを行い、就労継続B型にあった業務に整理します。	100%	①-7 サンライフあごの清掃業務については、あいのそのへ移管しました。また、その他の事業については、閉鎖等により整理を行いました。
①-8 地域との交流を行い、障がい者自身が地域で安心して生活できるよう取り組みます。	100%	①-8 9月には文岡中学校の職業体験の受け入れを行いました。また、11月には東海小学校とのレクリエーション交流、2月には神明小学校との人権啓発を目的とした花植え交流を実施しました。
【障がい者支援施設あいのその】 ①-9 担当職員の負担や費用対効果を考慮して、令和7年度以降の事業見直しを行います。 ・味工房ともやま運営の継続/廃止	100%	【あいのその事業所】 ①-9 以下のとおり事業を見直しました。 ・味工房ともやま事業は、令和7年度末で閉鎖としました。ともやまの食事提供に係る取り組みは他事業所へ引き継ぎました。
①-10 利用者支援の質を高めます。 ・適宜必要に応じた早期の事例検討の実施 ・個別支援マニュアルの作成 ・アセスメントの質の向上	100%	①-10 利用者本人の気持ちや体調により利用が困難なこともあります。支援会議等で職員間での対応についての情報共有や関係機関とも連絡を取りながら利用を継続できるよう支援をしています。 ・就労継続A型から移ってこられた新規の利用者はハローワークに就労申告報告などが必要なため、ハローワークや日常生活自立支援事業とも連携を取りながら支援しています。 ・学校との交流や、イベント時に地域の民生委員・児童委員、ボランティアのご協力いただくことで、障がい者と地域の方とのつながりの確保に努めています。
①-11 自主製品の販路拡大を目指すことで、売上及び工賃の確保、より多くの方に授産製品、障がい福祉事業所の活動を知ってもらえるよう努めます。	100%	①-11 新たに市内事業者2か所に商品を設置させていただき、販売いただけるようになりました。 ・県外の企業にもミニ豊の定期的な受注をしてもらえるようになりました。 ・令和6年度末で閉鎖した「ひまわり」から引き継いだ清掃作業については、多くの利用者にかかわっていただくことができ、工賃の確保にもつながりました。
【障がい者支援施設えりはら】 ①-12 就労支援事業収入を維持し、工賃確保につながるよう作業内容を考えていきます。	100%	【えりはら事業所】 ①-12 就労支援事業収入の確保のため、以下の取り組みを進めました。 ・配食サービス事業では、閉鎖した味工房ともやまの事業を引き継いだことにより、注文数が増加しました。 ・製パン事業では、夏に冷たいゼリーの販売を行ったことにより好評を得ることができました。 ・製パン事業では、近隣の方を中心に認知度が上がってきたことで、店舗でのパン販売が好調でした。 ・あいあいの事業（内職請負）では、依頼会社であるブレイズの撤退により、100円ショップ向け商品の袋詰め作業が終了しま

①-13 パンの製造販売について、新しい販路の確保と売れる新商品の開発に努めます。 また、お客様が店舗に来て頂けるような環境作りとPRに努めます。 ①-14 えりはらパンの認知度を上げるために社協のInstagramを活用して、毎月限定販売しているフェアパン等の情報を発信していきます。	100% 0%	した。 一方、旭電器工業からの受注作業は増加し、新たな作業量の確保につながりました。 ①-13 新しい販路の確保と新商品の開発のため、以下の取り組みを進めました。 ・毎月市内等で行われる朝市（あるがまま市、わのわ市、しんめ市）に出店できました。（7月、8月は食中毒予防のため、中止） ・パンの販売時、焼き菓子（ラスク）も入れることで、購入される方が増えました。 ・新しい販売先として神明小学校、はまみの里、ビビアン、居宅事業所ひかり、志摩環境事業協業組合が増えました。 ・商品開発に関しては6年度に引き続き、毎月のフェアパン、焼き菓子（ラスク）、パイ生地焼き菓子、夏季限定でのゼリーなどについて、質の向上に取り組みました。 ※フェアパン … えりはらにて毎月、限定販売しているパン ①-14 社協のInstagramを活用して、情報を発信できませんでした。 令和8年度からは、毎月のフェアパンのお知らせ等を発信していきます。
---	-----------------------	--

■評価

目標の達成度 <table border="1"> <tr> <td>評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	評価	B	・はばたき事業所では、平均利用者数は15.8人（前年度15.6人）で、延利用者数は24人増加しました。収益は前年比で20万円程度減少しました。 ・あいのその事業所では、平均利用者数は14.9人（前年度16.1人）で、延利用者数は313人減少しました。収益は前年比で440万円程度減少しました。 ・えりはら事業所では、平均利用者数は15.9人（前年度16.0人）で、延利用者数は137人減少しました。収益は前年比で6万円程度増加しました。 ・全体の収益としては1億4,300万円程度となり、昨年度より450万円程度の減少となりました。 ・収益は450万円程度減少しましたが、人件費の減少等により、トータルでの収支差額は赤字決算ながら710万円程度改善されました。
評価	B		

社会福祉法人志摩市社会福祉協議会

〒517-0501 三重県志摩市阿児町鵜方 3098-1

TEL 0599-56-1600

FAX 0599-56-1601

E-mail : honsho@shima-fukushikyo.or.jp

<https://shima-fukushikyo.or.jp>